

令和 7 年度施行

縦覧用

農 道 改 良 工 事 設 計 書

北 海 道 帯 広 市

建設リサイクル法に関する再資源化費用等調書

--	--

工種・種別・細目	規 格	名 称	単位	数 量	単 価	金 額
解体費						
舗装版破碎	アスファルト舗装版、無し、不要、15cm以下、－、有り		m2	67		
舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下、－、－		m	18		
殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし、機械積込、無し、3.3km以下		m3	1.3		
殻運搬	舗装版破碎、機械積込(舗装版厚15cm以下、無し、3.5km以下		m3	8.0		
解体費計						
処分費						
アスファルト受入費	中間処理		ton	19		
コンクリート廃材受入費	鉄筋、中間処理費		ton	1		
汚泥処分	D=30.5km		m3	0		
処分費計						

設 計 概 要 書								
工事名		農道改良工事		施行位置	帯広市上清川町西1線36～37号			
設 計 金 額					設計者職氏名			
施 工 内 容	工事延長551m			工 事 内 訳	種	別	金	額
	土工一式				直接工事費			
	法面工一式							
	排水構造物（小型水路工）一式				共通仮設費			
	舗装工一式							
	標識工一式				現場管理費			
	道路付属施設工一式							
	構造物撤去工一式				一般管理費			
	工期：令和7年6月24日から令和7年12月10日				工事価格			
					消費税相当額			
					設計工事費			

特 記 仕 様 書

北 海 道 帯 広 市

(農政部農村振興課)

2025. 04

目 次

- 1 適用
- 2 工事積算基準等
- 3 概数
- 4 参考図
- 5 積算情報
- 6 施工条件の明示
- 7 施工計画書の作成
- 8 交通規制及び安全対策
- 9 安全訓練等の報告
- 10 用地境界標（杭）の取り扱い
- 11 段階確認事項
- 12 工事図面・工事写真の電子化
- 13 電子媒体
- 14 共同企業体編成表
- 15 工事材料品質確認願
- 16 完成届
- 17 路面樹等の施工
- 18 再生アスファルト混合物
- 19 アスファルト乳剤
- 20 コンクリート再生骨材
- 21 建設副産物（建設発生土）
- 22 建設副産物（伐採・抜根・すき取り・伐開物等）
- 23 特定建設資材廃棄物の処理について
- 24 植生工
- 25 地上地下の既設公共施設の被害防止について
- 26 資材納入伝票
- 27 北海道循環資源利用促進税について
- 28 石綿障害予防規則について
- 29 工事保険の加入について
- 30 技能士の活用について
- 31 成果品等の貸与
- 32 工事成果品収納箱
- 33 現場環境改善費ついて
- 34 法定外の労災保険の付保について
- 35 コンクリート構造物のひび割れ調査票
- 36 1日未満で完了する作業の積算について
- 37 区画線復旧後の交通開放
- 38 すき取り土の再利用
- 39 植生工に係る土質・土壌試験
- 40 週休2日工事の実施について
- 41 その他

様 式

- ・ 施工計画書
- ・ 工事看板記載仕様
- ・ 工事施工協議簿
- ・ 履行報告書
- ・ 境界杭立会確認書一覧表
- ・ 境界杭立会確認書
- ・ 段階確認願
- ・ 共同企業体編成表
- ・ 工事材料品質確認願
- ・ 再生骨材の出荷確認について
- ・ 建設発生土受入契約書
- ・ 発生土受入証明書
- ・ 再資源化等報告書
- ・ 再生資源利用促進計画の作成に伴う
確認結果票
- ・ 土壌汚染対策法等手続の確認フロー
- ・ 指定機械一覧
- ・ 排出ガス対策型建設機械を使用でき
ない理由書
- ・ 送電線路付近工事協議書
- ・ 点検記録票（総括表）道路標識
- ・ 技能士活用状況報告書
- ・ 社内完成検査報告書
- ・ 借受書
- ・ 返納書
- ・ 建築物等立会確認書
- ・ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表
- ・ 施工体制報告書
- ・ 伐採枝・幹材搬入伝票
- ・ 立会願

1 適用

本工事は、北海道農政部監修『農業土木工事共通仕様書（最新版）』（以下「共通仕様書」という。）に基づき施工するものとする。また、『設計図書』、『共通仕様書』及び特記仕様書に記載のない場合においては、関係する各要綱、示方書及び指針等に準拠すること。その適用にあたっては、その都度工事監督員と協議すること。また、施工にあたって疑義、不明な点があれば同様に協議すること。

そのほか、帯広市道路の構造の技術的基準等を定める条例及び施行規則、帯広市道路移動等円滑化基準条例、帯広市道路標識寸法規則に基づくこと。

2 工事積算基準等

- (1) 本設計図書は北海道農政部が制定した「土地改良事業等工事積算要領」、「土地改良事業等工事積算基準」、「工事数量算出要領」等に基づき作成している。
- (2) 「工事積算基準」において定められている諸基準を次のとおり扱っている。
 - ① 機械施工と人力施工等施工方法の区分は設計図面等から判断しているが、機械施工が困難である場合を除き機械施工としている。
 - ② 各基準において標準工法や標準機種が定められている場合、別途特記仕様書等で明示している場合を除き、標準工法・機種で積算している。
 - ③ 上記①②については受注者の任意施工を拘束するものではない。ただし、現場条件等によりこれにより難しい場合は、必要に応じて設計変更する。

3 概数

- (1) 「概数として扱う数量一覧表に示した数量」は、必要に応じて設計変更をするものとする。
- (2) この工事においては、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者が行うものとする。
- (3) 概数に係る施工にあたっては、施工図面・数量計算書等を作成のうえ、工事監督員と十分協議し、施工協議簿にその打合せ経過を記入すること。
- (4) 標準図は標準的な施工図または出来形を示すものであり、現地状況等に応じて受注者は十分照査のうえ実施するものとする。
- (5) 変更の必要が生じた場合は、すみやかに工事監督員と協議を行うこと。
- (6) 概数として扱う数量一覧表で示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、現地条件等によって新たに必要となる項目についても概数として扱うことがある。
- (7) 建設副産物の概数について
 - ①解体・破碎費・運搬費
 1. 構造物等の寸法を実測し算出した体積とする。計測した写真を提出し協議すること。
 2. 構造物等の寸法実測が困難で体積・重量算出が不可能な場合（構造物等の形上が不定形な場合等）は産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表の数量から単位体積質量により換算して算出する。
 3. 構造物等の寸法が実測されていない②以外の工種について、産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表の数量から単位体積質量により換算して算出するが、過大な出来形に対しては変更しない。

4. 舗装厚の実測方法

各舗装構成を1施工箇所として施工延長20mにつき1箇所、施工延長が60m未満のものは3箇所、舗装厚を実測し平均値を算出する。

舗装厚を実測する際は、舗装を直接計測すること。

撤去舗装面積について設計と差異があり変更を必要とする場合は、施工前に工事監督員と現地立会を行い、変更資料を提出し協議すること。

②処分費

1. 産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表を提出し協議すること。処分数量から概数確定を判断するが、過大な出来形に対しては変更しない。
産業廃棄物管理票（マニフェスト）及び検量書について工事監督員から指示を受けた場合、提出すること。

4 参考図

参考図として示した図面は、発注者が想定した工法、材料等を示したものであり、これに示されている事項については、受注者の任意施工を拘束するものではない。ただし、現場条件等により、これにより難しい場合は必要に応じて監督員と協議すること。なお、設計上過大な計画に対して変更するものではないことに留意すること。

5 積算情報

本工事の予定価格算出の基礎となる積算基準日及び積算工期は下記のとおりである。

- (1) 積算基準日 令和 7 年 5 月 26 日
積算工期 令和 7 年 6 月 24 日 ～ 令和 7 年 12 月 10 日
- (2) 積算工期には、準備期間(30日)、後片付け期間(20日)のほか雨天、休日等(日曜日、祝日、夏季休暇、年末年始休暇及び作業期間内の全土曜日を含む。)を見込んでいる。

6 施工条件の明示

7 施工計画書の作成

- (1) 受注者は、契約後すみやかに公示用設計図書の検討、基本的な測量による現場確認、関係機関への届け出、工事監督員との打合せを行うこと。
- (2) 特記仕様書に記載のある条件明示の項目について、全て現地等と適合するか否か確認し、施工計画書に図面を含め詳細（管理者名、会社名、住所、距離及び受け入れ条件等）に記載すること。設計図書と現地等において相違が確認された場合は、直ちに工事監督員に報告し、必要に応じ協議すること。
- (3) 施工計画書を提出し、確認を受けるまで工事に着手（物理的な行為）してはならない（測量、調査は除く）。ただし、工事監督員の承諾を得た場合は、この限りではない。
- (4) 施工方法には、具体的な作業手順、具体的な作業方法、当該工事で留意すべき事項等、共通仕様書に準じて記載すること。（掘削方法、転圧、敷均し方法、構造物の施工方法、工作物の撤去方法、仮設の方法等）
- (5) 出来形管理基準、品質管理基準及び写真管理基準は、共通仕様書に準じた管理基準のほか社内管理基準についても明記すること。また、どこの箇所（測点等）でどの程度実施するのか予定箇所等を記載すること。
- (6) 品質管理基準は、小規模な工事以外は関連項目を全て満足するよう、試験方法品質管理基準項目及び実施項目については工事監督員と協議のうえ記載すること。

- (7) 特記仕様書及び共通仕様書等で指定のある段階確認及び立会については記載することとし、その他の段階確認事項について、工事監督員と協議のうえ記載すること。
- (8) 施工計画書で変更になる部分は、すみやかに工事監督員に提出すること。
- (9) 道路・河川等の公共用地の状況を記載し、道路施設等を道路区域等の用地から超えて民地等に築造しないための施工上の留意事項も併せて記載すること。
- (10) 道路交通法第77条第1項の規定に基づく道路使用許可を所轄警察署から受け、施工計画書に添付すること。

8 交通規制及び安全対策

本工事は、下記の道路交通法で施工するものとする。下記の期間及び区間は最大限を示したものであり、施工にあたっては必要最小限に留めるよう努めなければならない。

- (1) 規制の方法：歩道一時通行止め ・ 片側交互通行 ・ 車道幅員減少 ・ 歩道幅員減少 ・ 作業時通行止め
- (2) 交通誘導警備員
 - 配置人数（ 270 ）人配置 交代要員（ 67 人）
 - ・ 地域住民・警察との協議、関連工事との調整等により交通誘導警備員配置計画に変更が生じる場合には、工事監督員と協議すること。
 - ・ 次により、施工計画書の交通管理項目に交通誘導警備員の配置を含めた交通処理計画を記載すること。
 - 1 現地の交通状況などを確認の上、交通処理計画を作成すること。
 - 2 交通管理者への許可申請等において、交通処理計画の変更を求められた場合には、工事監督員と協議すること。
 - 3 毎日の作業終了後は現況幅員程度を確保することとし、一般交通などに支障がないよう安全対策を講じること。
 - ・ 関係機関等との協議により交通誘導警備員検定合格者（1級又は2級）を配置する必要がある場合には、施工計画書に警備業法による警備員名簿及び交通誘導警備員検定合格書（いずれも写し）を添付すること。
（警備員名簿は警備業法45条、同法施行規則66条第1項の要件に沿ったものとする。）
- (3) 工事看板
 - 工事看板は、「道路工事現場における標示施設等の設置基準」（昭和37年8月30日道発第372号建設省道路局長通達）に基づき標示するものとし、工事終了日、工事時間帯等を表示すること。

9 安全訓練等の報告

『共通仕様書』に従い実施された安全・訓練等の状況を、開催毎の写真、出席者名簿（署名入り等）等を報告書に添付し提出すること。安全訓練の他に、災害防止協議会、安全パトロールの実施状況を添付し提出すること。KY活動や機材の点検記録等は提出を求めないが、社内で保管すること。

10 用地境界標（杭）の取り扱い

- (1) 用地境界標（杭）とは、道路敷地界（国土交通省・北海道・帯広市）のみならず、民地界その他すべての境界標（杭）のことをいう。
- (2) 受注者は工事着手前に現地調査を行い、測量時の境界杭立会確認書を基に用地境界標（杭）を確認し報告すること。また、工事中に杭が新たに確認できた場合は、受注者は土地所有者等と立会し、境界杭立会確認書を自ら作成すること。
- (3) 受注者は工事完成時に土地所有者等と立会し、境界杭立会確認書にその内容を記入すること。
- (4) 用地境界標（杭）を工事施工に起因して移設・損傷・紛失した場合は、受注者の責任で復元するものとするが、その作業は有資格者により行うものとし、工事監督員の承諾を得ること。

11 段階確認事項

次の時期又は工種については、段階確認を実施する。また、『共通仕様書』に示す段階確認のほかに、確認 事項について工事監督員と協議すること。

- ・起工測量を行った時点。（丁張検査）
- ・路床の不陸整正が終わった時点。（路床検査：ブルーローリング[※]実施状況、基準高、幅）

12 工事図面・工事写真の電子化

(1) 工事図面

- ① 記録図面の作成は出来形図と同様とし、撤去図など施工後に形態をなさないものは除くこととする。また、工事監督員が必要とする図面を作成すること。
- ② 記録ファイル形式はPDF形式とP21形式の両方とする。
- ③ PDFは設計値と出来形（朱書）の並記とし、P21については出来形値のみとする。文字化けなどが無いよう確認し記録すること。
- ④ 電子媒体索引簿（別紙様式）を作成し、媒体とともに提出すること。

(2) 工事写真

- ① 工事写真は、デジタルカメラで撮影した全ての電子データをJPEG形式で保存し、各工種ごとにフォルダ整理すること。
必要に応じ説明文をテキスト形式(TXT)で、説明図等をビットマップ形式(BMP)で作成し、該当する写真フォルダに格納する。
写真枚数が多くなる場合には、サブフォルダを作成するなど工夫し管理すること。
- ② 有効画素数は300万画素程度とし、1,000万画素以上の機種については、高画質でパソコンへの負荷が大きいため、カメラの画質を300万画素程度に設定すること。
- ③ 写真の編集については原則認めないが、明るさ補正や回転・パノラマ・つなぎ写真等は行っても良い。ただし、ファイル名の後ろに補正したことと補正内容を記載すること。
- ④ その他不可視部(配筋・基礎部等)の写真は、施工状況が判断できるよう適切な枚数を格納すること。

13 電子媒体

電子媒体について、次に留意し提出すること。

- ① 記録媒体はDVDを基本とする。
- ② 記録内容は、工事図面及び工事写真とする。
- ③ 媒体表面に、北海道建設部制定の『情報共有・電子納品運用ガイドライン【工事編】』7. 12. 5. 電子媒体等の表記に基づき記入すること。

14 共同企業体編成表

本工事を共同企業体で受注した場合は、契約締結後5日以内（着工届に添付）に共同企業体編成表作成のうえ工事監督員に提出すること。（別紙「共同企業体編成表」を参照のこと）

15 工事材料品質確認願

セメントコンクリート製品一般、アスファルト混合物、路盤材（切込砂利、コンクリート再生骨材）の試験成績表等については、次に挙げる取扱団体から発注者へ年度当初に一括提出されるので、「工事材料品質確認願」への添付は省略する。ただし、特殊な製品や配合、取扱団体加入社以外より納入される資材については提出が必要となるので、別途工事監督員と協議すること。

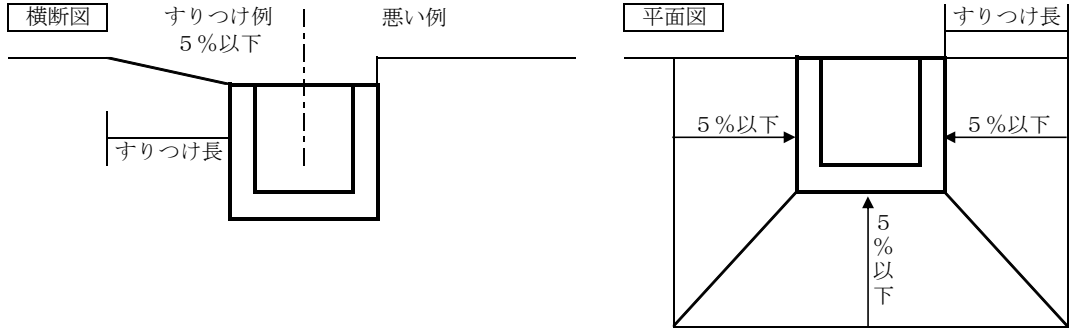
資 材 名	団 体	特記事項
コンクリート二次製品	十勝管内コンクリート二次製品協同組合	
アスファルト混合物	北海道舗装事業協会 帯広地区委員会	
路盤材（切込砂利）	十勝骨材共販協同組合	
路盤材（コンクリート再生骨材）	十勝再生骨材販売協同組合	

16 完成届

完成届の提出に際し、完成写真として着工前及びこれと対比できる完成の写真帳を提出すること。なお、写真帳には撮影年月日及び測点等を記入するものとする。

17 路面柵等の施工

- (1) 路面柵等、トラフ、基礎ブロックの施工について
- ① 柵・トラフの施工は舗装勾配に合わせて施工すること。
 - ② 舗装完成時に舗装面より柵等がいかなる場合も突出してはいけない。
 - ③ すりつけ勾配は5%以下を標準とし、路肩内に納めること。
 - ④ 取付管の接合部には、特殊接合剤を使用すること。
 - ⑤ 宅地への乗り入れ箇所が変更となることにより路面柵が低下縁石部に設置することになった場合は工事監督員と協議すること。
- (2) 路面柵の施工について
- ① 路面柵頂部が舗装面より20mm以上下がるように設置すること。これによりがたい場合は、工事監督員と協議すること。
 - ② 柵をかさ上げする場合は、指定の製品を使用すること。



18 再生アスファルト混合物

- (1) 本工事では再生アスファルト混合物を下表に示す再生骨材混入率に基づいて施工すること。また、再生アスファルト混合物に関する事項は、アスファルト舗装再生利用ガイドライン、プラント再生舗装技術指針等に従うものとする。

再生混合物	細粒度アスコン (車道)	細粒度 ギャップアスコン	密粒度 ギャップアスコン	密粒度 アスコン	粗粒度アスコン	アスファルト安定処理 (車道)	細粒度アスコン (歩道)	アスファルト安定処理 (歩道)
混入率 (%)	50	50	50	50	50	50	50	50

- (2) 配合率50%再生アスファルト混合物については11月末日までの施工とし、12月1日以降に舗設する場合は新材を使用すること。
(3) 密粒度アスコンの使用は10月末日までとし、11月1日以降は、原則、細粒度アスコンまたは細粒度ギャップアスコンを使用するものとする。ただし、他工事との調整等により、当初想定していた舗設時期が変更となる場合、使用する合材について監督員と協議すること。

19 アスファルト乳剤

アスファルト乳剤の散布量について、タックコートの場合 43ℓ/100㎡、プライムコートの場合126ℓ/100㎡を標準使用量とする。

20 コンクリート再生骨材

セメントコンクリート再生骨材を使用する場合は下記によるものとする。ただし、これにより難しい場合は、工事監督員と協議のこと。

本工事で使用するコンクリート再生骨材は下記の再資源化施設を想定している。下記の再資源化施設を使用する場合、工期開始時に供給が不可能な場合は、別紙再生骨材の出荷確認様式で再資源化施設より回答を受け工事監督員と協議すること。

再資源化施設	所在地	備考
株式会社ティー・ワイ	帯広市清川町東2線101-1～6、13、161	

21 建設副産物（建設発生土）

(1) 本工事の建設発生土は下記を想定している。

	所在地	搬入予定土量	運搬距離	敷均しの有無	受入期間	使用路線名
	依田受入地 (幕別町字依田243番地3)	m ³	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
	北2線受入地 (芽室町西土狩北2線59番地1)	m ³	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
○	清川受入地① (帯広市清川町東2線97番地1, 2, 3) (帯広市清川町東2線99番地2, 3) (帯広市清川町東2線84番地1, 2, 3)	2, 651 m ³	L= 6.6 km	有 ・ 無	6 月 2 4 日 ~ 1 2 月 1 0 日	
	清川受入地② (帯広市清川町東2線99番地1, 6, 7, 8)	m ³	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
	中島東5線受入地 (帯広市中島町東5線96番地9)	m ³	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
	稲田町受入地 (帯広市稲田町9-1, 川西町基線99)	m ³	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
	岩内受入地 (帯広市岩内町東1線7番地1)	m ³	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
	その他	m ³	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	

↑ 本工事該当箇所○印

- (2) 搬入に先立ち受入先と受入契約を締結すること。（建設発生土受入契約書参照）
- (3) ①搬入に先立ち、発注者及び受入先に土質試験表を必要に応じ提出すること。
②土質試験項目は最適含水比及び粒度分布等を試験し結果を提出するものとする。
- (4) 搬入土内に、コンクリート廃材・アスファルト廃材・ゴミ等を混入させないこと。なお、混入が認められた場合は混入物を撤去することはもとより、今後受入を禁止される場合があるので厳守すること。
- (5) 当該工事受注後すみやかに再生資源利用計画書(様式1・イ)及び再生資源利用促進計画書(様式2・ロ)に必要事項を記載し施工計画書に添付すること。なお、再生資源利用計画書(様式1・イ)及び再生資源利用促進計画書(様式2・ロ)は、工事着手日までに工事監督員に提出すること。また、実施状況を把握し、再資源化等報告書、再生資源利用実施書(様式1)及び再生資源利用促進実施書(様式2)を作成し、工事完成後工事監督員に提出するとともに、5年間保存すること。なお、再生資源利用(促進)計画書(COBRIS)等)により作成すること。これにより難い場合、監督員と別途協議すること。
- (6) 搬入路について砂利等が必要な場合は適宜敷均し補充すること。
- (7) 搬入期間中に道路を汚損した場合は道路清掃人を配置し清掃を行うこと。また、清掃人には会社名を明示した腕章を着用させること。
- (8) 工事完成時に下記の写真を提出すること。
 - ① 搬入前後の比較ができる写真。
 - ② 搬入土の土質が確認できる写真。
 - ③ 道路清掃人及び清掃状況が確認できる写真。
 - ④ 敷均しが必要な場合、敷均し状況が確認できる写真。

- (9) 搬入前に、数量の確認方法等について工事監督員と協議をすること。
- (10) 搬入完了後、受入者より建設発生生土受入証明書を提出してもらい、工事監督員の確認を受けること。
- (11) 再生資源利用計画書提出後に必ず工事監督員への説明を行うこと。
- (12) 再生資源利用計画書の実施結果について、工事監督員から請求があった場合は報告を行うこと。
- (13) 再生資源利用計画書を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げるとともに、インターネット上での公表に可能な限り努めること。
- (14) 合計で500m³以上の建設発生生土を搬出する場合、確認結果票を作成し工事監督員へ提出、説明のうえ工事現場の公衆が見やすい場所に掲げるとともに、工事完成日から5年間保存すること。
- (15) 合計で500m³以上の建設発生生土を搬出する場合、再生資源利用促進計画書及び、確認結果票を運送業者へ通知すること。
- (16) 合計で500m³以上の建設発生生土を搬出する場合、搬出後速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、搬出先が再生資源利用促進計画書と一致するか確認するとともに、受領書又はその写しを工事完成日から5年間保存すること。（電子データによる保存も可能）
- (17) 合計で500m³以上の建設発生生土を他の建設工事やストックヤードから搬入する場合、搬入元に受領書を交付すること。また、搬入する建設発生生土が500m³未満であっても受領書の請求があれば交付すること。

22 建設副産物（伐採・抜根・すき取り・伐開物等）【以下「伐根物等」という。】

- (1) 工作物の新築・改築・除去に伴う工事により排出される抜根、伐採材等の木屑は産業廃棄物とする。
- (2) 工作物の新築・改築・除去を伴わない工事により発生した抜根、伐採材、枝打ちした木、間伐材、流木等の木屑は一般廃棄物とする。
- (3) 草、笹、草の根等のすき取り物、伐開物は一般廃棄物とする。
- (4) 建設副産物(伐根物等)は、受注者において適正な帯広市内の処理施設を選定し、施工計画書に建設副産物における適正処理計画について記載すること。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、工事監督員と協議すること。

※処分場所については、受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定している。

- (5) 当該工事受注後すみやかに再生資源利用計画書(様式1・イ)及び再生資源利用促進計画書(様式2・ロ)に必要な事項を記載し施工計画書に添付すること。なお、再生資源利用計画書(様式1・イ)及び再生資源利用促進計画書(様式2・ロ)は、工事着手日までに工事監督員に提出すること。また、実施状況を把握し、再資源化等報告書、再生資源利用実施書(様式1)及び再生資源利用促進実施書(様式2)を作成し、工事完成後工事監督員に提出するとともに、1年間保存すること。なお、再生資源利用(促進)計画書(実施書)は、建設副産物に係わる情報入力システム(一般財団法人日本建設情報総合センターが提供する建設副産物情報交換システム(COBRIS)等)により作成すること。これにより難しい場合、監督員と別途協議すること。
- (6) 受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、産業廃棄物管理票(紙マニフェスト)または電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに工事監督員に提示すること。また、交付した産業廃棄物管理票は5年間保存すること。なお、工事完成後は産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表を作成し提出することとし、産業廃棄物管理票のA票とE票のコピーに関しては、監督員の指示があった場合に提出すること。
- (7) 一般廃棄物の収集・運搬・処分を委託する場合は、帯広市内の許可業者でなければできないので留意すること。また、一般廃棄物の許可は市町村毎なので注意すること。
- (8) 本工事で発生する伐根物等は、下記に基づき適切に処理すること。
 - ① 本工事受注者自らの車両で直接処分場へ運搬する場合、また、本工事受注者が、賃貸車両を使用し直接処分場へ運搬する場合は、運搬車両に看板等で会社名を明示すること。
 - ② 廃棄物処理業の許可を受けた者を選定すること。

- (9) 工事完成時に下記の写真及び調書を提出すること。
- ① 運搬の状況が確認できる写真（運搬車両が確認できるもの）
 - ② 受入業者名（処分場の看板等）がわかり、搬入状況がわかる写真
- (10) 工事現場内において発生した廃棄物等が混ざらないよう適切に管理するとともに、すみやかに各処理場へ搬出すること。
- (11) 有料となるものの処理費用は、本工事に含まれている。
- (12) 幹材の搬入にあたっては、別紙「幹材の搬入について」を参照し、指定伝票を監督員に提出すること。
- (13) 枝材の搬入にあたっては、指定の伝票のうち、「帯広有機西帯広牧場 ポスト投函用」は日ごとに処理場へ、「帯広市みどりの課 提出用」は、月ごとにまとめて監督員に提出すること。

23 特定建設資材廃棄物の処理について

- (1) この工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号、以下「建設リサイクル法」という）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化の実施が義務付けられた工事である。
- (2) 建設リサイクル法に係る特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルトコンクリート）を用いた工作物の解体においては、「建設工事に係る資材の再資源化に関する法律施行規則」に定められた方法により分別解体等を実施すること。
- (3) 分別解体等を実施する者（下請け含む）は、建設業法の土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業に係る第3条第1項の許可を受けた者か、解体工事業登録を受けた者が施工すること。また、解体工事業登録を受けた者が分別解体等を実施する場合は、分別解体等を実施する場所において解体工事業に係る登録等に関する省令に定められた解体工事業登録票を掲示し、解体工事登録者が選任した建設リサイクル法に規定される技術管理者に、その分別解体等の監督をさせなければならない。
- (4) 分別解体等によって発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、発生木材、アスファルトコンクリート塊）は、受注者において適正な処理施設を選定し、施工計画書に建設廃棄物における適正処理計画について記載すること。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、必要な資料を提出のうえ、工事監督員と協議すること。
- ※処分場所については、受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定している。
- (5) 再生資源利用計画書（様式1・イ）及び再生資源利用促進計画書（様式2・ロ）は、工事受注後すみやかに工事監督員に提出すること。
- (6) 実施状況を把握し、再生資源利用実施書（様式1）及び再生資源利用促進実施書（様式2）を作成して、工事完成後工事監督員に提出するとともに、1年間保存すること。なお、再生資源利用（促進）計画書（実施書）は、建設副産物に係わる情報入力システム（一般財団法人日本建設情報総合センターが提供する建設副産物情報交換システム（COBRIS）等）により作成すること。これにより難しい場合、監督員と別途協議すること。
- (7) 産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）または電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに工事監督員に提示すること。また、交付した産業廃棄物管理票は5年間保存すること。なお、工事完成後は産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表を作成し提出することとし、産業廃棄物管理票のA票とE票のコピーに関しては、監督員の指示があった場合に提出すること。
- (8) 工事写真には、処理業者名（処分場名の看板等）が判りかつ、搬入状況も判る写真を貼付すること。
- (9) 本設計図書において発生しないものとしている種類の特定建設資材廃棄物であっても、受注者の都合により実際に発生させ、廃棄物として処分する場合は、当該特定建設資材廃棄物の再資源化等実施方法の確定後に、建設リサイクル法第13条及び分別解体等省令第4条に基づく協議書の別記様式を準用し、「4 再資源化等をするための施設の名称及び所在地」欄に必要事項を記載して、工事監督員の確認を受けること。

24 植生工

種子散布工

- (1) 栽培芝タイプの種子選定と配合については、共通仕様書に準拠すること。
 - ① 出来形図に測定箇所の施工範囲、実測値（三斜の延長）を記入し、三斜法による求積計算を添付すること。ただし、工事監督員と協議のうえ、CAD計測によるものとしても良い。
 - ② 植生状態は、植生面から10m離れると、全体が緑に見え、植被率が80%以上であり、植生面に1m四方以上の裸地が無いこと。また、草丈が15cm以上であること。
 - ③ 工期内に発芽状況の確認ができない場合は、工事監督員の指定した時期までに上記測定結果を提出するものとする。
- (2) 公園芝タイプの種子選定と配合については、共通仕様書に準拠すること。
 - ① 出来形図に測定箇所の施工範囲、実測値（三斜の延長）を記入し、三斜法による求積計算を添付すること。ただし、工事監督員と協議のうえ、CAD計測によるものとしても良い。
 - ② 施工管理の判定基準は、発芽状況を測定し写真を添付した測定結果を工事監督員に提出するものとする。なお、測定数は工事監督員と協議し発芽状況の疎な部分で行うものとし、必要な発芽密度は、10cm×10cmの範囲で育成本数50本以上を標準とする。
 - ③ 工期内に発芽状況の確認ができない場合は、工事監督員の指定した時期までに上記測定結果を提出するものとする。

張芝工

- (1) 工事で使用する生芝の種類、施工方法及び管理については共通仕様書に準拠すること。

工程関係

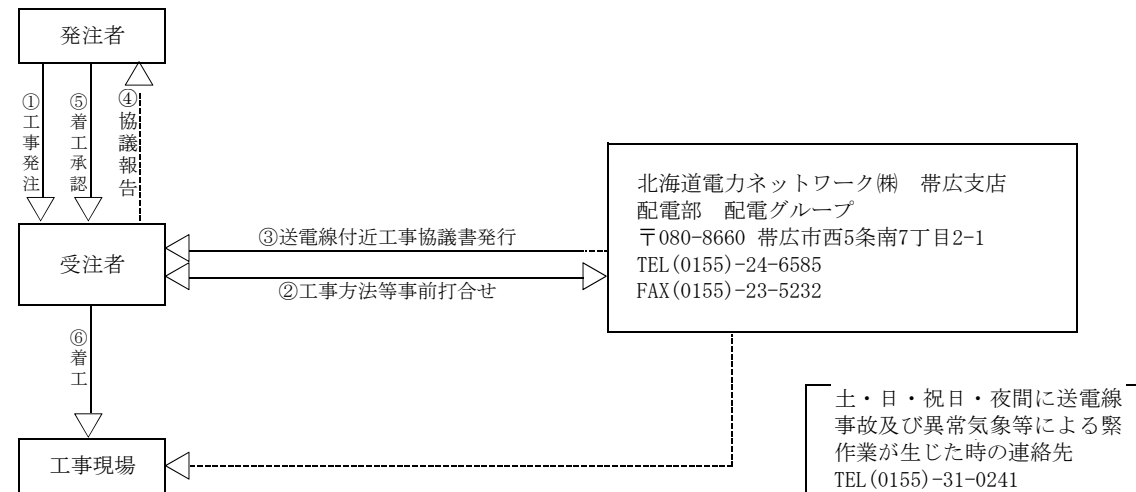
- (1) 施工前に工程作成を行い、設計図書で条件明示された選定方法が、帯広の気象データ（平均値）に基づく施工完了期限までに施工可能か確認した上で、施工計画書に明記すること。また、施工時期が当初工程より遅延する恐れが生じた場合には、工事監督員と協議すること。

25 地上地下の既設公共施設の被害防止について

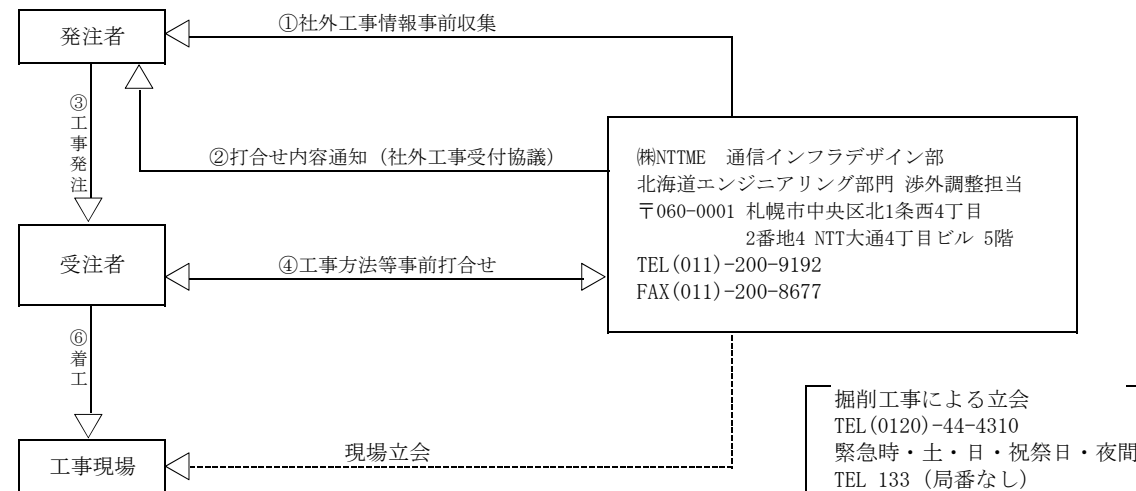
電気、通信、水道、ガスなど社会生活に重大な影響を及ぼす既設公共施設については、特段の注意を払い工事現場の管理を行うこと。

- (1) 地上地下の既設公共施設の確認
工事着工前に、工事箇所及びその周辺にある既設公共施設の確認を確実に行うこと。確認結果は工事監督員に報告すること。
- (2) 施設管理者との協議等
既設公共施設の有無にかかわらず、すみやかに施設管理者と協議を行うこと。工事により施設に影響を及ぼす恐れのある場合は、施設管理者の指示を受け、その必要な保安措置を講じること。
- (3) 施工計画書の提出
施工計画書に、施設管理者との協議、指示内容及び保安措置について具体的に記載し、工事監督員に提出すること。なお、該当施設がない場合であっても、その旨、記載すること。
- (4) 工事の着手
施工計画書の提出及び事故防止保安措置を講じた後でなければ、工事に着手してはならない。
- (5) 北電配電線・送電線設備
工事着工前に、北海道電力ネットワーク㈱と打合せを行い、その内容を施工計画書に明記する。
- (6) NTT通信設備
工事着工前に、東日本電信電話㈱ 北海道東支店と打合せを行うこと。工事看板に協議済みシールを添付すること。

北電送電線に関わる協議



NTT通信設備に関わる協議



26 資材納入伝票

生コンクリート、路盤用骨材（切込砂利、碎石、砂、再生骨材等）及び採取土などの納入伝票は、工事監督員の確認のうえ全て受注者において保管すること。また、完了検査時には持参し検査員の求めに応じて速やかに提出できるようにしておくこと。なお、資材納入伝票の保存期間は5年間とする。

27 北海道循環資源利用促進税（以下、「循環税」という。）について

当工事で発生する産業廃棄物が道内の最終処分場に直接搬入される場合、または中間処理場に搬入される場合でも、減量化・リサイクル等により残さ等が発生し、最終処分場に搬入される場合は、循環税が課税されるので適正に処理すること。なお、循環税相当額が当初設計に計上されておらず、適切な工程管理のもと産業廃棄物を最終処分場または中間処理場に搬入し、循環税相当額が必要となる場合は、別途協議とする。

28 石綿障害予防規則について

石綿障害予防規則に基づき、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用、解体等の作業における防護具の装着、湿潤を保つ措置を行う作業等の費用については、当初積算では計上していないため、工事監督員と協議のうえ設計変更とする。また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、契約書の関係条項に基づき適切に変更する。

29 工事保険の加入について

本工事は、次に規定する保険等に参加しなければならないものとし、保険契約締結後、工事監督員に保険証券の写し（保険以外の場合には、保険証券に代わるもの）を提出すること。

- (1) 保険等の種類
 - ① 工事目的物、工事材料及び仮設物等に生じる損害を填補する保険。（土木工事保険、組立保険等）
 - ② 工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補する保険。（請負業者賠償責任保険等）
 - ③ 上記に準ずるその他の保険。
- (2) 保険等の金額
 - ① 請負代金以上。
- (3) 保険等の期間
 - ① 工事着手のときから工事目的物の引き渡しまでの期間

30 技能士の活用について

- (1) 受注者は、工事目的物の品質の向上を図るために、技能士（職業能力開発促進法に基づく有資格者）の積極的な活用に努めるものとする。
- (2) 技能士の活用の有無にかかわらず技能士活用状況報告書（別記様式）を作成し、予定については着工時に、実績については完成時に提出すること。
- (3) 技能士を活用する場合は、技能士であることを確認できる資料として、地域技能士会が発行する資格証明書、または技能検定合格書の写し、あるいは技能士手帳の写しを技能士活用状況報告書に添付すること。

31 成果品等の貸与

本工事を施工するにあたり、成果品等の貸与を受ける場合は、借受書及び返納書を提出すること。

32 工事成果品収納箱

- (1) 工事成果品収納箱は、プラスチック製 幅420×高さ300×長さ780mmを使用すること。
※但し、成果品が少ない時は工事監督員と協議の上、これより小さい箱を使用しても良い。
- (2) 収納箱の色は、単独－青、道路局・都市局－赤とし、その他の工事については工事監督員の指示に従うこと。
- (3) 収納箱引出し前面部に下記タイトルを貼付すること。

は着色部

工 事 成 果 品	令和○年度
公 共	
工 事 名 .	
工 期 . 令 和 年 月 日 ～ 令 和 年 月 日	
施 工 者 .	※ 箱数を記入 2 － 1 総箱数 当該箱番

←8mm
290mm
8mm→

33 現場環境改善費について

- (1) 現場環境改善は、周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施することを目的とする。
- (2) 現場環境改善の実施内容については、次のとおりとする。
 - ① 次の[別表]より、実施する項目を選択する。
 - ② 実施内容は、仮設備関係、営繕関係、安全関係、地域連携のうち5項目を基本とし、具体的な実施内容・実施時期については、施工計画書を提出する際に協議すること。

[別表]

計上費目	実施する項目(率計上)
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備の充実 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実 6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所・監督員詰所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室)の快適化 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連施設及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等) 3. 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図 2. 工法説明図 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献

(3) 工事完了時には、現場環境改善の実施状況がわかる写真等の資料を提出すること。

34 法定外の労災保険の付保について

本工事の受注者は、下記に従い、「法定外の労災保険」に付さなければならない。

- (1) この特記仕様書における「法定外の労災保険」とは、従業員等が業務上の災害によって身体の障害(後遺障害、死亡を含む)を被った場合に法定労災保険の保険給付に上乗せして雇用者が従業員等又は、その遺族に支払う金額に対し、保険会社が雇用者に保険金を支払うことを定める契約を言う。
- (2) 受注者は、本工事の契約工期を包含する保険期間による「法定外の労災保険」(以下、「法定外労災保険」)を締結しなければならない。
本請負工事に係る契約締結時において「法定外労災保険」の契約を締結していない場合は、工事着手の前に「法定外労災保険」を締結すること。
- (3) 受注者は「法定外労災保険」の保険証券の写しもしくは加入証明書の原本または写しを、工事着手の前に、工事監督員へ提出しなければならない。
- (4) 契約書23条に基づき本請負工事の工期を変更したことにより、工期が「法定外労災保険」の保険期間外に及んだ場合、受注者は速やかに変更後の工期による保険期間の変更又は保険の追加契約を行い、変更又は追加して契約した「法定外労災保険」の保険証券の写し又は加入証明書の原本を、工事監督員へ提出しなければならない。
- (5) 本請負工事で求める「法定外労災保険」については、保険契約に定める保険金額の多寡や特約の有無の契約内容は問わず、保険契約の事実のみ求めるものとする。

35 コンクリート構造物のひび割れ調査票

本工事において、工事完成前にひび割れの発生が確認された場合は、発生状況の調査を行い工事完成時に、ひび割れ調査票を作成し、工事監督員に提出すること。ひび割れ調査票の作成に当たっては、工事監督員と協議を行い作成すること。

36 1日未満で完了する作業の積算について(施工パッケージ)

- (1) 「1日未満で完了する作業の積算」(以下、「1日未満積算基準」と言う。)は、変更積算のみに適用する。
- (2) 受注者は、当初発注時の通常の施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、「1日未満積算基準」の適用について協議の発議を行うことができる。
- (3) 同一作業員の作業が他工種・細別の作業と組合せて1日作業となる場合には、「1日未満積算基準」は適用しない。
- (4) 受注者は、協議に当って、「1日未満積算基準」に該当することを示す書面その他協議に必要な根拠資料(日報、実際の費用を示す資料等)を監督員に提出すること。実際の費用を示す資料(契約書、請求書等)により、当初発注時の通常の施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、「1日未満積算基準」は適用しない。
- (5) 通年の維持管理業務など人工精算を前提として積算する場合等や通常の積算方法によることが適当と判断される場合には、「1日未満積算基準」を適用しない。

37 区画線復旧後の交通開放

作業の実施において消去した区画線は、1日の工程終了時に復旧を行い交通開放すること。
なお、復旧工法については工事監督員と協議すること。

38 すき取り土の再利用

北海道建設部「すき取り土再利用暫定基準」に準拠すること。

39 植生工に係る土質・土壌試験

土質・土壌試験の試験方法や試験基準については、次によること。

- (1) 土の粒度試験
試験方法は、JIS A 1204 土の粒度試験方法による。
試験基準は、土質ごとに1箇所とする。ただし、他の工種で試験を実施している場合は省略することができる。
- (2) レキ含有量
試験方法は、目視による。
試験基準は、土質ごと1,000m²につき1箇所とする。ただし、土質ごとの施工面積が1,000m²未満の場合は、土質ごとに最低1箇所とする。
- (3) 土壌硬度、有機含有量、土壌酸度(PH)、リン酸吸収力
試験方法は、土壌及び作物栄養の診断基準(北海道立中央農業試験場、北海道農政部農業改良課)及び肥料分析法(農林水産省農業環境技術研究所)、またはこれらと同等の試験方法による。
試験基準は、土質ごと1,000m²につき1箇所とする。ただし、土質ごとの施工面積が1,000m²未満の場合は、土質ごとに最低1箇所とする。

40 週休2日工事の実施について

- (1) 本工事は、「週休2日工事」の対象工事であり、当初予定価格は月単位の週休2日以上達成を前提とした経費の補正を行っている。
- (2) 受注者は、月単位の週休2日による施工を希望する場合、契約後、発注者と協議を行い、協議が整った場合に月単位の週休2日による施工を行うこととする。なお、月単位の週休2日が達成できない場合においても、通期の週休2日による施工に努めること。
- (3) 月単位の週休2日とは、対象期間の全ての月において、4週8休以上（現場閉所日数（降雨、降雪等による予定外の現場閉所日を含む。）の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態）の現場閉所を行ったと認められる状況をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では現場閉所率が28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上の閉所を行っている場合に、達成しているものとみなす。
通期の週休2日とは、対象期間の現場閉所率が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。
対象期間は、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日（各種仮設物を撤去し、現場の清掃を完了した日）までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等）は含まない。
契約後、週休2日の対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議し、現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。
- (4) 現場閉所とは、巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
- (5) 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
- (6) 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
 - 1) 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
 - 2) 受注者は、実施結果を発注者へ報告する。
- (7) 発注者が必要に応じ週休2日の実施状況の聞き取り等を行う場合には、受注者は協力するものとする。
- (8) 受注者が月単位の週休2日による施工を希望しない場合又は現場閉所の達成状況の結果、月単位の週休2日に満たない場合は、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費率及び現場管理費率の補正について、通期の週休2日の補正係数に変更するものとし、通期の週休2日に満たないものは、補正係数を乗じない。また、市場単価についても月単位の週休2日に満たない場合は設計変更を行う。なお、その他労務費分が明らかとなっていない単価等については補正の対象としない。
- (9) 「週休2日工事」について、受注者を対象としたアンケート調査の依頼があった場合は協力するものとする。
- (10) 週休2日の実施計画書提出後、当該工事の全体工期に影響はでないものの、一部の施工内容・箇所に変更があり、工期内での期限を設ける必要がある場合は、対象期間外とできる場合があるので、受発注者間協議を行うこと。
- (11) その他の事項については、帯広市週休2日工事実施要領によるものとする。

41 その他

- (1) 施工箇所に建築物等が近接している場合は、所有者と起工測量時に建築物等の状況を確認し、立会確認書を作成すること。
- (2) 設計図書と現場の状況等が異なる場合は、工事施工協議簿を交わさない限り工事に着手してはならない。
- (3) ひび割れ補修工施工前に、ひび割れの状況（寸法）について写真撮影し協議すること。数量を確定させない限り施工を行ってはならない。

施 工 計 画 書

令和 年 月 日

帯広市長 米沢則寿 様

受注者 住 所

氏 名

工 事 名

上記工事について、施工計画書を下記のとおり提出します。

1. 工事概要
2. 計画工程表
3. 現場組織表
4. 指定機械
5. 主要船舶・機械
6. 主要資材
7. 施工方法
8. 施工管理計画
9. 安全管理
10. 緊急時の体制及び対応
11. 交通管理
12. 環境対策
13. 現場作業環境の整備
14. 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法
15. 社内検査
16. 特定外来生物（植物）防除計画書
17. 法定休日・所定休日
18. その他

上記工事について、施工計画書を受理しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名

課 長	課長補佐	主 任	主 任 補	主 任 補	主 任 補	主 任 補

工事看板記載仕様

ご迷惑をおかけします

道路を
造っています。

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 まで
時間帯 ○○:○○～○○:○○

工事名を標示する

農道改良工事

発注者 帯広市農政部農村振興課
電 話 0155-24-4111(代表)
0155-65-4171(直通)

施工者 ○○○○建設株式会社
電 話 ○○○○-○○-○○○○

お願い

道路工事のためご迷惑を
お掛けしますが、よろしく
御協力願います。

なお、お気付きの点は
係員にお申し出下さい。

発注者 帯広市農政部農村振興課
電 話 0155-24-4111(代表)
0155-65-4171(直通)

施工者 ○○○○建設株式会社
電 話 ○○○○-○○-○○○○

注 : 現場に施工業者の工事作業所及び現場代理人詰所等

がない場合は、施工会社のための記載とする。

詳細は、北海道建設部土木工事共通仕様書による。

市街地については1／2サイズも設置可能とする。

工 事 施 工 協 議 簿

(第 回)									
工 事 名									
件名									
内 容									
☐ 添 付 資 料 名									
【工事監督員】 令和 年 月 日 上記事項について ☐ 指示、 ☐ 承諾、 ☐ 協議、 ☐ 通知、 ☐ 受理 する。 ☐ 特記事項 ☐ 工事内容の変更の対象と ☐ しない。 ☐ する。ただし、詳細については別途指示する。 ☐ 工事内容の変更の対象とするか、後日指示する。 ☐ 特記事項									
決裁欄	課長	課長補佐	主任	主任補	主任補	主任補	監督員	起案日： 令和 年 月 日	
								決裁日： 令和 年 月 日	
【受 注 者】 令和 年 月 日 上記事項について ☐ 了解しました。 ☐ 承諾願います。 ☐ 協議、 ☐ 提出、 ☐ 報告 します。 ☐ 特記事項									
請負代金額	今回の変更による増減額		累計増減額		合計見込額			備考	
千円	千円		千円		千円				
農村振興課 確認欄	課長	課長補佐	主任補	主任補	監督員	受注者 確認欄	主任技術者	現場代理人	

注：該当する□に✓を記入すること。

「内容」について、記載欄が不足する場合は別紙への記載を可能とする。

課長	課長補佐	主任	主任補	主任補

履 行 報 告 書

工事名			
工 期	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで		
日 付	令和 年 月 日 (月分)		
月 別	予定工程 % () は工程変更後	実施工程 %	
(記事欄)			

(作成上の注意)

- 1 報告は、原則毎月とし、工事監督員へ提出すること。
- 2 予定工程は、初回報告時に完成までの予定出来高累計を記入すること。
- 3 実施工程は、当該報告月までの出来高累計を記入すること。
- 4 計画と実施（赤色）を対比した工程表を添付すること。

境界杭立会確認書一覽表

[illegible]

境界杭立会確認書					
帯広市が施工する市道〇〇・〇号線の工事に関する 下記記載の土地の境界杭の有無について、現地立会いのうえ確認しました。					
土地の所在		帯広市西〇〇条北〇丁目			
公簿		立会人			
地番	土地所有者住所・氏名	住所・氏名	印	所有者との関係	境界杭の有無 (本数)
2-1	帯広市〇〇〇町南〇線〇〇-〇〇 帯広 太郎	帯広市西〇〇条北〇丁目 帯広 太郎		本人	有 (1本)
					無 (1本)
					有 (本)
					無 (本)
					有 (本)
					無 (本)
					有 (本)
					無 (本)
工 事 着 工 時			工 事 終 了 時		
立会年月日	令和〇〇年〇月〇〇日		立会年月日	令和〇〇年〇月〇〇日	
工事実施会社名	〇〇〇〇株式会社		工事実施会社名	〇〇〇〇株式会社	
住 所	〇〇市西〇〇条〇〇丁目〇〇-〇		住 所	〇〇市西〇〇条〇〇丁目〇〇-〇	
工事業者立会者	〇〇 〇〇		工事業者立会者	〇〇 〇〇	
平面図(杭の有無がわかるように)			平面図(杭の有無がわかるように)		
立会時写真(できれば立会者が入っているもの)			立会時写真(できれば立会者が入っているもの)		

令和 年 月 日

監督員

様

(受注者名)

現場代理人

段 階 確 認 願 (第 回)

下記について、段階確認をお願いします。

記

段階確認の内容

工事名			実施希望日	令和 年 月 日		
工 種	細 目 等	品 質 規 格	区 域 等	数 量 等	呼 称	備 考

上記の段階確認について、以下のとおり実施します。

監督員

実施日時	令和 年 月 日 時から	実施者名	
実施場所	☐ 工事現場、 ☐ 製作工場、 ☐ （実施場所）		
実施方法	☐ 臨 場、 ☐ 机 上、		
必要書類	☐ 設計図書、 ☐ 測量結果、 ☐ 出来形図等、 ☐ 品質規格証明等 ☐ 施工管理記録、 ☐ 写真、 ☐ （その他必要書類等）		
特記事項			

令和 年 月 日 の段階確認の結果、設計図書のとおり施工されて

☐いる。 ☐いない。 ☐詳細については、別途指示する。

令和 年 月 日

監督員

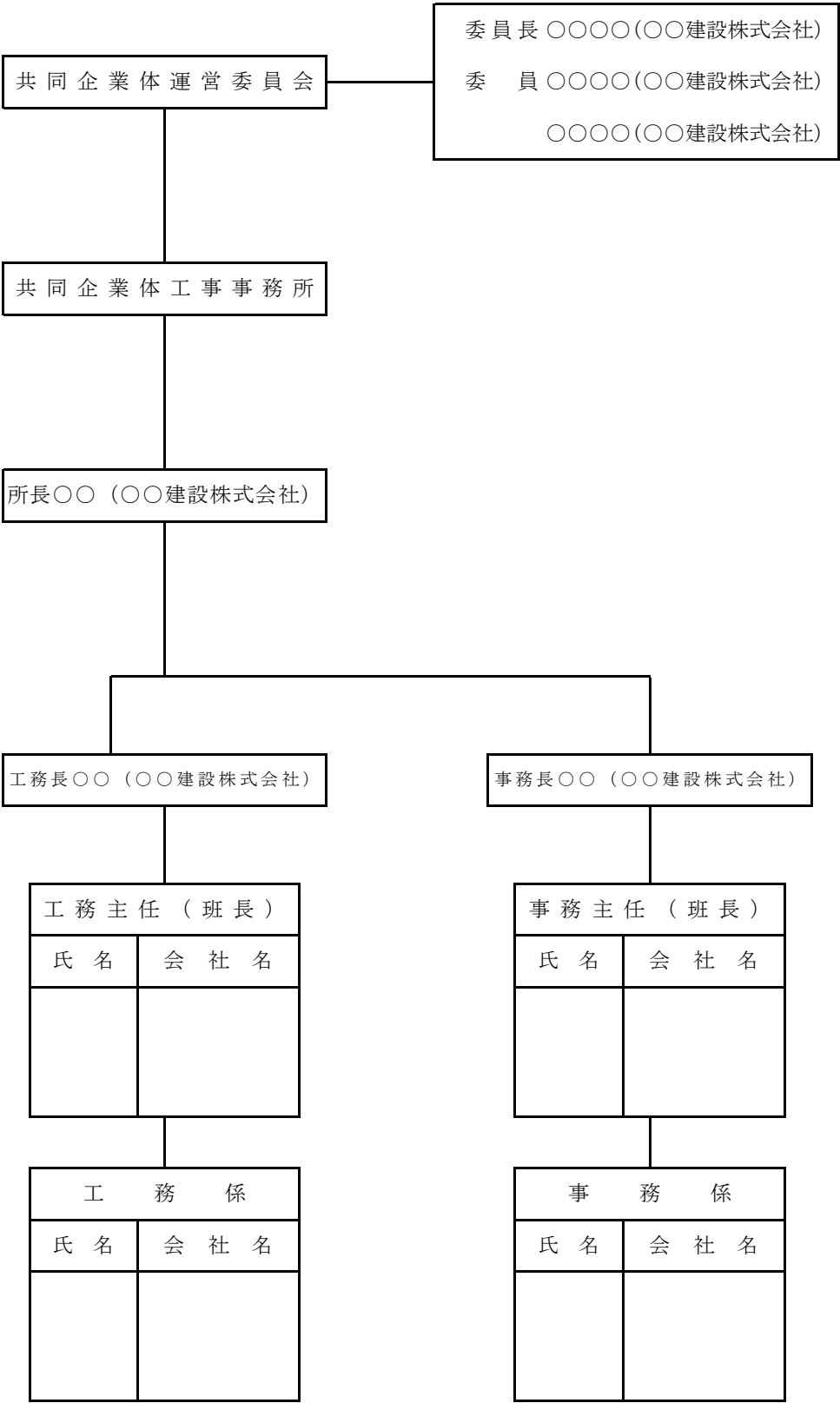
(主 旨)

本様式は、受注者が段階確認を受ける必要がある場合に工事監督員に提出するものである。

(作成上の注意)

該当する□内にレを記入すること。

〇〇共同企業体編成表



工 事 材 料 品 質 確 認 願

令和 年 月 日

帯広市長 米沢則寿 様

受注者 住 所

氏 名

工 事 名

上記工事について、工事材料の品質規格証明書を別紙のとおり提出しますので、ご確認願います。

.....

上記工事について、工事材料の品質規格を確認しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名

課 長	課長補佐	主 任	主 任 補	主 任 補	主 任 補	主 任 補

(別 紙)

令和 年 月 日

(受注者) 様

(住 所)

(再資源化施設名) 印

再生骨材の出荷確認について (回答)

令和 年 月 日に貴社より依頼のありましたこのことについて、
次のとおり回答します。

記

1 工事名

2 出荷できる再生骨材の規格、出荷可能数量及び出荷時期

規 格	出荷可能数量 (m ³)	出荷時期	備 考

(別紙)

建設発生土受入契約書

工 事 名	※工事請負契約書に記載されている工事名
発 注 者 名 称	帯広市
排 出 場 所	※工事請負契約書に記載されている工事場所
受 入 場 所	※特記仕様書に記載されている場所
受 入 数 量	※設計数量 〇〇〇 m3
受 入 費	〇〇〇円/m3
受 入 期 間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日
支 払 期 限	請求書を受理した日から30日以内

上記について、建設発生土の受入者（以下「甲」という。）と建設発生土の搬入者（以下「乙」という。）は、建設発生土の受入に関し、次のとおり契約を締結し、この契約の締結を証するため本契約書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ、各自その1通を保有するものとする。

令和 年 月 日

甲 住 所
名 称
代表者

印

乙 住 所
名 称
代表者

工事請負契約書と同一とする

印

(別紙)

令和 年 月 日

建設発生土受入証明書

搬入業者 様

受入者 住 所
氏 名

建設発生土の受入について、下記のとおりであることを証明いたします。

工 事 名 農道改良工事
受 入 数 量 〇〇〇m3
受入完了日 令和 年 月 日

上記の建設発生土の受入について確認しました。
令和 年 月 日
監督員職氏名

(様式 7)

再資源化等報告書

令和 年 月 日

帯広市長 米沢則寿 様

受注者 住 所

氏 名

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第 18 条第 1 項の規定により、下記のとおり、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したことを報告します。

記

1 工事の名称

2 工事の場所

3 再資源化等が完了した年月日 令和 年 月 日

4 再資源化等をした施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施 設 の 名 称	所 在 地

5 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用 _____ 万円

6 再生資源利用実施書（様式 1） 別紙のとおり

7 再生資源利用促進実施書（様式 2） 別紙のとおり

再生資源利用促進計画の作成に伴う確認結果票

工事名			
元請建設工事事業者等			
作成・更新年月日		工事責任者	

土砂の搬出に係わる土壌汚染対策法等の手続確認結果

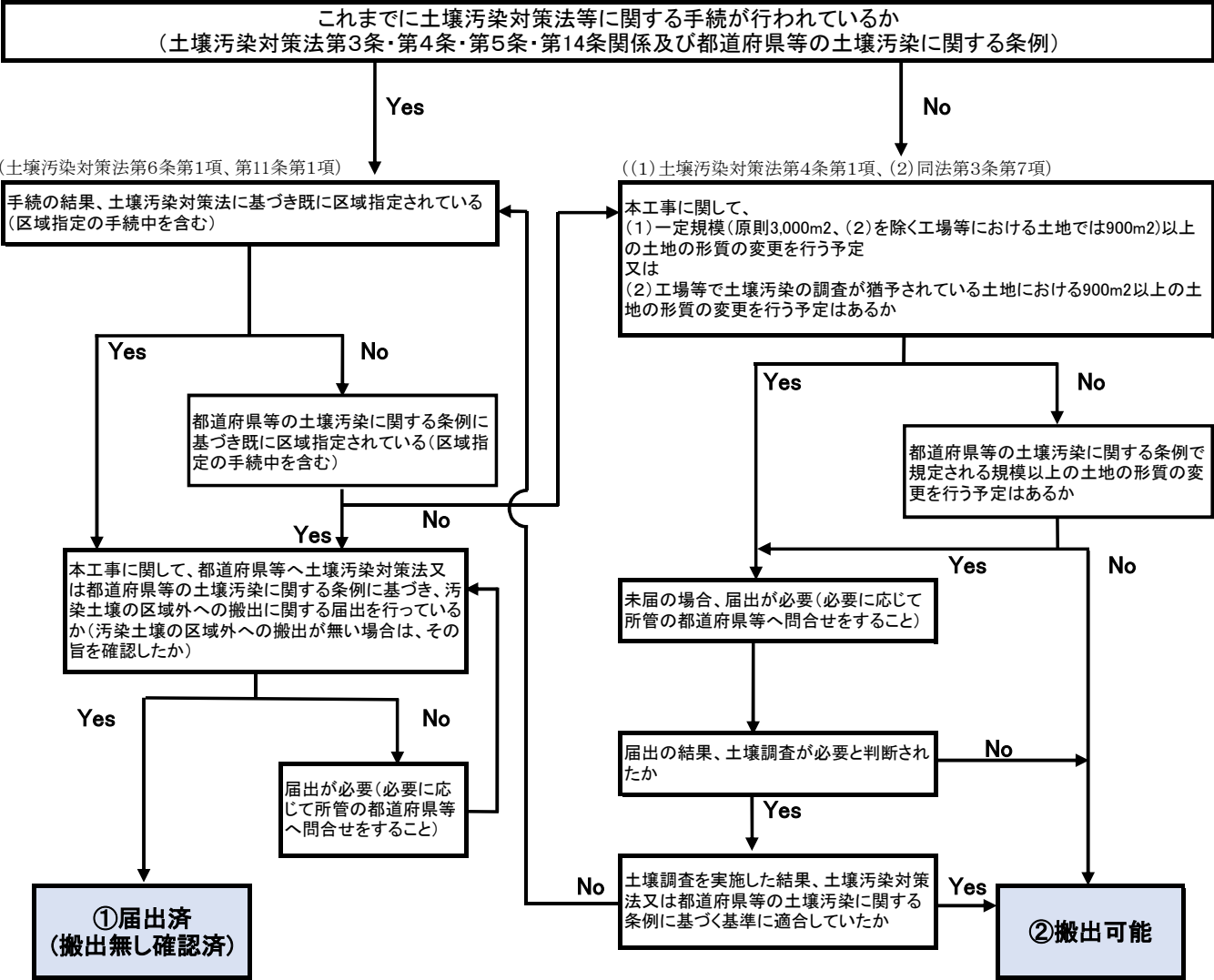
工区等	結果区分	確認結果

注) 結果区分が①の場合には、建設発生土ではなく汚染土としての取扱いとなる

建設発生土の搬出先確認結果

[illegible]

土壌汚染対策法等手続の確認フロー（農道改良工事）



結果区分	確認結果
(備考)	

【補足事項】

- ・フローのうち該当する箇所(Yes又はNo)を赤色に着色ください。
- ・本フローは確認結果票とともに記録・保存してください。

指 定 機 械 一 覧

機 種	規 格	台 数	使 用 工 種	排 出 ガ ス 対 策	メ ー カ ー
			(記入例) 土砂掘削 岩盤掘削 法面整形 路盤工締固め	(記入例) 第○次基準 排対 浄化装置付 非排対	

〈理由書例〉

排出ガス対策型建設機械を使用できない理由書

令和 年 月 日

(監督員) 様

(受注者名)

工 事 名			
現 場 代 理 人 名			
機 械 名		規 格	
当該工事で使用できない理由 (例) 自社持機械を使用し、排出ガス浄化装置を装着するには資金不足のため			
今後の使用方針 (例) 資金調達が出来次第、排出ガス浄化装置を設置する予定 (1 年後を予定)			
機 械 名		規 格	
当該工事で使用できない理由 (例) 自社持機械に対応する排出ガス浄化装置メーカーが市場にないため			
今後の使用方針 (例) 自社持機械に対応する排出ガス浄化装置メーカーが市場に追加されしだい、 装着する予定			

送電線路付近工事協議書

発行 月 日

工 事 件 名		打 合 せ 日	令和 年 月 日
工 期	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日		
現 場 住 所			
送 電 線 名	(電圧 kV)	支 持 物 N o	
施 工 会 社 名		工 事 担 当 者	
連 絡 先	事業所 TEL	現場事務所 TEL	
発 注 元	担当者	TEL	
協 議 出 席 者	(施工側)	協 議 場 所	北海道電力ネットワーク(株) 帯広支店 配電部配電グループ 0155-24-6585
氏 名	(北電側)		

[illegible]

《終了確認》

各	長	担 当

《協議確認》

各 長	担 当	協議者

点検記録票(総括票)

道路標識

(1)基本情報

道路標識管理番号					
路線名		緯度※1		経度※1	
所在地		距離標※2		センサス 区間番号※2	
管理者		設置年月		車道幅員	

支柱形式	
基礎形式	
路面境界部の状況	
表面処理形式	

海岸からの距離		融雪(凍結防止)剤 散布路線	
防雪対策実施路線		風規制実施路線	

点検年月日		点検員	
-------	--	-----	--

位置特定のための付図、写真等

※1 緯度・経度については世界測地系で0.1″ 単位まで記入する。

※2 距離標、センサス区間番号がある場合は記入する。

(2)点検結果

点検部位		①点検状況	②対象の有無	③判定結果	④異常の内容	⑤応急措置等	⑥応急措置等の内容	備考
本体	支柱本体							
	横梁本体							
	標識板							
接続部	支柱継手部(ボルト接合の他、特に溶接継手に注視)							
	横梁仕口溶接部							
	横梁取付部							
	横梁継手部(ボルト接合の他、特に溶接継手に注視)							
	標識板取付部							
支柱基部	路面境界部がアスファルトや土砂等で埋め戻されている場合	路面境界部 (GL-0)						
		路面境界部 (GL-40)						
	基礎コンクリートが露出している場合	柱・基礎境界部						
		基礎コンクリート部						
	ベースプレートが露出している場合	リブ・取付溶接部						
		柱・ベースプレート溶接部						
		アンカーボルト・ナット						
		基礎コンクリート部						
その他								
上記の点検部位の他に重大事故(落下、倒壊等)に繋がる損傷発見の有無			※「有」の場合、点検記録票(損傷記録票)に記載					
その他特記事項								

(3)点検予定

点検ができなかった部位		ポンチ絵・写真 ・点検できなかった部位 ・点検の状況(できなかった理由) 等
その理由		
点検予定時期		
点検実施方法		

別記様式

技能士活用状況報告書
(予定・実績)

※予定・実績のどちらかに○をつけること。

令和 年 月 日

帯広市長 米沢則寿 様

受注者 住所

氏名

1 工事名等

工事番号		工事箇所		請負代金額	
工事名					

2 技能士活用状況等

工事種別		技能士検定職種	予 定				実 績					
			技能士の活用予定の有無	当該工事に従事予定の技能士氏名(1名)及び技能士数			当該工事に従事した労働者数(実人員)					計
				級別	氏 名	左の者を含む技能士数	技 能 士				技能士以外	
工 種	該 当 有 無						特級	1級	2級	左以外の級		
1 地盤改良(ウエルポイント)工		ウエルポイント施工				人	人	人	人	人	人	0 人
2		型枠施工				人	人	人	人	人	人	0 人
3 コンクリート工		コンクリート圧送施工 ^(注)				人	人	人	人	人	人	0 人
4		鉄筋施工				人	人	人	人	人	人	0 人
5 積ブロック工		コンクリート積みブロック施工				人	人	人	人	人	人	0 人
6 さく井工		さく井				人	人	人	人	人	人	0 人
7 コンクリート補修工		樹脂接着剤注入施工				人	人	人	人	人	人	0 人
8 石積み工		石材施工				人	人	人	人	人	人	0 人
9 植栽工		造園 ^(注)				人	人	人	人	人	人	0 人
10 塗装工		塗装 ^(注)				人	人	人	人	人	人	0 人
11 とび工		とび				人	人	人	人	人	人	0 人
12 防水工		防水施工				人	人	人	人	人	人	0 人
13 区画線工		路面標示施工 ^(注)				人	人	人	人	人	人	0 人
14 上記以外の工種						人	人	人	人	人	人	0 人
合 計						0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

注 「コンクリート圧送施工」、「造園」、「路面標示施工」、「塗装」の4職種については、平成22年4月10日以後に入札の公告等を行う工事から、土木工事における活用状況を工事施行成績評定において評価することとしています。

【予定】記載方法等

- ※1 当該工事において、1～13に示す工事種別に該当する工種がある場合は、該当する工事種別の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。
なお、1～13に示す工事種別に該当する工種が無い場合、又は該当する工種以外の工種がある場合は、「14 上記以外の工種」の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別については、「技能士の活用予定の有無」欄に、技能士を活用する予定がある場合は「○」を、技能士を活用する予定が無い場合は「×」を記載してください。
- ※3 「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載した工種については、当該工事に従事予定の技能士の級別及び氏名を1名分記載するとともに、従事予定の技能士数を記載してください。
なお、技能士の氏名が確定していない場合は、「未定」と記載してください。
- ※4 「14 上記以外の工種」において、技能士が従事する場合は、「技能士検定職種」欄に従事する技能士の技能士検定職種の名称を記載するとともに、上記※3と同様に記載してください。
なお、複数の職種が従事する場合は、適宜欄を追加して記載してください。
- ※5 この報告書(予定)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事工程表と同時に提出してください。

【実績】記載方法等

- ※1 この報告書(実績)は、報告書(予定)の記載内容に追記して作成してください。その際、予定の記載内容に変更が生じた場合であっても、予定の記載内容に変更しないでください。ただし、設計変更等により新たに該当する工種が増えた場合については、「該当の有無」欄に「○」を記載し、実績のみ必要事項を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別について、その工種に従事した労働者の実人員(氏名の総数)を技能士の級別及び技能士以外に分類して記載してください。
なお、労働者とは、常用労働者、季節労働者、それ以外の労働者のすべてが含まれます。
- ※3 この報告書(実績)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事完成通知書と同時に提出してください。

別記様式

留意事項（予定）

技能士活用状況報告書
(予定・実績)

※予定・実績のどちらかに○をつけること。

予定に「○」をつける

令和〇〇年〇〇月〇〇日

帯広市長 米沢則寿 様

契約書の内容を忘れずに
記入してください。

受注者 住所 帯広市〇〇条〇〇丁目〇〇番地

氏名 〇〇〇建設株式会社

提出年月日は必ず
記載してください

1 工事名等

工事番号	〇〇〇〇	工事箇所	帯広市〇〇条〇〇丁目	請負代金額	〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円
工事名	農道改良工事				

2 技能士活用状況等

工 事 種 別			予 定					実 績						
工 種	該 当 の 有 無	技 能 士 検 定 職 種	技能士の活用予定の有無	当該工事に従事予定の技能士氏名(1名)及び技能士数			当該工事に従事した労働者数(実人員)							
				級 別	氏 名	左の者を含む技能士数	技 能 士				技能士以外	計		
							特級	1級	2級	左以外の級				
1 地盤改良(ウェルポイント)工		ウェルポイント施工				人	人	人	人	人	人	0 人		
2	○	型枠施工	×			人	人	人	人	人	人	0 人		
3 コンクリート工	○	コンクリート圧送施工	○	1	〇〇 〇〇	4 人	人	人	人	人	人	0 人		
4	○	鉄筋施工	○		未 定	6 人	人	人	人	人	人	0 人		
5 積ブロック工	○	コンクリート積みブロック施工	×			人			人	人	人	0 人		
6 さく井工		さく井				人			人	人	人	0 人		
7 コンクリート補修工	※1	樹脂	※2		※3	人			人	人	人	0 人		
8 石積み工		石材				人	人	人	人	人	人	0 人		
9 植栽工		造園				人	人	人	人	人	人	0 人		
10 塗装工		塗装				人	人	人	人	人	人	0 人		
11 とび工		とび				人	人	人	人	人	人	0 人		
12 防水工		防水				人	人	人	人	人	人	0 人		
13 区画線工		路面標示施工				人	人	人	人	人	人	0 人		
14 上記以外の工種	○	例) 建築配管 ※4	○	2	□□ □□	2 人	人	人	人	人	人	0 人		
合 計						12 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人		

「14」の記載

技能士数は、実人員（氏名の総数）で記入願います

合計の人数が合っているか確認してください

技能士を活用しない場合、この欄は空欄とします

当該工種に対する活用予定を「○」「×」で記入

当該工種に対する活用予定を「○」「×」で記入

該当する工種があった場合は、「○」をつけてください
※技能士活用有無に関わらず、いずれかに必ず「○」がつきます

該当工種に対する活用予定を「○」「×」で記入

該当工種に対する活用予定を「○」「×」で記入

技能士数は、実人員（氏名の総数）で記入願います

合計の人数が合っているか確認してください

【予定】記載方法等

- ※1 当該工事において、1～13に示す工事種別に該当する工種がある場合は、該当する工事種別の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。
なお、1～13に示す工事種別に該当する工種が無い場合、又は該当する工種以外の工種がある場合は、「14 上記以外の工種」の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別については、「技能士の活用予定の有無」欄に、技能士を活用する予定がある場合は「○」を、技能士を活用する予定が無い場合は「×」を記載してください。
- ※3 「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載した工種については、当該工事に従事予定の技能士の級別及び氏名を1名分記載するとともに、従事予定の技能士数を記載してください。
なお、技能士の氏名が確定していない場合は、「未定」と記載してください。
- ※4 「14 上記以外の工種」において、技能士が従事する場合は、「技能士検定職種」欄に従事する技能士の技能士検定職種の名称を記載するとともに、上記※3と同様に記載してください。
なお、複数の職種が従事する場合は、適宜欄を追加して記載してください。
- ※5 この報告書(予定)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事工程表と同時に提出してください。

【実績】記載方法等

- ※1 この報告書(実績)は、報告書(予定)の記載内容に追記して作成してください。その際、予定の記載内容に変更が生じた場合であっても、予定の記載内容に変更しないてください。ただし、設計変更等により新たに該当する工種が増えた場合については、「該当の有無」欄に「○」を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別について、その工種に従事した労働者の実人員(氏名の総数)を技能士活用状況報告書(実績)の「実人員」欄に記載してください。なお、労働者とは、常用労働者、季節労働者、それ以外の労働者のすべてが含まれます。
- ※3 この報告書(実績)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事完成通知書と同時に提出してください。

記載にあたっては、※1～※4を一読願います。

別記様式

留意事項（実績）

技能士活用状況報告書
（予定・実績）

※予定・実績のどちらかに○をつけること。

実績に「○」をつける

令和〇〇年〇〇月〇〇日

帯広市長 米沢則寿 様

最終実績の内容を忘れずに
記入してください。

受注者 住所 帯広市〇〇条〇〇丁目〇〇番地

氏名 〇〇〇建設株式会社

提出年月日は必ず
記載してください

1 工事名等

工事番号	〇〇〇〇	工事箇所	帯広市〇〇条〇〇丁目	請負代金額	〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円
工事名	農道改良工事				

2 技能士活用状況等

工 事 種 別		技 能 士 検 定 職 種	予 定				実 績													
工 種	該 当 の 有 無		技能士の 活用予定 の有無	当該工事に従事予定の 技能士氏名(1名)及び技能士数			当該工事に従事した労働者数(実人員)													
				級別	氏 名	左の者を 含む 技能士数	技 能 士				技能士以外		計							
							特級	1級	2級	左以外の級										
1	地盤改良(ウェルポイント)工					人		人		人		人		人	0					
2		○	型枠施工	×			人	0	人	0	人	0	人	0	人	5	人	5		
3	コンクリート工	○	コンクリート圧送施工	○	1	〇〇 〇〇	4	人	0	人	2	人	2	人	0	人	0	人	4	
4		○	鉄筋施工	○		未 定	6	人	0	人	2	人	1	人	1	人	2	人	6	
5	積ブロック工	○	コンクリート積みブロック施工	×				人	0	人	0	人	0	人	0	人	0	人	0	
6	さく井工		さく井					人		人		人		人		人		人	0	
7	コンクリート補修工	※1	樹脂接着剤注入施工					人		人		人	※2	人		人		人	0	
8	石積み工		石材施工					人		人		人		人		人		人	0	
9	植栽工		造園					人		人		人		人		人		人	0	
10	塗装工		塗装					人		人		人		人		人		人	0	
11	とび工		とび					人						人		人		人	0	
12	防水工		防水施工					人		人		人		人		人		人	0	
13	区画線工		路面標示施工					人		人		人		人		人		人	0	
14	上記以外の工種	○		×				人	0	人	0	人	0	人	0	人	6	人	6	
合 計								10	人	0	人	4	人	3	人	1	人	13	人	21

合っているか確認してください

人数は、延べ人数ではなく、『氏名の総数』を記載します

技能士以外の労働者数も記載が必要です

合計の人数が
合っているか確
認してください

人数は、延べ人
数ではなく、
『氏名の総数』
を記載します

技能士以外の労働者数も
記載が必要です

【予定】記載方法等

- ※1 当該工事において、1～13に示す工事種別に該当する工種がある場合は、当該工事種別の「該当の有無」欄に「○」を記載し、該当する工種が1～13に示す工事種別に該当する工種が無い場合は、又は該当する工種以外の工種がある場合は、「14 上記以外の工種」欄に「○」を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別については、「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載し、技能士を活用する予定がある場合は、技能士を活用する予定が無い場合は「×」を記載してください。
- ※3 「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載した工事種別については、「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載し、技能士を活用する予定がある場合は、技能士を活用する予定が無い場合は「×」を記載してください。
- ※4 「14 上記以外の工種」欄に「○」を記載した場合は、「技能士検定職種」欄に従事する技能士の技能士数、技能士の級別及び氏名を1名分記載するとともに、従事予定の技能士数を記載してください。
- ※5 この報告書(予定)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事工程表と同時に提出してください。

合計の人数が
合っているか確
認してください

予定の記載内容
は変更しない

設計変更等で工種が
増えた場合のみ
「○」を
追加します
(工種が減の場合は
削除しない)

記載にあたっては、※1～※2
を一読願います。

【実績】記載方法等

- ※1 この報告書(実績)は、報告書(予定)の記載内容に追記して作成してください。その際、予定の記載内容に変更が生じた場合であっても、予定の記載内容に変更しないください。ただし、設計変更等により新たに該当する工種が増えた場合には、「該当の有無」欄に「○」を記載し、実績のみ必要事項を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別について、その工種に従事した労働者の実人員(氏名の総数)を技能士の級別及び技能士以外に分類して記載してください。
- ※3 この報告書(実績)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事完成通知書と同時に提出してください。

社 内 完 成 検 査 報 告 書

令和 年 月 日

帯広市長 米沢則寿 様

受注者 住 所

氏 名

工事名

上記工事について、社内検査を行った結果、完成と認められるので報告します。

検 査 年 月 日 令和 年 月 日

検査員職氏名

立 会 人 氏 名

令和 年 月 日

借 受 書

帯広市長 米沢則寿 様

受注者 住 所
氏 名

下記のとおり図書等について借受けました。

工 事 名 農道改良工事
借 受 場 所 帯広市農政部農政室農村振興課
借 受 期 間 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
返納予定日 令和 年 月 日

借受品明細

品 目	品質・規格・性能	単位	貸与数量

注意事項

- ・ 帯広市個人情報保護条例第4条に基づき、借受品に含まれる個人情報が、借受者以外の第三者に漏洩することがないように、取扱いには十分注意すること。
- ・ 借受期間中に、物品の紛失、損傷、汚損等が発生した場合は、借受者の責任において復元すること。
- ・ 借受品の転貸は絶対にしないこと。

上記の図書等の貸出しについて確認しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名

令和 年 月 日

返 納 書

帯広市長 米沢則寿 様

受注者 住 所
氏 名

下記のとおり図書等について返納いたします。

工 事 名 農道改良工事
返 納 場 所 帯広市農政部農政室農村振興課
借 受 期 間 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
返納予定日 令和 年 月 日

借受品明細

品 目	品質・規格・性能	単位	貸与数量

上記の図書等の返納について確認しました。
令和 年 月 日
監督員職氏名

建築物等立会確認書			
帯広市が施工する工事に関する下記記載の建築物等の 状況について、現地立会いのうえ確認しました。			
建築物等の所在		帯広市〇〇条〇〇丁目〇〇番地	
建築物等の種類		家屋 物置 塀 擁壁 その他（ ）	
立 会 人		住 所	
		氏 名	
		所有者との関係 本 人	
工 事 着 工 時		工 事 終 了 時	
立会年月日	令和〇〇年〇月〇〇日	立会年月日	令和〇〇年〇月〇〇日
工事実施会社名	〇〇〇〇株式会社	工事実施会社名	〇〇〇〇株式会社
住 所	帯広市〇〇条〇〇丁目〇〇番地	住 所	帯広市〇〇条〇〇丁目〇〇番地
工事業者立会者	〇〇 〇〇	工事業者立会者	〇〇 〇〇
平面図(建築物等の有無がわかるように)		平面図(建築物等の有無がわかるように)	
立会時写真(できれば立会者が入っているもの)		立会時写真(できれば立会者が入っているもの)	

産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表

工事名：

[illegible]

実 施 数 量 (合 計)	0.00 t	
設 計 数 量 (合 計)	9.00 t	
差	-9.00 t	0%

課 長	課長補佐	主 任	主 任 補	主 任 補	主 任 補	主 任 補

施 工 体 制 報 告 書

令和 年 月 日

帯広市長 米 沢 則 寿 様

受注者 住所

氏名

工 事 名 _____

当該工事の施工体制を、別紙のとおり定めたので関係書類を添付して報告します。

令和 年 月 日

監督員

様

(受注者名)

現場代理人

立 会 願

下記項目について、立会を願います。

工 事 名		
項 目	内 容	
希 望 日 時		

上記項目について令和 年 月 日立会を実施した。

令和 年 月 日

監督員職氏名

(主 旨)

本様式は、受注者が工事監督員の立会を受ける必要がある場合に工事監督員に提出するものである。

概数として扱う数量一覧表

費 目	本工事 0 1	(第 1 回)
-----	---------	---------

工種・種別・細目	規 格	名 称	単位	数 量 (前 回)	数 量 (今 回)	摘 要
構造物撤去工						
構造物取壊し工						
発生材運搬						
殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし、機械積込、無し、3.3km以下		m3		1.3	
殻運搬	舗装版破碎、機械積込(舗装版厚15cm以下、無し、3.5km以下		m3		8.0	
アスファルト受入費	中間処理		ton		19.0	
コンクリート廃材受入費	鉄筋、中間処理費		ton		1.0	
汚泥処分	D=30.5km		m3		0.1	
準備費						
準備費						
すきとり						
運搬	9.0km以下		空m3		54.0	
一般廃棄物	すき取り物 ボサ類		空m3		54.0	
樹木伐採						
樹木伐採	樹高10m 幹周50cm		本		15.0	

概数として扱う数量一覧表

費 目	本工事 0 1	(第 1 回)
-----	---------	---------

[illegible]

道路工事位置図

識別番号:20250403-23374448



令和7年度
手入力事業
農道改良工事



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

金抜き設計書

(当初)

S3120102

S3120102

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

項 目 名	数 量	単 位	金 額	備 考
1 工事価格	1.000	式		
2 ・ 工事原価	1.000	式		
3 純工事費	1.000	式		
4 ・ ・ 直接工事費	1.000	式		
5 ・ ・ 間接工事費	1.000	式		
6 ・ ・ ・ 共通仮設費	1.000	式		
7 ・ ・ ・ ・ 運搬費～営繕費等				
(4+15+17-19-20-21-22-24) × (標準値)		%	定率×補正率1.03 (週休2日補正 (月単位) 分)	
8 ・ ・ ・ ・ 準備費	1.000	式		
9 ・ ・ ・ ・ 現場環境改善費	1.000	式		
10 ・ ・ ・ ・ 現場環境改善費 (率計上)				
(4-16-22) × (標準値)		%		
11 ・ ・ ・ 現場管理費	1.000	式		
12 ・ ・ ・ ・ 現場管理費 (率計上)				
(4+6+14-19-21-22-23-24) × (標準値)		%	定率×補正率1.05 (週休2日補正 (月単位) 分)	
13 ・ 一般管理費等				
(4+6+26-19-22-23-24) × (標準値*N002*N018)		%		
14 支給品費				
15 支給品費 (直工・事業損失防止)				
16 処分費等 (直接工事費の内数)	1.000	式		
17 処分費 (準備費の内数)				
18 処分費 (事業損失防止施設費内数)				
19 処分費等 (率対象外)				
20 共通仮設費率対象外	1.000	式		
21 共通仮設費及び現場管理費率対象外				
22 循環税 (直接工事費の内数)				
23 循環税 (準備費の内数)				
24 循環税 (事業損失防止施設費の内数)				
25 ・ ・ ・ ・ 一般管理費等算出用 (率計上)				
(4+6+14-19-21-22-23-24) × (標準値)		%		
26 ・ ・ ・ ・ 一般管理費等算出用 (率計上 + 積上)				
(25) × 標準値		%		
27 ・ 一般管理費等対象額				
(4+6+26-19-22-23-24) × 標準値		%		
28 法定福利費概算額 (工事価格の内数)				
(1) × 標準値		%		

S3120102

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

工 種 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費内訳				
直接工事費	1.000	式		
・土工	1.000	式		
・ ・ 掘削工	1.000	式		
・ ・ ・ 土砂掘削 流用土	1.000	式		
・ ・ ・ 土砂等運搬	1.000	式		
・ ・ 路床盛土工	1.000	式		
・ ・ ・ 流用土路床盛土 流用土	1.000	式		
・ ・ 路肩盛土工(二次施工分)	1.000	式		
・ ・ ・ 発生土路肩盛土	1.000	式		
・ ・ 法面整形工	1.000	式		
・ ・ ・ 法面整形	1.000	式		
・ ・ 作業残土処理工	1.000	式		
・ ・ ・ 作業残土処理 残土	1.000	式		
・ 法面工	1.000	式		
・ ・ 植生工	1.000	式		
・ ・ ・ 植生	1.000	式		
・ 排水構造物工(小型水路工)	1.000	式		
・ ・ 作業土工	1.000	式		
・ ・ ・ 床掘作業土工	1.000	式		
・ ・ ・ 埋戻し作業土工 現地埋戻し	1.000	式		
・ ・ ・ 床仕上げ	1.000	式		
・ ・ 管渠工	1.000	式		
・ ・ ・ プレキャストパイプ	1.000	式		
・ ・ ・ 塩化ビニル管	1.000	式		
・ ・ 集水樹・マンホール工	1.000	式		
・ ・ ・ 集水樹	1.000	式		
・ 舗装工	1.000	式		
・ ・ 舗装準備工	1.000	式		
・ ・ ・ 不陸整正	1.000	式		
・ ・ 車道路盤工	1.000	式		
・ ・ ・ 凍上抑制層(車道部)	1.000	式		
・ ・ ・ 下層路盤(車道・路肩部)	1.000	式		
・ ・ ・ 上層路盤(車道・路肩部)	1.000	式		
・ ・ ・ 装甲路肩路盤	1.000	式		
・ ・ 取付道路路盤工	1.000	式		
・ ・ ・ 取付道路路盤	1.000	式		
・ ・ 車道アスファルト舗装工	1.000	式		

S3120102

S3120102

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費					
・土工					
	1.000	式			
・掘削工	1.000	式			
・・・ 土砂掘削 流用土	1.000	式			1 式当たり
SP 掘削 _バックホウ 土砂, オブツカット, 無し, 無し, 5,000m3未満, -, -, -	2,940.000	m3			歩A・単A S単 4号
合 計					
・・・ 土砂等運搬	1.000	式			1 式当たり
SP 土砂等運搬 _ダンブトラック10 t 積級 標準, バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3), 土砂(岩塊・玉石混り土含む), 無し, 7.5km以下	2,590.000	m3			歩A・単A S単 5号
残土受入費	2,590.000	m3			歩A・単A
合 計					
・路床盛土工	1.000	式			
・・・ 流用土路床盛土 流用土	1.000	式			1 式当たり
まき出し_人力 砂質土	159.000	m3			歩A・単A S単 10号
締固め_狭隘な箇所 路床, W<1.0m	159.000	m3			歩A・単A S単 16号
合 計					
・路肩盛土工(二次施工分)	1.000	式			
・・・ 発生土路肩盛土	1.000	式			1 式当たり
まき出し_人力 砂質土	38.000	m3			歩A・単A S単 10号
締固め_狭隘な箇所 路床, W<1.0m	38.000	m3			歩A・単A S単 16号
合 計					
・法面整形工	1.000	式			
・・・ 法面整形	1.000	式			1 式当たり
SP 法面整形 切土部(機械) 切土部, -, 無し, 砂質土、砂及び砂質土、粘性土	209.000	m ²			歩A・単A S単 11号
SP 法面整形 盛土部(機械) 盛土部, 有り, 無し, 砂質土、砂及び砂質土、粘性土	428.000	m ²			歩A・単A S単 12号
SP 法面整形 切土部(機械) 切土部, -, 無し, 砂質土、砂及び砂質土、粘性土	858.000	m ²			歩A・単A S単 11号
合 計					
・作業残土処理工	1.000	式			
・・・ 作業残土処理 残土	1.000	式			1 式当たり
SP 土砂等運搬 _ダンブトラック10 t 積級 標準, バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3), 土砂(岩塊・玉石混り土含む), 無し, 7.5km以下	61.000	m3			歩A・単A S単 5号
残土受入費	61.000	m3			歩A・単A
合 計					
・法面工	1.000	式			
・植生工	1.000	式			
・・・ 植生	1.000	式			1 式当たり
腐植酸種子散布 100m ² 以上250m ² 未満	144.000	m ²			歩A・単A S単 52号

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
張芝 500㎡以上	1,218.000	㎡			歩A・単A S単 53号
すき取り土法覆	414.000	㎡			歩A・単A S単 13号
積芝(生芝)	2.000	㎡			歩A・単A S単 36号
合 計					
・排水構造物工(小型水路工)	1.000	式			
・ ・ 作業土工	1.000	式			
・ ・ ・ 床掘作業土工	1.000	式			1 式当たり
SP 床掘り 土砂,平均施工幅1m以上2m未満,無し,無し	199.000	m3			歩A・単A S単 7号
合 計					
・ ・ ・ 埋戻し作業土工 現地埋戻し	1.000	式			1 式当たり
SP 埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満,-,-	123.000	m3			歩A・単A S単 14号
合 計					
・ ・ ・ 床仕上げ	1.000	式			1 式当たり
SP 基面整正	119.000	㎡			歩A・単A S単 9号
合 計					
・ ・ 管渠工	1.000	式			
・ ・ ・ プレキャストパイプ	1.000	式			1 式当たり
RC管1種 φ450 砂利基礎	9.000	m			歩A・単A T単 1号
RC管2種 φ450 砂利基礎	141.000	m			歩A・単A T単 2号
合 計					
・ ・ ・ 塩化ビニル管	1.000	式			1 式当たり
塩化ビニル管 (φ200)	2.000	m			歩A・単A T単 3号
合 計					
・ ・ 集水樹・マンホール工	1.000	式			
・ ・ ・ 集水樹	1.000	式			1 式当たり
-A下部樹 グレーチング 樹	2.000	箇所			歩A・単A T単 4号
-A下部樹 インクリト蓋	3.000	箇所			歩A・単A T単 5号
合 計					
・ 舗装工	1.000	式			
・ ・ 舗装準備工	1.000	式			
・ ・ ・ 不陸整正	1.000	式			1 式当たり
SP 不陸整正 無し,-	3,460.000	㎡			歩A・単A S単 37号
合 計					
・ ・ 車道路盤工	1.000	式			
・ ・ ・ 凍上抑制層(車道部)	1.000	式			1 式当たり

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
凍上抑制層 (車道部) 再生骨材80mm t=77cm	2,897.000	m ²			歩A・単A T単 7号
凍上抑制層 (車道部) 再生骨材80mm t=73cm	53.000	m ²			歩A・単A T単 8号
合 計					
・ ・ ・ 下層路盤(車道・路肩部)	1.000	式			1 式当たり
下層路盤 (車道・路肩部) 再生骨材40mm t=15cm	2,965.000	m ²			歩A・単A T単 9号
合 計					
・ ・ ・ 上層路盤(車道・路肩部)	1.000	式			1 式当たり
SP 上層路盤 (車道・路肩部) 再生アスファルト安定処理(混入率50%),50mm,1.4m以上3.0m以下,ﾌﾞﾗｲﾑｺｰﾄ (PK-3)	2,557.000	m ²			歩A・単A S単 45号
合 計					
・ ・ ・ 装甲路肩路盤	1.000	式			1 式当たり
装甲路肩路盤 再生骨材40mm t=9cm	6.000	m ²			歩A・単A T単 10号
装甲路肩路盤 再生骨材40mm t=5cm	266.000	m ²			歩A・単A T単 11号
合 計					
・ ・ 取付道路路盤工	1.000	式			
・ ・ ・ 取付道路路盤	1.000	式			1 式当たり
凍上抑制層 (車道部) 再生骨材80mm t=27cm	668.000	m ²			歩A・単A T単 12号
下層路盤 (車道・路肩部) 再生骨材40mm t=15cm	668.000	m ²			歩A・単A T単 9号
SP 上層路盤 (車道・路肩部) 再生アスファルト安定処理(混入率50%),50mm,3.0m超,ﾌﾞﾗｲﾑｺｰﾄ (PK-3)	668.000	m ²			歩A・単A S単 46号
SP 下層路盤 (車道・路肩部) 下層路盤 200mm,1層施工,切込砂利40mm級	46.000	m ²			歩A・単A S単 42号
合 計					
・ ・ 車道アスファルト舗装工	1.000	式			
・ ・ ・ 基層	1.000	式			1 式当たり
SP 基層 (車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4,40.0mm,再生合材(混入率 50%),粗粒度ｱｽﾌ	48.000	m ²			歩A・単A S単 47号
合 計					
・ ・ ・ 表層_車道	1.000	式			1 式当たり
SP 表層 (車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4,30.0mm,再生合材(混入率 50%),密粒度ｱｽﾌ	2,512.000	m ²			歩A・単A S単 48号
SP 表層 (車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾞﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3,30.0mm,再生合材(混入率 50%),密粒度ｱｽﾌ	278.000	m ²			歩A・単A S単 49号
合 計					
・ ・ 取付道路アスファルト舗装工	1.000	式			
・ ・ ・ 表層_取付道	1.000	式			1 式当たり
SP 表層 (車道・路肩部) 3.0m超,各種(2.20以上2.30t/m3未満),ﾌﾞﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3,30.0mm,再生合材(混入率 50%),細粒度ｱｽﾌ	668.000	m ²			歩A・単A S単 50号

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
合 計					
・ 標識工					
・ ・ 小型標識工	1.000	式			
・ ・ ・ 路側式標識柱	1.000	式			1 式当たり
道路標識設置(路側式・単柱式) 地下亜鉛メッキ+静電粉体塗装 φ76.3	2.000	基			歩A・単A S単 54号
合 計					
・ ・ ・ 標識板 警戒・指示標識	1.000	式			1 式当たり
標識板設置(警戒・指示標識等) 警戒標識	2.000	基			歩A・単A S単 55号
警戒標識板 カクテルサイン 倍率1.0 450×450mm,0%	2.000	枚			歩A・単A S単 30号
合 計					
・ 道路付属施設工					
・ ・ 区画線工	1.000	式			
・ ・ ・ 区画線	1.000	式			1 式当たり
区画線設置 [標準単価] ペイント式(車載式),15cm,実線,溶剤型	1,099.000	m			歩A・単A S単 56号
区画線設置 [標準単価] 溶融式(手動),30cm,破線,1.0mm	9.000	m			歩A・単A S単 57号
合 計					
・ ・ 道路付属物工					
・ ・ ・ 視線誘導標	1.000	式			1 式当たり
視線誘導標設置 土中建込み(標準型),支柱径φ34	14.000	本			歩A・単A S単 58号
視線誘導標設置 土中建込み(スノープレット併用型),地上高270cm	14.000	本			歩A・単A S単 59号
合 計					
・ 構造物撤去工					
・ ・ 作業土工	1.000	式			
・ ・ ・ 床掘作業土工	1.000	式			1 式当たり
SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-, -	5.000	m3			歩A・単A S単 8号
合 計					
・ ・ ・ 埋戻し作業土工					1 式当たり
現地埋戻し SP 埋戻し 上記以外(小規模),土砂,-	7.000	m3			歩A・単A S単 15号
合 計					
・ ・ 構造物取壊し工					
・ ・ ・ 舗装版取壊し	1.000	式			1 式当たり
SP 舗装版破碎 アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り	67.000	m²			歩A・単A S単 22号
SP 舗装版切断 アスファルト舗装版,15cm以下,-, -	18.000	m			歩A・単A S単 23号
合 計					
・ ・ ・ 発生材運搬	1.000	式			1 式当たり

S3120102

S3120102

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
	すき取り					
	すき取り					
	バックホウ		m ³			歩A・単A
	*** S単 - 2号 ***					
	除根					
	除根		m ³			歩A・単A
	*** S単 - 3号 ***					
	運搬(伐開、除根、除草)					
	運搬(伐開、除根、除草)					
	9.0km以下		空m ³			歩A・単A
	*** S単 - 4号 ***					
	SP 掘削 バックホウ					
	SP 掘削 バックホウ					
	土砂,オフンカット,無し,無し,5,000m ³ 未満,-,-,-		m ³			歩A・単A
	*** S単 - 5号 ***					
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10 t 積級					
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10 t 積級					
	標準,ハック約山積0.8m ³ (平積0.6m ³),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.5km以下		m ³			歩A・単A
	下					
	*** S単 - 6号 ***					
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10 t 積級					
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10 t 積級					
	標準,ハック約山積1.4m ³ (平積1.0m ³),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.0km以下		m ³			歩A・単A
	下					
	*** S単 - 7号 ***					
	SP 床掘り					
	SP 床掘り					
	土砂,平均施工幅1m以上2m未満,無し,無し		m ³			歩A・単A
	*** S単 - 8号 ***					
	SP 床掘り					
	SP 床掘り					
	土砂,上記以外(小規模),-,-		m ³			歩A・単A
	*** S単 - 9号 ***					
	SP 基面整正					
	SP 基面整正		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 10号 ***					
	まき出し 人力					
	まき出し 人力					
	砂質土		m ³			歩A・単A
	*** S単 - 11号 ***					
	SP 法面整形 切土部(機械)					
	SP 法面整形 切土部(機械)					
	切土部,-,無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 12号 ***					
	SP 法面整形 盛土部(機械)					
	SP 法面整形 盛土部(機械)					
	盛土部,有り,無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 13号 ***					
	すき取り土法覆					
	すき取り土法覆					
			m ²			歩A・単A
	*** S単 - 14号 ***					
	SP 埋戻し					
	SP 埋戻し					
	最大埋戻し幅1m以上4m未満,-,-		m ³			歩A・単A
	*** S単 - 15号 ***					
	SP 埋戻し					
	SP 埋戻し					
	上記以外(小規模),土砂,-		m ³			歩A・単A
	*** S単 - 16号 ***					
	締固め 狭隘な箇所					
	締固め 狭隘な箇所					
	路床,W<1.0m		m ³			歩A・単A
	*** S単 - 17号 ***					
	SP 基礎碎石					
	SP 基礎碎石					
	12.5cm超え17.5cm以下,-,施工費のみ		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 18号 ***					
	SP 基礎碎石					
	SP 基礎碎石					
	27.5cm超え30.0cm以下,-,施工費のみ		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 19号 ***					
	SP 基礎碎石					
	SP 基礎碎石					
	7.5cm以下,-,施工費のみ		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 20号 ***					
	SP 基礎碎石					
	SP 基礎碎石					
	17.5cm超え20.0cm以下,-,施工費のみ		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 21号 ***					
	SP 現場発生品及び支給品運搬					

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	SP 現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付4～4.5t級2.9t吊,無し,8.5km以下 *** S単 - 22号 ***		ton			歩A・単A
	SP 舗装版破碎					
	SP 舗装版破碎 アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,-,-,有り *** S単 - 23号 ***		m ²			歩A・単A
	SP 舗装版切断					
	SP 舗装版切断 アスファルト舗装版,15cm以下,-,-,- *** S単 - 24号 ***		m			歩A・単A
	SP 殻運搬					
	SP 殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,3.3km以下 *** S単 - 25号 ***		m ³			歩A・単A
	SP 殻運搬					
	SP 殻運搬 舗装版破碎,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,3.5km以下 *** S単 - 26号 ***		m ³			歩A・単A
	コンクリート再生骨材					
	コンクリート再生骨材 80mm級,0% *** S単 - 27号 ***		m ³			歩A・単A
	雨水樹					
	雨水樹 型A下部 840×840×1000mm,0% *** S単 - 28号 ***		個			歩A・単A
	雨水樹蓋					
	雨水樹蓋 型A下部用 グレーチング T-25 710×710×71mm,0% *** S単 - 29号 ***		枚			歩A・単A
	雨水樹蓋					
	雨水樹蓋 型A用 コンクリート製 2枚/組,0% *** S単 - 30号 ***		組			歩A・単A
	警戒標識板					
	警戒標識板 カミルンズ 倍率1.0 450×450mm,0% *** S単 - 31号 ***		枚			歩A・単A
	アスファルト受入費					
	アスファルト受入費 中間処理 *** S単 - 32号 ***		ton			歩A・単A
	コンクリート廃材受入費					
	コンクリート廃材受入費 鉄筋 中間処理費 *** S単 - 33号 ***		ton			歩A・単A
	鉄筋コンクリート管(1種) 設置					
	鉄筋コンクリート管(1種) 設置 450mm *** S単 - 34号 ***		m			歩A・単A
	鉄筋コンクリート管(2種) 設置					
	鉄筋コンクリート管(2種) 設置 450mm *** S単 - 35号 ***		m			歩A・単A
	SP ヒューム管 (B 形管)					
	SP ヒューム管 (B 形管) 撤去,300mm,-,-,- *** S単 - 36号 ***		m			歩A・単A
	積芝(生芝)					
	積芝(生芝) *** S単 - 37号 ***		m ²			歩A・単A
	SP 不陸整正					
	SP 不陸整正 無し,- *** S単 - 38号 ***		m ²			歩A・単A
	SP 下層路盤 (車道・路肩部) 凍上抑制層					
	SP 下層路盤 (車道・路肩部) 凍上抑制層 770mm,4層施工,- *** S単 - 39号 ***		m ²			歩A・単A
	SP 下層路盤 (車道・路肩部) 凍上抑制層					
	SP 下層路盤 (車道・路肩部) 凍上抑制層 730mm,4層施工,- *** S単 - 40号 ***		m ²			歩A・単A
	SP 下層路盤 (車道・路肩部) 下層路盤					
	SP 下層路盤 (車道・路肩部) 下層路盤 150mm,1層施工,- *** S単 - 41号 ***		m ²			歩A・単A
	SP 下層路盤 (車道・路肩部) 凍上抑制層					
	SP 下層路盤 (車道・路肩部) 凍上抑制層 270mm,2層施工,- *** S単 - 42号 ***		m ²			歩A・単A
	SP 下層路盤 (車道・路肩部) 下層路盤					
	SP 下層路盤 (車道・路肩部) 下層路盤 200mm,1層施工,切込砂利40mm級		m ²			歩A・単A

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 43号 *** SP 下層路盤(歩道部) 下層路盤					
	SP 下層路盤(歩道部) 下層路盤 90mm,1層施工,-		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 44号 *** SP 下層路盤(歩道部) 下層路盤					
	SP 下層路盤(歩道部) 下層路盤 50mm,1層施工,-		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 45号 *** SP 上層路盤(車道・路肩部)					
	SP 上層路盤(車道・路肩部) 再生アスファルト安定処理(混入率50%),50mm,1.4m以上3.0m以下,ﾌﾞﾗｲﾄﾞｺｰﾄ (PK-3)		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 46号 *** SP 上層路盤(車道・路肩部)					
	SP 上層路盤(車道・路肩部) 再生アスファルト安定処理(混入率50%),50mm,3.0m超,ﾌﾞﾗｲﾄﾞｺｰﾄ (PK-3)		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 47号 *** SP 基層(車道・路肩部)					
	SP 基層(車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4,40.0mm,再生合		m ²			歩A・単A
	材(混入率 50%),粗粒度ｱｽﾌﾙﾄ					
	*** S単 - 48号 *** SP 表層(車道・路肩部)					
	SP 表層(車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4,30.0mm,再生合		m ²			歩A・単A
	材(混入率 50%),密粒度ｱｽﾌﾙﾄ					
	*** S単 - 49号 *** SP 表層(車道・路肩部)					
	SP 表層(車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾞﾗｲﾄﾞｺｰﾄ PK-3,30.0mm,再生		m ²			歩A・単A
	合材(混入率 50%),密粒度ｱｽﾌﾙﾄ					
	*** S単 - 50号 *** SP 表層(車道・路肩部)					
	SP 表層(車道・路肩部) 3.0m超,各種(2.20以上2.30t/m3未満),ﾌﾞﾗｲﾄﾞｺｰﾄ PK-3,30.0mm,再生合材(混入		m ²			歩A・単A
	率 50%),細粒度ｱｽﾌﾙﾄ					
	*** S単 - 51号 *** 交通誘導警備員B					
	交通誘導警備員B		人			歩A・単A
	*** S単 - 52号 *** 腐植酸種子散布					
	腐植酸種子散布 100m ² 以上250m ² 未満		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 53号 *** 張芝					
	張芝 500m ² 以上		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 54号 *** 道路標識設置(路側式・単柱式)					
	道路標識設置(路側式・単柱式) 地下垂鉛ｷｬﾍﾞﾙ静電粉体塗装 φ76.3		基			歩A・単A
	*** S単 - 55号 *** 標識板設置(警戒・指示標識等)					
	標識板設置(警戒・指示標識等) 警戒標識		基			歩A・単A
	*** S単 - 56号 *** 区画線設置 [標準単価]					
	区画線設置 [標準単価] ペイント式(車載式),15cm,実線,溶剤型		m			歩A・単A
	*** S単 - 57号 *** 区画線設置 [標準単価]					
	区画線設置 [標準単価] 溶融式(手動),30cm,破線,1.0mm		m			歩A・単A
	*** S単 - 58号 *** 視線誘導標設置					
	視線誘導標設置 土中建込み(標準型),支柱径φ34		本			歩A・単A
	*** S単 - 59号 *** 視線誘導標設置					
	視線誘導標設置 土中建込み(ｽﾉｰﾎﾞｰﾙ併用型),地上高270cm		本			歩A・単A
	*** T単 - 1号 *** RC管1種φ450 砂利基礎					
			m			歩A・単A
	*** T単 - 2号 *** RC管2種φ450 砂利基礎					
			m			歩A・単A

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
	すき取り		m ²		1,000.000 m ²	歩 A 当たり算出
	すき取り__ バックホウ			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)作業機種	バックホウ		週休:補正なし		
	土木一般世話役	0.500	人			
	バックホウ(加-ラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排対型(1)	3.140	時間			
	軽油 一般	47.000	L			
	運転手(特殊)	0.530	人			
	合 計					算出数量 1,000.000 m ²
	単 価		m ²			
	*** S単 - 2号 ***					
	除根		m ²		1,000.000 m ²	歩 A 当たり算出
	除根__			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分	除根		週休:補正なし		
	土木一般世話役	0.450	人			
	バックホウ用アタッチメント 掴み装置 開口幅1700～2000mm 爪幅400～750mm	3.400	時間			
	バックホウ(加-ラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排対型(2)	3.400	時間			
	軽油 一般	29.000	L			
	運転手(特殊)	0.540	人			
	合 計					算出数量 1,000.000 m ²
	単 価		m ²			
	*** S単 - 3号 ***					
	運搬(伐開、除根、除草)__		空m3		100.000 空m3	歩 A 当たり算出
	運搬(伐開、除根、除草)__ 9.0km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)運搬距離区分(km) 2)路面条件	9.0km以下 良好		週休:補正なし		
	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 10 t 積級	2.210	供用日			
	タイヤ消耗費及び補修費 ダンプトラック 10 t 積級	2.210	供用日			
	軽油 一般	100.000	L			
	運転手(一般)	1.700	人			
	合 計					算出数量 100.000 空m3
	単 価		空m3			
	*** S単 - 4号 ***					
	SP 掘削 __バックホウ		m3		1.000 m3	歩 A 当たり算出
	SP 掘削 __バックホウ 土砂,オープンカット,無し,無し,5,000m3未満,-,-,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)土質 2)施工方法 3)押土の有無 4)障害の有無 5)施工数量 6)火薬使用 7)破砕片除去の有無 8)集積押土の有無	土砂 オープンカット 無し 無し 5,000m3未満 - - -				
	単 価		m3			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 5号 ***					
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10 t 積級		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 _ダンプトラック10 t 積級			冬期補正:なし	基本給時間:8.0	
	標準,ﾊﾞｯｸﾏﾝ積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.5km以下			超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)土砂等発生現場	標準				
	2)積込機種・規格	ﾊﾞｯｸﾏﾝ積0.8m3(平積0.6m3)				
	3)土質	土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
	4)D1D区間の有無	無し				
	5)運搬距離	7.5km以下				
	単 価		m3			
	*** S単 - 6号 ***					
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10 t 積級		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 _ダンプトラック10 t 積級			冬期補正:なし	基本給時間:8.0	
	標準,ﾊﾞｯｸﾏﾝ積1.4m3(平積1.0m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.0km以下			超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)土砂等発生現場	標準				
	2)積込機種・規格	ﾊﾞｯｸﾏﾝ積1.4m3(平積1.0m3)				
	3)土質	土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
	4)D1D区間の有無	無し				
	5)運搬距離	7.0km以下				
	単 価		m3			
	*** S単 - 7号 ***					
	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り			冬期補正:なし	基本給時間:8.0	
	土砂,平均施工幅1m以上2m未満,無し,無し			超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	平均施工幅1m以上2m未満				
	3)土留方式の種類	無し				
	4)障害の有無	無し				
	単 価		m3			
	*** S単 - 8号 ***					
	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り			冬期補正:なし	基本給時間:8.0	
	土砂,上記以外(小規模),-, -			超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	上記以外(小規模)				
	3)土留方式の種類	-				
	4)障害の有無	-				
	軽油		L			材変
	一般					
	単 価		m3			
	*** S単 - 9号 ***					
	SP 基面整正		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基面整正			冬期補正:なし	基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)整形区分	基面整正				
	単 価		m ²			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 10号 ***					
	まき出し_人力		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	まき出し_人力 砂質土			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土質区分	砂質土		週休:補正なし		
	普通作業員	0.680	人			
	合 計					算出数量 10.000 m3
	単 価		m3			
	*** S 単 - 11号 ***					
	SP 法面整形 切土部(機械)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 切土部(機械) 切土部,-,無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無	切土部 -				
	3)現場制約の有無 4)土質	無し け質土、砂及び砂質土、粘性土				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 12号 ***					
	SP 法面整形 盛土部(機械)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 盛土部(機械) 盛土部,有り,無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無	盛土部 有り				
	3)現場制約の有無 4)土質	無し け質土、砂及び砂質土、粘性土				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 13号 ***					
	すき取り土法覆		m ²		100.000 m ²	歩A 当たり算出
	すき取り土法覆			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分	施工費のみ		週休:補正なし		
	土木一般世話役	0.100	人			
	普通作業員	0.400	人			
	バックホウ(加-ヲ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排対型(1)	2.400	時間			
	軽油 一般	36.000	L			
	運転手(特殊)	0.410	人			
	合 計					算出数量 100.000 m ²
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 14号 ***					
	SP 埋戻し		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満,-,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)施工方法 2)土質	最大埋戻幅1m以上4m未満 -				
	3)締固めの有無	-				
	単 価		m3			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 15号 ***					
	SP 埋戻し		m3		1.000 m3	歩 A 当たり算出
	SP 埋戻し 上記以外(小規模),土砂,-				基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
					冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
	1)施工方法	上記以外(小規模)				
	2)土質	土砂				
	3)締固めの有無	-				
	軽油		L			材変
	一般					
	ガソリン		L			材変
	軽油					
	単 価		m3			
	*** S 単 - 16号 ***					
	締固め 狭隘な箇所		m3		100.000 m3	歩 A 当たり算出
	締固め 狭隘な箇所 路床,W<1.0m				基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)締固め度期待値	路床			週休:補正なし	
	2)施工幅員(W)	W<1.0m				
	振動ローラ資料					
	1)トガ付式 0.8~1.1t	3.350	供用日			
	軽油					
	一般	13.000	L			
	特殊作業員	2.330	人			
	合 計					算出数量 100.000 m3
	単 価		m3			
	*** S 単 - 17号 ***					
	SP 基礎碎石		m ²		1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 基礎碎石 12.5cm超え17.5cm以下,-,施工費のみ				基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
					週休:補正なし	
	1)碎石の厚さ	12.5cm超え17.5cm以下				
	2)碎石の種類	-				
	3)施工区分	施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 18号 ***					
	SP 基礎碎石		m ²		1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 基礎碎石 27.5cm超え30.0cm以下,-,施工費のみ				基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
					週休:補正なし	
	1)碎石の厚さ	27.5cm超え30.0cm以下				
	2)碎石の種類	-				
	3)施工区分	施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 19号 ***					
	SP 基礎碎石		m ²		1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 基礎碎石 7.5cm以下,-,施工費のみ				基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
					週休:補正なし	
	1)碎石の厚さ	7.5cm以下				
	2)碎石の種類	-				
	3)施工区分	施工費のみ				

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 20号 ***					
	SP 基礎砕石		m ²		1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 基礎砕石 17.5cm超え20.0cm以下,-,施工費のみ			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)砕石の厚さ 2)砕石の種類 3)施工区分	17.5cm超え20.0cm以下 - 施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 21号 ***					
	SP 現場発生品及び支給品運搬		ton		1.000 ton	歩 A 当たり算出
	SP 現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付4～4.5t級2.9t吊,無し,8.5km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)トラック機種 2)DID区間の有無 3)片道運搬距離(km)	クレーン装置付4～4.5t級2.9t吊 無し 8.5km以下				
	単 価		回			
	*** S 単 - 22号 ***					
	SP 舗装版破砕		m ²		1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 舗装版破砕 アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)舗装版種別 2)障害等の有無 3)騒音振動対策 4)舗装版厚 5)Co+As(加-)舗装によるアスファルト舗装 6)積込作業の有無	アスファルト舗装版 無し 不要 15cm以下 - 有り				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 23号 ***					
	SP 舗装版切断		m		1.000 m	歩 A 当たり算出
	SP 舗装版切断 アスファルト舗装版,15cm以下,-,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)舗装版種別 2)アスファルト舗装版厚 3)コンクリート舗装版厚 4)コンクリート+アスファルト(加-)舗装版の全体	アスファルト舗装版 15cm以下 - -				
	単 価		m			
	*** S 単 - 24号 ***					
	SP 殻運搬		m ³		1.000 m ³	歩 A 当たり算出
	SP 殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,3.3km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)DID区間の有無 4)運搬距離(km)	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 無し 3.3km以下				
	単 価		m ³			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 25号 ***					
	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 舗装版破碎,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,3.5km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)DID区間の有無 4)運搬距離(km)	舗装版破碎 機械積込(舗装版厚15cm以下) 無し 3.5km以下				
	単 価		m3			
	*** S 単 - 26号 ***					
	コンクリート再生骨材		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	コンクリート再生骨材 80mm級,0%			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地区資材単価のコード_ 2)ロス率(%) 3)規格	0% 80mm級				
	コンクリート再生骨材 80mm級	1.000	m3			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S 単 - 27号 ***					
	雨水樹		個		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	雨水樹 型A下部 840×840×1000mm,0%			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地域資材単価のコード_ 2)ロス率(%) 3)規格	0% 型A下部 840×840×1000mm				
	雨水樹 型A下部 840×840×1000mm	1.000	個			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S 単 - 28号 ***					
	雨水樹蓋		枚		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	雨水樹蓋 型A下部用 グレーチング T-25 710×710×71mm,0%			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地域資材単価のコード_ 2)ロス率(%) 3)規格	0% 型A下部用 グレーチング T-25 71・				
	雨水樹蓋 型A下部用 グレーチング T-25 710×710×71mm	1.000	枚			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S 単 - 29号 ***					
	雨水樹蓋		組		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	雨水樹蓋 型A用 コンクリート製 2枚/組,0%			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地域資材単価のコード_ 2)ロス率(%) 3)規格	0% 型A用 コンクリート製 2枚/組				
	雨水樹蓋 型A用 コンクリート製 2枚/組	1.000	組			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 30号 ***					
	警戒標識板		枚		1.000 各単位	歩 A 当たり算出
	警戒標識板 加`セル`ズ` 倍率1.0 450×450mm,0%			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地域資材単価のコード_ 2)ロス率(%) 3)規格	0%				
	警戒標識板 加`セル`ズ` 倍率1.0 450×450mm	1.000	枚			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S 単 - 31号 ***					
	アスファルト受入費		ton		1.000 各単位	歩 A 当たり算出
	アスファルト受入費 中間処理			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地区資材単価のコード_ 2)資材規格の入力 3)単価の入力_	中間処理				
	アスファルト受入費 中間処理	1.000	ton			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S 単 - 32号 ***					
	コンクリート廃材受入費		ton		1.000 各単位	歩 A 当たり算出
	コンクリート廃材受入費 鉄筋 中間処理費			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地区資材単価のコード_ 2)資材規格の入力 3)単価の入力_	鉄筋 中間処理費				
	コンクリート廃材受入費 鉄筋 中間処理費	1.000	ton			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S 単 - 33号 ***					
	鉄筋コンクリート管(1種) 設置		m		10.000 m	歩 A 当たり算出
	鉄筋コンクリート管(1種) 設置 450mm			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)管径区分(mm)	材料費(管 + ゴムリング) + 設置費 450mm				
	鉄筋コンクリート管 1種 径450mm 長1000mm JIS-A5372	10.000	本			
	鉄筋コンクリート管用ゴムリング 1種 径450mm用	10.000	個			
	土木一般世話役	0.120	人			
	特殊作業員	0.370	人			
	普通作業員	0.140	人			
	バックホウ(加-ラ型)(クレーン機能付) 山積0.45m3(平積0.35m3) 2.9 t 吊 排対型(1)	1.930	時間			
	軽油 一般	17.000	L			
	運転手(特殊)	0.330	人			
	諸雑費	0.190				
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	鉄筋コンクリート管(1種) 設置					
	*** S 単 - 34号 ***					
	鉄筋コンクリート管(2種) 設置		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	鉄筋コンクリート管(2種) 設置 450mm			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)管径区分(mm)	材料費(管 + ゴムリング) + 設置費 450mm				
	鉄筋コンクリート管 2種 径450mm 長2000mm JIS-A5372	5.000	本			
	鉄筋コンクリート管用ゴムリング 2種 径450mm用	5.000	個			
	土木一般世話役	0.100	人			
	特殊作業員	0.220	人			
	普通作業員	0.120	人			
	バックホウ(加-ラ型)(クレーン機能付) 山積0.45m3(平積0.35m3) 2.9 t 吊 排対型(1)	1.000	時間			
	軽油 一般	8.600	L			
	運転手(特殊)	0.170	人			
	諸雑費	0.180				
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	鉄筋コンクリート管(2種) 設置					
	*** S 単 - 35号 ***					
	SP ヒューム管 (B 形管)		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP ヒューム管 (B 形管) 撤去,300mm,-,-,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)作業区分 2)管径 3)規格 4)固定基礎 5)基礎砕石の有無	撤去 300mm - - -				
	単 価		m			
	*** S 単 - 36号 ***					
	積芝(生芝)		m ²		100.000 m ²	歩A 当たり算出
	積芝(生芝)			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)材料区分	材料費 + 施工費 生芝(野芝)				
	生芝 野芝	1,170.000	m ²			
	普通作業員	30.800	人			
	合 計					算出数量 100.000 m ²
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 37号 ***					
	SP 不陸整正		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 不陸整正 無し,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)補足材料の有無 2)補足材料平均厚さ	無し -				
	単 価		m ²			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 38号 ***					
	SP 下層路盤（車道・路肩部）凍上抑制層		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（車道・路肩部）凍上抑制層 770mm,4層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t)	770mm				
	2)施工区分	4層施工				
	3)工種区分	凍上抑制層				
	4)材料種別	-				
	5)計上区分	施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 39号 ***					
	SP 下層路盤（車道・路肩部）凍上抑制層		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（車道・路肩部）凍上抑制層 730mm,4層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t)	730mm				
	2)施工区分	4層施工				
	3)工種区分	凍上抑制層				
	4)材料種別	-				
	5)計上区分	施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 40号 ***					
	SP 下層路盤（車道・路肩部）下層路盤		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（車道・路肩部）下層路盤 150mm,1層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t)	150mm				
	2)施工区分	1層施工				
	3)工種区分	下層路盤				
	4)材料種別	-				
	5)計上区分	施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 41号 ***					
	SP 下層路盤（車道・路肩部）凍上抑制層		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（車道・路肩部）凍上抑制層 270mm,2層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t)	270mm				
	2)施工区分	2層施工				
	3)工種区分	凍上抑制層				
	4)材料種別	-				
	5)計上区分	施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 42号 ***					
	SP 下層路盤（車道・路肩部）下層路盤		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（車道・路肩部）下層路盤 200mm,1層施工,切込砂利40mm級			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t)	200mm				
	2)施工区分	1層施工				
	3)工種区分	下層路盤				
	4)材料種別	切込砂利40mm級				

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	5)計上区分	材料費+施工費				
	切込砂利 φ40mm級		m3			材変
	単 価		m ²			
	*** S単 - 43号 ***					
	SP 下層路盤(歩道部) 下層路盤		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤(歩道部) 下層路盤 90mm,1層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t) 2)施工区分 3)工種区分 4)材料種別 5)計上区分	90mm 1層施工 下層路盤 - 施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 44号 ***					
	SP 下層路盤(歩道部) 下層路盤		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤(歩道部) 下層路盤 50mm,1層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t) 2)施工区分 3)工種区分 4)材料種別 5)計上区分	50mm 1層施工 下層路盤 - 施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 45号 ***					
	SP 上層路盤(車道・路肩部)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 上層路盤(車道・路肩部) 再生アスファルト安定処理(混入率50%),50mm,1.4m以上3.0m以下,ブライムコート (PK-3)			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)材料種別 2)平均幅員 3)平均仕上り厚さ(t) 4)瀝青材料種別 アスファルト安定処理 再生(混入率50%)	再生アスファルト安定処理(混入率50%) 1.4m以上3.0m以下 50mm ブライムコート (PK-3)				
	単 価		ton			材変
	*** S単 - 46号 ***					
	SP 上層路盤(車道・路肩部)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 上層路盤(車道・路肩部) 再生アスファルト安定処理(混入率50%),50mm,3.0m超,ブライムコート (PK-3)			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)材料種別 2)平均幅員 3)平均仕上り厚さ(t) 4)瀝青材料種別 アスファルト安定処理 再生(混入率50%)	再生アスファルト安定処理(混入率50%) 3.0m超 50mm ブライムコート (PK-3)				
	単 価		ton			材変
	*** S単 - 47号 ***					
	SP 基層(車道・路肩部)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基層(車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),タックコート PK-4,40.			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	0mm,再生合材(混入率 50%),粗粒度アスコン			週休:補正なし		
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚	1.4m以上3.0m以下 40.0mm				
	3)材料 4)瀝青材料種類	各種(2.30以上2.40t/m3未満) タックコート PK-4				
	5)材料区分 6)材料種別	再生合材(混入率 50%) 粗粒度アスコン				
	粗粒度アスコン 再生(混入率50%)		ton			材変
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 48号 ***					
	SP 表層(車道・路肩部)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 表層(車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),タックコート PK-4,30.0mm,再生合材(混入率 50%),密粒度アスコン			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚	1.4m以上3.0m以下 30.0mm				
	3)材料 4)瀝青材料種類	各種(2.30以上2.40t/m3未満) タックコート PK-4				
	5)材料区分 6)材料種別	再生合材(混入率 50%) 密粒度アスコン				
	密粒度アスコン 再生(混入率50%)		ton			材変
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 49号 ***					
	SP 表層(車道・路肩部)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 表層(車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾞﾗｲﾄﾞｺｰﾄ PK-3,30.0mm,再生合材(混入率 50%),密粒度アスコン			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚	1.4m以上3.0m以下 30.0mm				
	3)材料 4)瀝青材料種類	各種(2.30以上2.40t/m3未満) ﾌﾞﾗｲﾄﾞｺｰﾄ PK-3				
	5)材料区分 6)材料種別	再生合材(混入率 50%) 密粒度アスコン				
	密粒度アスコン 再生(混入率50%)		ton			材変
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 50号 ***					
	SP 表層(車道・路肩部)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 表層(車道・路肩部) 3.0m超 各種(2.20以上2.30t/m3未満),ﾌﾞﾗｲﾄﾞｺｰﾄ PK-3,30.0mm,再生合材(混入率 50%),細粒度アスコン			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚	3.0m超 30.0mm				
	3)材料 4)瀝青材料種類	各種(2.20以上2.30t/m3未満) ﾌﾞﾗｲﾄﾞｺｰﾄ PK-3				
	5)材料区分 6)材料種別	再生合材(混入率 50%) 細粒度アスコン				
	細粒度アスコン 再生(混入率50%) 車道用		ton			材変
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 51号 ***					
	交通誘導警備員B		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	交通誘導警備員B			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)交通誘導警備員区分	交通誘導警備員B				
	交通誘導警備員B		1.000 人			
	上記単価は、冬期補正の対象外					

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価		人			
	*** S 単 - 52号 ***					
	腐植酸種子散布		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	腐植酸種子散布 100m ² 以上250m ² 未満			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)作業区分 3)施工規模 4)時間的制約区分 腐食酸種子散布工	材料費 + 施工費 腐植酸種子散布工 100m ² 以上250m ² 未満 -		週休:補正なし		
		1.450	m ²			
	合 計					算出数量 1.000 m ²
	単 価		m ²			
	腐植酸種子散布					
	*** S 単 - 53号 ***					
	張芝		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	張芝 500m ² 以上			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)工種 3)施工規模 4)時間的制約区分 張芝工 野芝・高麗芝(全面張り)	材料費 + 施工費 張芝工 500m ² 以上 受けない 1.000	m ²	週休:補正なし		
	合 計					算出数量 1.000 m ²
	単 価		m ²			
	張芝					
	*** S 単 - 54号 ***					
	道路標識設置(路側式・単柱式)		基		1.000 基	歩A 当たり算出
	道路標識設置(路側式・単柱式) 地下亜鉛メッキ+静電粉体塗装 φ76.3			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)形式区分 3)規格区分 4)支柱区分 5)施工規模 6)時間的制約区分 7)夜間作業区分 8)景観色塗装柱区分 道路標識(路側式)建柱・基礎設置工 単柱式 φ76.3mm 地下亜鉛メッキ+静電粉体塗装	材料費 + 設置費 単柱式 地下亜鉛メッキ+静電粉体塗装 φ76.3 直支柱 2基以下 - 無し 無し 1.350		週休:補正なし		
	合 計					算出数量 1.000 基
	単 価		基			
	道路標識設置(路側式・単柱式)					
	*** S 単 - 55号 ***					
	標識板設置(警戒・指示標識等)		基		1.000 基	歩A 当たり算出
	標識板設置(警戒・指示標識等) 警戒標識			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)規格区分 3)施工規模 4)時間的制約区分 5)夜間作業区分	設置費のみ 警戒標識 2基以下 - 無し		週休:補正なし		
	道路標識標識板設置工 警戒・規制・指示・路線番号標識	1.250	基			
	合 計					算出数量 1.000 基

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		基			
	標識板設置(警戒・指示標識等)					
	*** S 単 - 56号 ***					
	区画線設置 [標準単価]		m		1,000.000 m	歩 A 当たり算出
	区画線設置 [標準単価] ペイント式(車載式),15cm,実線,溶剤型			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)作業区分	ペイント式(車載式)				
	2)線区分	実線				
	3)幅区分	15cm				
	5)排水性舗装区分	-				
	6)供用区分	供用区間				
	7)ペイント種別	溶剤型				
	8)常温・加熱区分	常温式				
	9)施工区分	材料費 + 施工費				
	区画線設置工(制約無・昼間) ペイント式(車載式) 実線 15cm	1,000.000	m			
	区画線用塗料 常温型 ペイント式溶剤型 白 JIS-K5665-1種B	50.000	L			
	区画線用塗料 ガラスビーズ JIS-R3301	39.000	kg			
	軽油 一般	33.000	L			
	雑材料 ガソリン等	0.030				
	合 計					算出数量 1,000.000 m
	単 価		m			
	*** S 単 - 57号 ***					
	区画線設置 [標準単価]		m		1,000.000 m	歩 A 当たり算出
	区画線設置 [標準単価] 溶融式(手動),30cm,破線,1.0mm			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)作業区分	溶融式(手動)				
	2)線区分	破線				
	3)幅区分	30cm				
	4)塗布厚区分	1.0mm				
	5)排水性舗装区分	施工しない				
	6)供用区分	供用区間				
	9)施工区分	材料費 + 施工費				
	区画線設置工(制約無・昼間) 溶融式(手動) 破線 30cm	1,000.000	m			
	区画線用塗料 溶融型 ビーズ 15~18% 白 JIS-K5665-3種1号	780.000	kg			
	区画線用塗料 ガラスビーズ JIS-R3301	50.000	kg			
	区画線用塗料 接着用プライマー	50.000	kg			
	軽油 一般	73.000	L			
	雑材料 ガソリン等	0.050				
	合 計					算出数量 1,000.000 m
	単 価		m			
	*** S 単 - 58号 ***					
	視線誘導標設置		本		1.000 本	歩 A 当たり算出
	視線誘導標設置 土中建込み(標準型),支柱径φ34			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分	材料費 + 設置費				
	2)作業区分	土中建込み(標準型)				
	3)規格区分	支柱径φ34				
	4)施工規模	10本以上 30本未満				
	5)時間的制約区分	-				
	6)夜間作業区分	なし				
	視線誘導標設置工 土中建込用 反射体(両面)径100以下 支柱径34	1.100	本			
	合 計					算出数量 1.000 本
	単 価		本			

S3120102

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** T単 - 1号 ***					
	RC管1種φ450 砂利基礎		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	鉄筋コンクリート管(1種) 設置 450mm	10.000	m			S単 33号
	基礎材 再生骨材40mm t=15cm	6.500	m ²			C単 2号 算出数量 10.000 m
	合 計					
	単 価		m			
	*** T単 - 2号 ***					
	RC管2種φ450 砂利基礎		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	鉄筋コンクリート管(2種) 設置 450mm	10.000	m			S単 34号
	基礎材 再生骨材40mm t=33cm	8.000	m ²			C単 1号 算出数量 10.000 m
	合 計					
	単 価		m			
	*** T単 - 3号 ***					
	塩化ビニル管(φ200)		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	排水用薄肉直管(有孔・無孔) 径200mm 厚4.5mm 長4000mm 井戸形管製 受口付	10.000	m			算出数量 10.000 m
	合 計					
	単 価		m			
	*** T単 - 4号 ***					
	-A下部樹 グレーチング 樹		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	雨水樹 型A下部 840×840×1000mm,0%	1.000	個			S単 27号
	雨水樹蓋 型A下部用 グレーチング T-25 710×710×71mm,0%	1.000	枚			S単 28号
	基礎材 再生骨材80mm t=20cm	0.980	m ²			C単 3号 算出数量 1.000 箇所
	合 計					
	単 価		箇所			
	*** T単 - 5号 ***					
	-A下部樹 コンクリート蓋		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	雨水樹 型A下部 840×840×1000mm,0%	1.000	個			S単 27号
	雨水樹蓋 型A用 コンクリート製 2枚/組,0%	1.000	組			S単 29号
	基礎材 再生骨材80mm t=20cm	1.080	m ²			C単 3号 算出数量 1.000 箇所
	合 計					
	単 価		箇所			
	*** T単 - 6号 ***					
	汚泥処分		m ³		1.000 m ³	歩A 当たり算出

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	D=30.5km					
	産業廃棄物中間処理料金 汚泥 含水率85%以上 無機性汚泥【共通仮設費率対象外】	1.100	ton			
	産業廃棄物中間処理料金 循環税相当額 汚泥 含水率85%以上 無機性汚泥【共通仮設費率対象外】	1.100	ton			
	合 計					算出数量 1.000 m3
	単 価		m3			
	*** T単 - 7号 ***					
	凍上抑制層（車道部）		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	再生骨材80mm t=77cm					
	SP 下層路盤（車道・路肩部） 凍上抑制層 770mm,4層施工,-	1.000	m ²			S単 38号
	コンクリート再生骨材 80mm級	0.978	m3			
	SP 土砂等運搬 _ダンプトラック10 t 積級 標準,バ'ッ'約山積1.4m3(平積1.0m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.0km以 下	0.978	m3			S単 6号
	合 計					算出数量 1.000 m ²
	単 価		m ²			
	*** T単 - 8号 ***					
	凍上抑制層（車道部）		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	再生骨材80mm t=73cm					
	SP 下層路盤（車道・路肩部） 凍上抑制層 730mm,4層施工,-	1.000	m ²			S単 39号
	コンクリート再生骨材 80mm級	0.927	m3			
	SP 土砂等運搬 _ダンプトラック10 t 積級 標準,バ'ッ'約山積1.4m3(平積1.0m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.0km以 下	0.927	m3			S単 6号
	合 計					算出数量 1.000 m ²
	単 価		m ²			
	*** T単 - 9号 ***					
	下層路盤（車道・路肩部）		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	再生骨材40mm t=15cm					
	SP 下層路盤（車道・路肩部） 下層路盤 150mm,1層施工,-	1.000	m ²			S単 40号
	コンクリート再生骨材 40mm級	0.191	m3			
	SP 土砂等運搬 _ダンプトラック10 t 積級 標準,バ'ッ'約山積1.4m3(平積1.0m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.0km以 下	0.191	m3			S単 6号
	合 計					算出数量 1.000 m ²
	単 価		m ²			
	*** T単 - 10号 ***					
	装甲路肩路盤		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	再生骨材40mm t=9cm					
	SP 下層路盤（歩道部） 下層路盤 90mm,1層施工,-	1.000	m ²			S単 43号
	コンクリート再生骨材 40mm級	0.114	m3			
	SP 土砂等運搬 _ダンプトラック10 t 積級 標準,バ'ッ'約山積1.4m3(平積1.0m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.0km以 下	0.114	m3			S単 6号

S3120102

S3120102

令和 7 年度
手入力事業
農道改良工事



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

統一施工単価表

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名称, 施工区分	単位	単 価
	すき取り バックホウ	m ²	
	除根 除根	m ²	
	運搬(伐開、除根、除草) 9.0km以下,良好	空m3	
	SP 掘削 バックホウ 土砂,オープンカット,無し,無し,5,000m3未満,-,-,-	m3	
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10t 積級 標準,Ⅱ ック山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.5km以下 標準,Ⅱ ック山積1.4m3(平積1.0m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.0km以下	m3	
	SP 床掘り 土砂,平均施工幅1m以上2m未満,無し,無し 土砂,上記以外(小規模),-,-	m3	
	SP 基面整正 基面整正	m ²	
	まき出し 人力 砂質土	m3	
	SP 法面整形 切土部(機械) 切土部,-,無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土 盛土部,有り,無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土	m ²	
	すき取り土法覆 施工費のみ	m ²	
	SP 埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満,-,- 上記以外(小規模),土砂,-	m3	
	締固め 狭隘な箇所 路床,W<1.0m	m3	
	SP 基礎碎石 12.5cm超え17.5cm以下,-,施工費のみ 27.5cm超え30.0cm以下,-,施工費のみ 7.5cm以下,-,施工費のみ 17.5cm超え20.0cm以下,-,施工費のみ	m ²	
	SP 現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付4～4.5t級2.9t吊,無し,8.5km以下	ton	
	SP 舗装版破碎 アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り	m ²	
	SP 舗装版切断 アスファルト舗装版,15cm以下,-,-	m	
	SP 殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,3.3km以下 舗装版破碎,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,3.5km以下	m3	
	コンクリート再生骨材 ,0%,80mm級	m3	
	雨水枳 ,0%, 型A下部 840×840×1000mm ,0%, 型A下部用 グレーチング T-25 710×710×71mm ,0%, 型A用 コンクリート製 2枚/組 ,0%,カブセルレス 倍率1.0 450×450mm	個	
	アスファルト受入費 ,中間処理,800円 ,鉄筋 中間処理費,1,500円	ton	
	鉄筋コンクリート管(1種) 設置	m	

S3120102

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 4号 ***					
	SP 掘削 バックホウ		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 掘削 バックホウ 土砂,オープンカット,無し,無し,5,000m3未満,-,-,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土質 2)施工方法 3)押土の有無 4)障害の有無 5)施工数量 6)火薬使用 7)破砕片除去の有無 8)集積押土の有無 バックホウ(加-ラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 超低・排対型(3)	土砂 オープンカット 無し 無し 5,000m3未満 - - -				
	運転手(特殊)		供用日			
	軽油 一般		人 L			
	単 価		m3			
	*** S単 - 5号 ***					
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10 t 積級		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10 t 積級 標準,バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.5km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土砂等発生現場 2)積込機種・規格 3)土質 4)D1D区間の有無 5)運搬距離	標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 7.5km以下				
	ダンプトラック ワロード・ディーゼル 10 t 積級 運転手(一般)		供用日 人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m3			
	*** S単 - 6号 ***					
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10 t 積級		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10 t 積級 標準,バックホウ山積1.4m3(平積1.0m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.0km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土砂等発生現場 2)積込機種・規格 3)土質 4)D1D区間の有無 5)運搬距離	標準 バックホウ山積1.4m3(平積1.0m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 7.0km以下				
	ダンプトラック ワロード・ディーゼル 10 t 積級 運転手(一般)		供用日 人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m3			
	*** S単 - 7号 ***					
	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,平均施工幅1m以上2m未満,無し,無し			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土質 2)施工方法 3)土留方式の種類 4)障害の有無	土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 無し				

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	バックホウ賃料(加-ラ型・後方超小旋回型) 山積0.45m3(平積0.35m3) ~ 超低・～3次 運転手(特殊)		供用日 人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m3			
	*** S 単 - 8号 ***					
	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り__ 土砂,上記以外(小規模),-, -			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土質 2)施工方法 3)土留方式の種類 4)障害の有無	土砂 上記以外(小規模) - -				
	バックホウ(加-ラ型)(後方超小旋回型) 山積0.28m3(平積0.2m3) 排対型(2) 運転手(特殊)		供用日 人			
	普通作業員		人			
	軽油 一般		L			材変
	単 価		m3			
	*** S 単 - 9号 ***					
	SP 基面整正		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基面整正__			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)整形区分__	基面整正				
	普通作業員		人			
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 11号 ***					
	SP 法面整形 切土部(機械)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 切土部(機械) 切土部, -, 無し, け質土、砂及び砂質土、粘性土			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無 3)現場制約の有無 4)土質	切土部 - 無し け質土、砂及び砂質土、粘性土				
	バックホウ賃料(加-ラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・～2014 普通作業員		供用日 人			
	運転手(特殊)		人			
	土木一般世話役		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 12号 ***					
	SP 法面整形 盛土部(機械)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 盛土部(機械) 盛土部, 有り, 無し, け質土、砂及び砂質土、粘性土			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無	盛土部 有り				

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	3)現場制約の有無	無し				
	4)土質	け質土、砂及び砂質土、粘性土				
	バックホウ賃料(ｸｰﾗ型)		供用日			
	山積0.8m3(平積0.6m3) ～ 超低・～2014					
	普通作業員		人			
	運転手(特殊)		人			
	土木一般世話役		人			
	軽油		L			
	一般					
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 14号 ***					
	SP 埋戻し		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 埋戻し			冬期補正:なし	基本給時間:8.0	
	最大埋戻幅1m以上4m未満,-,-			超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)施工方法	最大埋戻幅1m以上4m未満				
	2)土質	-				
	3)締固めの有無	-				
	バックホウ賃料(ｸｰﾗ型)		供用日			
	山積0.8m3(平積0.6m3) ～ 超低・～2014					
	振動ローラ賃料		供用日			
	ﾊﾞﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式 0.5～0.6t ～ 低音					
	タンバ(ランマ)賃料		供用日			
	60～80kg					
	普通作業員		人			
	特殊作業員		人			
	運転手(特殊)		人			
	軽油		L			
	一般					
	ガソリン		L			
	ﾚｰｼｭｰ 無鉛					
	単 価		m3			
	*** S 単 - 15号 ***					
	SP 埋戻し		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 埋戻し			冬期補正:なし	基本給時間:8.0	
	上記以外(小規模),土砂,-			超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)施工方法	上記以外(小規模)				
	2)土質	土砂				
	3)締固めの有無	-				
	バックホウ(ｸｰﾗ型)(後方超小旋回型)		供用日			
	山積0.28m3(平積0.2m3) 排対型(2)					
	ランマ		供用日			
	60～80kg					
	普通作業員		人			
	特殊作業員		人			
	運転手(特殊)		人			
	軽油		L			材変
	一般					
	ガソリン		L			材変
	ﾚｰｼｭｰ 無鉛					
	単 価		m3			
	*** S 単 - 17号 ***					
	SP 基礎碎石		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基礎碎石			冬期補正:なし	基本給時間:8.0	
	12.5cm超え17.5cm以下,-,施工費のみ			超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	1) 砕石の厚さ	12.5cm超え17.5cm以下				
	2) 砕石の種類	-				
	3) 施工区分	施工費のみ				
	バックホウ賃料(加-型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・~ 2014		供用日			
	普通作業員		人			
	特殊作業員		人			
	運転手(特殊)		人			
	土木一般世話役		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m			
	*** S 単 - 18号 ***					
	SP 基礎砕石		m ²		1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 基礎砕石 27.5cm超え30.0cm以下, -, 施工費のみ			冬期補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 補正なし	基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	
	1) 砕石の厚さ	27.5cm超え30.0cm以下				
	2) 砕石の種類	-				
	3) 施工区分	施工費のみ				
	バックホウ賃料(加-型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・~ 2014		供用日			
	普通作業員		人			
	特殊作業員		人			
	運転手(特殊)		人			
	土木一般世話役		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m			
	*** S 単 - 19号 ***					
	SP 基礎砕石		m ²		1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 基礎砕石 7.5cm以下, -, 施工費のみ			冬期補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 補正なし	基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	
	1) 砕石の厚さ	7.5cm以下				
	2) 砕石の種類	-				
	3) 施工区分	施工費のみ				
	バックホウ賃料(加-型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・~ 2014		供用日			
	普通作業員		人			
	特殊作業員		人			
	運転手(特殊)		人			
	土木一般世話役		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m			
	*** S 単 - 20号 ***					
	SP 基礎砕石		m ²		1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 基礎砕石 17.5cm超え20.0cm以下, -, 施工費のみ			冬期補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 補正なし	基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	
	1) 砕石の厚さ	17.5cm超え20.0cm以下				
	2) 砕石の種類	-				

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	3)施工区分	施工費のみ				
	バックホウ賃料(刈-型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・~2014		供用日			
	普通作業員		人			
	特殊作業員		人			
	運転手(特殊)		人			
	土木一般世話役		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 21号 ***					
	SP 現場発生品及び支給品運搬		ton		1.000 ton	歩A 当たり算出
	SP 現場発生品及び支給品運搬 ク-ン装置付4~4.5t級2.9t吊,無し,8.5km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)トラック機種 2)DID区間の有無 3)片道運搬距離(km)	ク-ン装置付4~4.5t級2.9t吊 無し 8.5km以下				
	トラック ク-ン装置付 4~4.5t 積 2.9t 吊		供用日			
	運転手(特殊)		人			
	特殊作業員		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		回			
	*** S 単 - 22号 ***					
	SP 舗装版破碎		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 舗装版破碎 アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,-,-,有り			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)舗装版種別 2)障害等の有無 3)騒音振動対策 4)舗装版厚 5)Co+As(加-)舗装によるアスファルト舗装 6)積込作業の有無	アスファルト舗装版 無し 不要 15cm以下 - 有り				
	バックホウ賃料(刈-型・後方超小旋回型) 山積0.45m3(平積0.35m3) ~ 超低・~3次		供用日			
	土木一般世話役		人			
	運転手(特殊)		人			
	普通作業員		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 23号 ***					
	SP 舗装版切断		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 舗装版切断 アスファルト舗装版,15cm以下,-,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)舗装版種別 2)アスファルト舗装版厚 3)コンクリート舗装版厚 4)コンクリート+アスファルト(加-)舗装版の全体 コンクリートカッタ(超低騒音型) ハ-キ-ム式・湿式 切削深20cm級 プレード 径φ56cm	アスファルト舗装版 15cm以下 - -				
	特殊作業員		供用日 人			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	土木一般世話役		人			
	普通作業員		人			
	コンクリートカッターブレード 径45cm(18インチ)		枚			
	ガソリン エンジン 無鉛		L			
	単 価		m			
	*** S 単 - 24号 ***					
	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とこわし,機械積込,無し,3.3km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)DID区間の有無 4)運搬距離(km) ダンプトラック ワンロード・ディーゼル 10 t 積級 運転手(一般)	コンクリート(鉄筋)構造物とこわし 機械積込 無し 3.3km以下		供用日		
	軽油 一般		L			
	単 価		m3			
	*** S 単 - 25号 ***					
	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 舗装版破碎,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,3.5km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)DID区間の有無 4)運搬距離(km) ダンプトラック ワンロード・ディーゼル 10 t 積級 運転手(一般)	舗装版破碎 機械積込(舗装版厚15cm以下) 無し 3.5km以下		供用日		
	軽油 一般		L			
	単 価		m3			
	*** S 単 - 35号 ***					
	SP ヒューム管(B 形管)		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP ヒューム管(B 形管) 撤去,300mm,-,-,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)作業区分 2)管径 3)規格 4)固定基礎 5)基礎碎石の有無	撤去 300mm - - -				
	バックホウ賃料(加圧型・クレーン機能付・後方超小旋回型) 山積0.45m3(平積0.35m3)2.9 t 吊 ~ 超低・ ~ 2014 普通作業員			供用日		
	運転手(特殊)		人			
	土木一般世話役		人			
	特殊作業員		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 37号 ***					
	SP 不陸整正		m ²		1.000 m ²	歩 A
	SP 不陸整正 無し、-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	当たり算出
	1)補足材料の有無 2)補足材料平均厚さ	無し -				
	モータグレーダ 土工用 ブレード幅3.1m 排対型(2)		供用日			
	ロードローラ マダム 10 t 締固め幅2.1m 排対型(2)		供用日			
	タイヤローラ賃料 8 ~ 20 t ~ 超低・ ~ 2011		供用日			
	運転手(特殊)		人			
	特殊作業員		人			
	普通作業員		人			
	土木一般世話役		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 38号 ***					
	SP 下層路盤(車道・路肩部) 凍上抑制層		m ²		1.000 m ²	歩 A
	SP 下層路盤(車道・路肩部) 凍上抑制層 770mm,4層施工、-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	当たり算出
	1)全仕上り厚(t) 2)施工区分 3)工種区分 4)材料種別 5)計上区分	770mm 4層施工 凍上抑制層 - 施工費のみ				
	モータグレーダ 土工用 ブレード幅3.1m 排対型(2)		供用日			
	ロードローラ マダム 10 t 締固め幅2.1m 排対型(2)		供用日			
	タイヤローラ賃料 8 ~ 20 t ~ 超低・ ~ 2011		供用日			
	運転手(特殊)		人			
	特殊作業員		人			
	普通作業員		人			
	土木一般世話役		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 39号 ***					
	SP 下層路盤(車道・路肩部) 凍上抑制層		m ²		1.000 m ²	歩 A
	SP 下層路盤(車道・路肩部) 凍上抑制層 730mm,4層施工、-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	当たり算出
	1)全仕上り厚(t) 2)施工区分 3)工種区分 4)材料種別 5)計上区分	730mm 4層施工 凍上抑制層 - 施工費のみ				
	モータグレーダ 土工用 ブレード幅3.1m 排対型(2)		供用日			
	ロードローラ マダム 10 t 締固め幅2.1m 排対型(2)		供用日			
	タイヤローラ賃料 8 ~ 20 t ~ 超低・ ~ 2011		供用日			
	運転手(特殊)		人			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	特殊作業員		人			
	普通作業員		人			
	土木一般世話役		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 40号 ***					
	SP 下層路盤（車道・路肩部）下層路盤		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（車道・路肩部）下層路盤 150mm,1層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t) 2)施工区分 3)工種区分 4)材料種別 5)計上区分	150mm 1層施工 下層路盤 - 施工費のみ				
	モータグレーダ 土工用 ブレード幅3.1m 排対型(2)		供用日			
	ロードローラ 7t 10 t 締固め幅2.1m 排対型(2)		供用日			
	タイヤローラ賃料 8～20 t ～超低・～2011		供用日			
	運転手(特殊)		人			
	特殊作業員		人			
	普通作業員		人			
	土木一般世話役		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 41号 ***					
	SP 下層路盤（車道・路肩部）凍上抑制層		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（車道・路肩部）凍上抑制層 270mm,2層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t) 2)施工区分 3)工種区分 4)材料種別 5)計上区分	270mm 2層施工 凍上抑制層 - 施工費のみ				
	モータグレーダ 土工用 ブレード幅3.1m 排対型(2)		供用日			
	ロードローラ 7t 10 t 締固め幅2.1m 排対型(2)		供用日			
	タイヤローラ賃料 8～20 t ～超低・～2011		供用日			
	運転手(特殊)		人			
	特殊作業員		人			
	普通作業員		人			
	土木一般世話役		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 42号 ***					
	SP 下層路盤（車道・路肩部）下層路盤		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（車道・路肩部）下層路盤 200mm,1層施工,切込砂利40mm級			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				週休:補正なし		
	1)全仕上り厚(t) 2)施工区分 3)工種区分 4)材料種別 5)計上区分	200mm 1層施工 下層路盤 切込砂利40mm級 材料費+施工費				
	モータグレーダ 土工用 ブレード 幅3.1m 排対型(2) ロードローラ マダック 10 t 締固め幅2.1m 排対型(2) タイヤローラ賃料 8~20 t ~超低・~2011 運転手(特殊)		供用日 供用日 供用日 人			
	特殊作業員		人			
	普通作業員		人			
	土木一般世話役		人			
	切込砂利 φ 40mm級 軽油 一般		m3 L			材変
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 43号 ***					
	SP 下層路盤(歩道部) 下層路盤 SP 下層路盤(歩道部) 下層路盤 90mm,1層施工,-		m ²		1.000 m	歩A 当たり算出
				冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t) 2)施工区分 3)工種区分 4)材料種別 5)計上区分	90mm 1層施工 下層路盤 - 施工費のみ				
	小型バックホウ賃料(ｸﾏﾗ型) 山積0.11m3(平積0.08m3) ~超低・~3次 振動ローラ賃料 搭乗・ｺﾊﾞｲﾄﾞ 式 3~4 t ~超低・~3次 普通作業員		供用日 供用日 人			
	運転手(特殊)		人			
	特殊作業員		人			
	軽油 一般		L			
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 44号 ***					
	SP 下層路盤(歩道部) 下層路盤 SP 下層路盤(歩道部) 下層路盤 50mm,1層施工,-		m ²		1.000 m	歩A 当たり算出
				冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t) 2)施工区分 3)工種区分 4)材料種別 5)計上区分	50mm 1層施工 下層路盤 - 施工費のみ				
	小型バックホウ賃料(ｸﾏﾗ型) 山積0.11m3(平積0.08m3) ~超低・~3次 振動ローラ賃料 搭乗・ｺﾊﾞｲﾄﾞ 式 3~4 t ~超低・~3次 普通作業員		供用日 供用日 人			
	運転手(特殊)		人			
	特殊作業員		人			
	軽油 一般		L			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価		m ²			
	*** S単 - 45号 ***					
	SP 上層路盤（車道・路肩部）		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 上層路盤（車道・路肩部） 再生アスファルト安定処理(混入率50%),50mm,1.4m以上3.0m以下,ブライムコート (PK-3)			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)材料種別 2)平均幅員 3)平均仕上り厚さ(t) 4)瀝青材料種別 アスファルトフィニッシュ資料 オイル型 舗装幅1.4～3.0m ～超低・～2014	再生アスファルト安定処理(混入率50%) 1.4m以上3.0m以下 50mm ブライムコート (PK-3)		供用日		
	振動ローラ賃料 搭乗・コパインド式 3～4t ～超低・～3次			供用日		
	タイヤローラ賃料 3～4t ～超低・～3次			供用日		
	普通作業員		人			
	運転手(特殊)		人			
	特殊作業員		人			
	土木一般世話役		人			
	アスファルト安定処理 再生(混入率50%)		ton			材変
	アスファルト乳剤 散布用 PK-3 ブライムコート用 JIS-K2208		L			
	軽油 一般		L			
	単 価		m ²			
	*** S単 - 46号 ***					
	SP 上層路盤（車道・路肩部）		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 上層路盤（車道・路肩部） 再生アスファルト安定処理(混入率50%),50mm,3.0m超,ブライムコート (PK-3)			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)材料種別 2)平均幅員 3)平均仕上り厚さ(t) 4)瀝青材料種別 アスファルトフィニッシュ資料 オイル型 舗装幅2.3～6.0m ～超低・～2014	再生アスファルト安定処理(混入率50%) 3.0m超 50mm ブライムコート (PK-3)		供用日		
	タイヤローラ賃料 8～20t ～超低・～2011			供用日		
	ロードローラ賃料 マカダム 10～12t ～超低・～2次			供用日		
	普通作業員		人			
	運転手(特殊)		人			
	特殊作業員		人			
	土木一般世話役		人			
	アスファルト安定処理 再生(混入率50%)		ton			材変
	アスファルト乳剤 散布用 PK-3 ブライムコート用 JIS-K2208		L			
	軽油 一般		L			
	単 価		m ²			
	*** S単 - 47号 ***					
	SP 基層（車道・路肩部）		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基層（車道・路肩部） 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),タックコート PK-4,40.0mm,再生合材(混入率 50%),粗粒度アスコン			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚	1.4m以上3.0m以下 40.0mm				

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	3)材料	各種(2.30以上2.40t/m3未満)				
	4)瀝青材料種類	タックコート PK-4				
	5)材料区分	再生合材(混入率 50%)				
	6)材料種別	粗粒度アスコン				
	アスファルトフィニッシュ資料 ホ-ル型 舗装幅1.4～3.0m ～低音・～2014		供用日			
	振動ローラ賃料 搭乗・コバ'インド'式 3～4t ～超低・～3次		供用日			
	タイヤローラ賃料 3～4t ～超低・～3次		供用日			
	普通作業員		人			
	運転手(特殊)		人			
	特殊作業員		人			
	土木一般世話役		人			
	粗粒度アスコン 再生(混入率50%)		ton			材変
	アスファルト乳剤 散布用 PK-4 タックコート用 JIS-K2208		L			
	軽油 一般		L			
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 48号 ***					
	SP 表層(車道・路肩部)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 表層(車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),タックコート PK-4,30.0mm,再生合材(混入率 50%),密粒度アスコン			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚	1.4m以上3.0m以下 30.0mm				
	3)材料	各種(2.30以上2.40t/m3未満)				
	4)瀝青材料種類	タックコート PK-4				
	5)材料区分	再生合材(混入率 50%)				
	6)材料種別	密粒度アスコン				
	アスファルトフィニッシュ資料 ホ-ル型 舗装幅1.4～3.0m ～低音・～2014		供用日			
	振動ローラ賃料 搭乗・コバ'インド'式 3～4t ～超低・～3次		供用日			
	タイヤローラ賃料 3～4t ～超低・～3次		供用日			
	普通作業員		人			
	運転手(特殊)		人			
	特殊作業員		人			
	土木一般世話役		人			
	密粒度アスコン 再生(混入率50%)		ton			材変
	アスファルト乳剤 散布用 PK-4 タックコート用 JIS-K2208		L			
	軽油 一般		L			
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 49号 ***					
	SP 表層(車道・路肩部)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 表層(車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾞﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3,30.0mm,再生合材(混入率 50%),密粒度アスコン			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚	1.4m以上3.0m以下 30.0mm				
	3)材料	各種(2.30以上2.40t/m3未満)				
	4)瀝青材料種類	ﾌﾞﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3				
	5)材料区分	再生合材(混入率 50%)				
	6)材料種別	密粒度アスコン				
	アスファルトフィニッシュ資料 ホ-ル型 舗装幅1.4～3.0m ～低音・～2014		供用日			
	振動ローラ賃料 搭乗・コバ'インド'式 3～4t ～超低・～3次		供用日			
	タイヤローラ賃料 3～4t ～超低・～3次		供用日			

S3120102

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	産業廃棄物中間処理料金 汚泥 含水率85%以上 無機性汚泥【共通仮設費率対象外】	0.110	ton			単A
	産業廃棄物中間処理料金 循環税相当額 汚泥 含水率85%以上 無機性汚泥【共通仮設費率対象外】	0.110	ton			単A
	週休2日労務補正	1.000				単A
	小 計					
	塗料					
	区画線用塗料 常温型 ペイント式溶剤型 白 JIS-K5665-1種B	54.950	L			単A
	区画線用塗料 溶融型 ビーズ 15～18% 白 JIS-K5665-3種1号	7.020	kg			単A
	区画線用塗料 ガラスビーズ JIS-R3301	43.311	kg			単A
	区画線用塗料 接着用プライマー	0.450	kg			単A
	小 計					
	アスファルト類					
【SP】	アスファルト乳剤 散布用 PK-3 グライコト用 JIS-K2208	5,252.461	L			単A
【SP】	アスファルト乳剤 散布用 PK-4 タックコト用 JIS-K2208	1,098.389	L			単A
	小 計					
	鉄筋コンクリート管(1種)					
	鉄筋コンクリート管 1種 径450mm 長1000mm JIS-A5372	9.000	本			単A
	鉄筋コンクリート管(2種)					
	鉄筋コンクリート管 2種 径450mm 長2000mm JIS-A5372	70.500	本			単A
	鉄筋コンクリート管用ゴムリング					
	鉄筋コンクリート管用ゴムリング 1種 径450mm用	9.000	個			単A
	鉄筋コンクリート管用ゴムリング 2種 径450mm用	70.500	個			単A
	小 計					
	燃料・ガス類					
【SP】	ガソリン レギュラー 無鉛	5.917	L			単A
	軽油 一般	495.753	L			単A
【SP】	軽油 一般	14,442.505	L			単A
	小 計					
	合成樹脂管等					
	排水用薄肉直管(有孔・無孔) 径200mm 厚4.5mm 長4000mm ポリチレン製 受口付	2.000	m			単A
	その他諸資材					
【SP】	コンクリートカッターブレード 径45cm(18インチ)	0.041	枚			単A
	雨水樹					
	雨水樹 型A下部 840×840×1000mm	5.000	個			単A

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	雨水樹蓋					
	雨水樹蓋 型A下部用 グレーチング T-25 710×710×71mm	2.000	枚			単A
	雨水樹蓋 型A用 コンクリート製 2枚/組	3.000	組			単A
	小 計					
	視線誘導標					
	視線誘導標 伸縮型 地上高270cm ワンタッチ式	14.000	本			単A
	視線誘導標(スノーボール併用型・2段式・スライド式) 土中建込用 反射体(両面)径100以下1個 地上高180cm	-14.000	本			単A
	小 計					
	道路標識					
	警戒標識板 カクテルグラス 倍率1.0 450×450mm	2.000	枚			単A
	合 計					
	残土受入費	2,651.000	m3			単A
	枝払い	1.000	式			単A
	樹木伐採 樹高10m 幹周50cm	15.000	本			単A
	樹木伐採 樹高13m 幹周80cm	15.000	本			単A
	小 計					
	切込砂利					
【SP】	切込砂利 φ40mm級	0.058	m3			単A
	細粒度アスコン					
【SP】	細粒度アスコン 再生(混入率50%) 車道用	1.610	ton			単A
	密粒度アスコン					
【SP】	密粒度アスコン 再生(混入率50%)	7.021	ton			単A
	粗粒度アスコン					
【SP】	粗粒度アスコン 再生(混入率50%)	0.121	ton			単A
	アスファルト安定処理					
【SP】	アスファルト安定処理 再生(混入率50%)	8.115	ton			単A
	コンクリート					
	コンクリート廃材受入費 鉄筋 中間処理費	1.000	ton			単A
	アスファルト					
	アスファルト受入費 中間処理	19.000	ton			単A

S3120102

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	バックホウ(加-型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排対型(1)	16.122	時間			単A
	バックホウ(加-型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排対型(2)	0.003	時間			単A
【SP】	バックホウ(加-型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 超低・排対型(3)	20.721	供用日			単A
【SP】	バックホウ(加-型)(後方超小旋回型) 山積0.28m3(平積0.2m3) 排対型(2)	0.527	供用日			単A
	バックホウ(加-型)(クレーン機能付) 山積0.45m3(平積0.35m3) 2.9 t 吊 排対型(1)	15.837	時間			単A
	バックホウ用アタッチメント 掴み装置 開口幅1700～2000mm 爪幅400～750mm	0.003	時間			単A
【SP】	ダンプトラック ディーゼル 10 t 積級	181.591	供用日			単A
	ダンプトラック ディーゼル 10 t 積級	1.216	供用日			単A
	小 計					
【SP】	トラック クレーン装置付 ベ-トラック4～4.5 t 積 2.9 t 吊	0.773	供用日			単A
【SP】	モータグレーダ 土工用 ブレード幅3.1m 排対型(2)	23.973	供用日			単A
【SP】	ロードローラ マダ 10 t 締固め幅2.1m 排対型(2)	24.964	供用日			単A
【SP】	ランマ 60～80kg	0.317	供用日			単A
【SP】	コンクリートカッタ(超低騒音型) パキ-式・湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm	0.099	供用日			単A
	合 計					
【SP】	小型バックホウ賃料(加-型) 山積0.11m3(平積0.08m3) ～超低・～3次	1.822	供用日			単A
【SP】	バックホウ賃料(加-型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ～超低・～2014	18.800	供用日			単A
【SP】	バックホウ賃料(加-型・後方超小旋回型) 山積0.45m3(平積0.35m3) ～超低・～3次	2.055	供用日			単A
【SP】	バックホウ賃料(加-型・クレーン機能付・後方超小旋回型) 山積0.45m3(平積0.35m3)2.9 t 吊 ～超低・～2014	0.341	供用日			単A
【SP】	ロードローラ賃料 マダ 10～12 t ～超低・～2次	0.723	供用日			単A
【SP】	タイヤローラ賃料 3～4 t ～超低・～3次	6.020	供用日			単A
【SP】	タイヤローラ賃料 8～20 t ～超低・～2011	25.142	供用日			単A
【SP】	振動ローラ賃料 ロードタイプ 0.5～0.6 t ～低音	2.787	供用日			単A

S3120102

[illegible]

S3120102

S3120102

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費					
・土工					
・ ・ 掘削工					
・ ・ ・ 土砂等運搬					
SP 土砂等運搬 _ダンブトラック10 t 積級 標準・バツカ山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.5 km以下	2,590.000	m3			歩A・単A S単 5号
残土受入費	2,590.000	m3			歩A・単A
・法面工					
・ ・ 植生工					
・ ・ ・ 植生					
張芝 500m以上	1,218.000	m ²			歩A・単A S単 53号
・排水構造物工(小型水路工)					
・ ・ 管渠工					
・ ・ ・ プレキャストバグ					
RC管2種 φ450 砂利基礎	141.000	m			歩A・単A T単 2号
・舗装工					
・ ・ 車道路盤工					
・ ・ ・ 凍上抑制層(車道部)					
凍上抑制層(車道部) 再生骨材80mm t=77cm	2,897.000	m ²			歩A・単A T単 7号
・ ・ ・ 下層路盤(車道・路肩部)					
下層路盤(車道・路肩部) 再生骨材40mm t=15cm	2,965.000	m ²			歩A・単A T単 9号
・ ・ ・ 上層路盤(車道・路肩部)					
SP 上層路盤(車道・路肩部) 再生アスファルト安定処理(混入率50%),50mm,1.4m以上3.0m以下,ﾌﾞﾗｲﾑｺｰﾄ (PK -3)	2,557.000	m ²			歩A・単A S単 45号
・ ・ 取付道路路盤工					
・ ・ ・ 取付道路路盤					
凍上抑制層(車道部) 再生骨材80mm t=27cm	668.000	m ²			歩A・単A T単 12号
SP 上層路盤(車道・路肩部) 再生アスファルト安定処理(混入率50%),50mm,3.0m超,ﾌﾞﾗｲﾑｺｰﾄ (PK-3)	668.000	m ²			歩A・単A S単 46号
・ ・ 車道アスファルト舗装工					
・ ・ ・ 表層_車道					
SP 表層(車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4,30.0mm,再 生合材(混入率 50%),密粒度ｱｽﾌ	2,512.000	m ²			歩A・単A S単 48号
・ ・ 取付道路アスファルト舗装工					
・ ・ ・ 表層_取付道					
SP 表層(車道・路肩部) 3.0m超,各種(2.20以上2.30t/m3未満),ﾌﾞﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3,30.0mm,再生合材(	668.000	m ²			歩A・単A S単 50号

S3120102

S3120102

S3120102

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
	すき取り		m ²		1,000.000 m ²	歩 A 当たり算出
	すき取り__ バックホウ			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)作業機種	バックホウ		週休:補正なし		
	土木一般世話役	0.500	人			
	バックホウ(加-ラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排対型(1)	3.140	時間			
	軽油 一般	47.000	L			
	運転手(特殊)	0.530	人			
	合 計					算出数量 1,000.000 m ²
	単 価		m ²			
	*** S単 - 2号 ***					
	除根		m ²		1,000.000 m ²	歩 A 当たり算出
	除根__			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分	除根		週休:補正なし		
	土木一般世話役	0.450	人			
	バックホウ用アタッチメント 掴み装置 開口幅1700～2000mm 爪幅400～750mm	3.400	時間			
	バックホウ(加-ラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排対型(2)	3.400	時間			
	軽油 一般	29.000	L			
	運転手(特殊)	0.540	人			
	合 計					算出数量 1,000.000 m ²
	単 価		m ²			
	*** S単 - 3号 ***					
	運搬(伐開、除根、除草)__		空m3		100.000 空m3	歩 A 当たり算出
	運搬(伐開、除根、除草)__ 9.0km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)運搬距離区分(km) 2)路面条件	9.0km以下 良好		週休:補正なし		
	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 10 t 積級	2.210	供用日			
	タイヤ消耗費及び補修費 ダンプトラック 10 t 積級	2.210	供用日			
	軽油 一般	100.000	L			
	運転手(一般)	1.700	人			
	合 計					算出数量 100.000 空m3
	単 価		空m3			
	*** S単 - 4号 ***					
	SP 掘削 __バックホウ		m3		1.000 m3	歩 A 当たり算出
	SP 掘削 __バックホウ 土砂、オープンカット、無し、無し、5,000m3未満、-、-、-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)土質 2)施工方法 3)押土の有無 4)障害の有無 5)施工数量 6)火薬使用 7)破砕片除去の有無 8)集積押土の有無	土砂 オープンカット 無し 無し 5,000m3未満 - - -				
	単 価		m3			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 5号 ***					
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10 t 積級		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 _ダンプトラック10 t 積級			冬期補正:なし	基本給時間:8.0	
	標準,ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.5km以下			超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)土砂等発生現場	標準				
	2)積込機種・規格	ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.8m3(平積0.6m3)				
	3)土質	土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
	4)D1D区間の有無	無し				
	5)運搬距離	7.5km以下				
	単 価		m3			
	*** S単 - 6号 ***					
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10 t 積級		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 _ダンプトラック10 t 積級			冬期補正:なし	基本給時間:8.0	
	標準,ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積1.4m3(平積1.0m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.0km以下			超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)土砂等発生現場	標準				
	2)積込機種・規格	ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積1.4m3(平積1.0m3)				
	3)土質	土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
	4)D1D区間の有無	無し				
	5)運搬距離	7.0km以下				
	単 価		m3			
	*** S単 - 7号 ***					
	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り			冬期補正:なし	基本給時間:8.0	
	土砂,平均施工幅1m以上2m未満,無し,無し			超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	平均施工幅1m以上2m未満				
	3)土留方式の種類	無し				
	4)障害の有無	無し				
	単 価		m3			
	*** S単 - 8号 ***					
	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り			冬期補正:なし	基本給時間:8.0	
	土砂,上記以外(小規模),-, -			超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	上記以外(小規模)				
	3)土留方式の種類	-				
	4)障害の有無	-				
	軽油		L			材変
	一般					
	単 価		m3			
	*** S単 - 9号 ***					
	SP 基面整正		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基面整正			冬期補正:なし	基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)整形区分	基面整正				
	単 価		m ²			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 10号 ***					
	まき出し_人力		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	まき出し_人力 砂質土			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土質区分	砂質土		週休:補正なし		
	普通作業員	0.680	人			
	合 計					算出数量 10.000 m3
	単 価		m3			
	*** S 単 - 11号 ***					
	SP 法面整形 切土部(機械)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 切土部(機械) 切土部,-,無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無	切土部 -				
	3)現場制約の有無 4)土質	無し け質土、砂及び砂質土、粘性土				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 12号 ***					
	SP 法面整形 盛土部(機械)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 盛土部(機械) 盛土部,有り,無し,け質土、砂及び砂質土、粘性土			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無	盛土部 有り				
	3)現場制約の有無 4)土質	無し け質土、砂及び砂質土、粘性土				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 13号 ***					
	すき取り土法覆		m ²		100.000 m ²	歩A 当たり算出
	すき取り土法覆			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分	施工費のみ		週休:補正なし		
	土木一般世話役	0.100	人			
	普通作業員	0.400	人			
	バックホウ(加-ヲ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排対型(1)	2.400	時間			
	軽油 一般	36.000	L			
	運転手(特殊)	0.410	人			
	合 計					算出数量 100.000 m ²
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 14号 ***					
	SP 埋戻し		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満,-,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)施工方法 2)土質	最大埋戻幅1m以上4m未満 -				
	3)締固めの有無	-				
	単 価		m3			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 15号 ***					
	SP 埋戻し		m3		1.000 m3	歩 A 当たり算出
	SP 埋戻し 上記以外(小規模),土砂,-				基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
					冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
	1)施工方法	上記以外(小規模)				
	2)土質	土砂				
	3)締固めの有無	-				
	軽油		L			材変
	一般					
	ガソリン		L			材変
	レギュラー 無鉛					
	単 価		m3			
	*** S 単 - 16号 ***					
	締固め 狭隘な箇所		m3		100.000 m3	歩 A 当たり算出
	締固め 狭隘な箇所 路床,W<1.0m				基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)締固め度期待値	路床			週休:補正なし	
	2)施工幅員(W)	W<1.0m				
	振動ローラ賃料					
	1/2トガ付式 0.8~1.1t	3.350	供用日			
	軽油					
	一般	13.000	L			
	特殊作業員	2.330	人			
	合 計					算出数量 100.000 m3
	単 価		m3			
	*** S 単 - 17号 ***					
	SP 基礎碎石		m ²		1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 基礎碎石 12.5cm超え17.5cm以下,-,施工費のみ				基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
					週休:補正なし	
	1)碎石の厚さ	12.5cm超え17.5cm以下				
	2)碎石の種類	-				
	3)施工区分	施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 18号 ***					
	SP 基礎碎石		m ²		1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 基礎碎石 27.5cm超え30.0cm以下,-,施工費のみ				基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
					週休:補正なし	
	1)碎石の厚さ	27.5cm超え30.0cm以下				
	2)碎石の種類	-				
	3)施工区分	施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 19号 ***					
	SP 基礎碎石		m ²		1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 基礎碎石 7.5cm以下,-,施工費のみ				基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
					週休:補正なし	
	1)碎石の厚さ	7.5cm以下				
	2)碎石の種類	-				
	3)施工区分	施工費のみ				

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価		m ²			
	*** S単 - 20号 ***					
	SP 基礎碎石		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基礎碎石 17.5cm超え20.0cm以下,-,施工費のみ			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)碎石の厚さ 2)碎石の種類 3)施工区分	17.5cm超え20.0cm以下 - 施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 21号 ***					
	SP 現場発生品及び支給品運搬		ton		1.000 ton	歩A 当たり算出
	SP 現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付4～4.5t級2.9t吊,無し,8.5km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)トラック機種 2)DID区間の有無 3)片道運搬距離(km)	クレーン装置付4～4.5t級2.9t吊 無し 8.5km以下				
	単 価		回			
	*** S単 - 22号 ***					
	SP 舗装版破砕		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 舗装版破砕 アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)舗装版種別 2)障害等の有無 3)騒音振動対策 4)舗装版厚 5)Co+As(加-)舗装によるアスファルト舗装 6)積込作業の有無	アスファルト舗装版 無し 不要 15cm以下 - 有り				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 23号 ***					
	SP 舗装版切断		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 舗装版切断 アスファルト舗装版,15cm以下,-,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)舗装版種別 2)アスファルト舗装版厚 3)コンクリート舗装版厚 4)コンクリート+アスファルト(加-)舗装版の全体	アスファルト舗装版 15cm以下 - -				
	単 価		m			
	*** S単 - 24号 ***					
	SP 殻運搬		m ³		1.000 m ³	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,3.3km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)DID区間の有無 4)運搬距離(km)	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 無し 3.3km以下				
	単 価		m ³			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 25号 ***					
	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 舗装版破碎,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,3.5km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)DID区間の有無 4)運搬距離(km)	舗装版破碎 機械積込(舗装版厚15cm以下) 無し 3.5km以下				
	単 価		m3			
	*** S単 - 26号 ***					
	コンクリート再生骨材		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	コンクリート再生骨材 80mm級,0%			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地区資材単価のコード_ 2)ロス率(%) 3)規格	0% 80mm級				
	コンクリート再生骨材 80mm級	1.000	m3			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S単 - 27号 ***					
	雨水樹		個		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	雨水樹 型A下部 840×840×1000mm,0%			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地域資材単価のコード_ 2)ロス率(%) 3)規格	0% 型A下部 840×840×1000mm				
	雨水樹 型A下部 840×840×1000mm	1.000	個			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S単 - 28号 ***					
	雨水樹蓋		枚		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	雨水樹蓋 型A下部用 グレチング T-25 710×710×71mm,0%			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地域資材単価のコード_ 2)ロス率(%) 3)規格	0% 型A下部用 グレチング T-25 71・				
	雨水樹蓋 型A下部用 グレチング T-25 710×710×71mm	1.000	枚			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S単 - 29号 ***					
	雨水樹蓋		組		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	雨水樹蓋 型A用 コンクリート製 2枚/組,0%			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地域資材単価のコード_ 2)ロス率(%) 3)規格	0% 型A用 コンクリート製 2枚/組				
	雨水樹蓋 型A用 コンクリート製 2枚/組	1.000	組			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 30号 ***					
	警戒標識板		枚		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	警戒標識板 加`セルソ` 倍率1.0 450×450mm,0%			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地域資材単価のコード_ 2)ロス率(%) 3)規格	0% 加`セルソ` 倍率1.0 450×450mm				
	警戒標識板 加`セルソ` 倍率1.0 450×450mm	1.000	枚			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S単 - 31号 ***					
	アスファルト受入費		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	アスファルト受入費 中間処理			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地区資材単価のコード_ 2)資材規格の入力 3)単価の入力_	中間処理				
	アスファルト受入費 中間処理	1.000	ton			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S単 - 32号 ***					
	コンクリート廃材受入費		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	コンクリート廃材受入費 鉄筋 中間処理費			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)地区資材単価のコード_ 2)資材規格の入力 3)単価の入力_	鉄筋 中間処理費				
	コンクリート廃材受入費 鉄筋 中間処理費	1.000	ton			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S単 - 33号 ***					
	鉄筋コンクリート管(1種) 設置		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	鉄筋コンクリート管(1種) 設置 450mm			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)管径区分(mm)	材料費(管+ゴムリング)+設置費 450mm				
	鉄筋コンクリート管 1種 径450mm 長1000mm JIS-A5372	10.000	本			
	鉄筋コンクリート管用ゴムリング 1種 径450mm用	10.000	個			
	土木一般世話役	0.120	人			
	特殊作業員	0.370	人			
	普通作業員	0.140	人			
	バックホウ(加-ラ型)(クレーン機能付) 山積0.45m3(平積0.35m3) 2.9t吊 排対型(1)	1.930	時間			
	軽油 一般	17.000	L			
	運転手(特殊)	0.330	人			
	諸雑費	0.190				
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	鉄筋コンクリート管(1種) 設置					
	*** S 単 - 34号 ***					
	鉄筋コンクリート管(2種) 設置		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	鉄筋コンクリート管(2種) 設置 450mm			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)管径区分(mm)	材料費(管 + ゴムリング) + 設置費 450mm				
	鉄筋コンクリート管 2種 径450mm 長2000mm JIS-A5372	5.000	本			
	鉄筋コンクリート管用ゴムリング 2種 径450mm用	5.000	個			
	土木一般世話役	0.100	人			
	特殊作業員	0.220	人			
	普通作業員	0.120	人			
	バックホウ(加-ラ型)(クレーン機能付) 山積0.45m3(平積0.35m3) 2.9 t 吊 排対型(1)	1.000	時間			
	軽油 一般	8.600	L			
	運転手(特殊)	0.170	人			
	諸雑費	0.180				
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	鉄筋コンクリート管(2種) 設置					
	*** S 単 - 35号 ***					
	SP ヒューム管 (B 形管)		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP ヒューム管 (B 形管) 撤去,300mm,-,-,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)作業区分 2)管径 3)規格 4)固定基礎 5)基礎砕石の有無	撤去 300mm - - -				
	単 価		m			
	*** S 単 - 36号 ***					
	積芝(生芝)		m ²		100.000 m ²	歩A 当たり算出
	積芝(生芝)			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分 2)材料区分	材料費 + 施工費 生芝(野芝)				
	生芝 野芝	1,170.000	m ²			
	普通作業員	30.800	人			
	合 計					算出数量 100.000 m ²
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 37号 ***					
	SP 不陸整正		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 不陸整正 無し,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)補足材料の有無 2)補足材料平均厚さ	無し -				
	単 価		m ²			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 38号 ***					
	SP 下層路盤（車道・路肩部）凍上抑制層		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（車道・路肩部）凍上抑制層 770mm,4層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t)	770mm				
	2)施工区分	4層施工				
	3)工種区分	凍上抑制層				
	4)材料種別	-				
	5)計上区分	施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 39号 ***					
	SP 下層路盤（車道・路肩部）凍上抑制層		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（車道・路肩部）凍上抑制層 730mm,4層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t)	730mm				
	2)施工区分	4層施工				
	3)工種区分	凍上抑制層				
	4)材料種別	-				
	5)計上区分	施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 40号 ***					
	SP 下層路盤（車道・路肩部）下層路盤		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（車道・路肩部）下層路盤 150mm,1層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t)	150mm				
	2)施工区分	1層施工				
	3)工種区分	下層路盤				
	4)材料種別	-				
	5)計上区分	施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 41号 ***					
	SP 下層路盤（車道・路肩部）凍上抑制層		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（車道・路肩部）凍上抑制層 270mm,2層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t)	270mm				
	2)施工区分	2層施工				
	3)工種区分	凍上抑制層				
	4)材料種別	-				
	5)計上区分	施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 42号 ***					
	SP 下層路盤（車道・路肩部）下層路盤		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（車道・路肩部）下層路盤 200mm,1層施工,切込砂利40mm級			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t)	200mm				
	2)施工区分	1層施工				
	3)工種区分	下層路盤				
	4)材料種別	切込砂利40mm級				

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	5)計上区分	材料費+施工費				
	切込砂利 φ40mm級		m3			材変
	単 価		m ²			
	*** S単 - 43号 ***					
	SP 下層路盤(歩道部) 下層路盤		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤(歩道部) 下層路盤 90mm,1層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t) 2)施工区分 3)工種区分 4)材料種別 5)計上区分	90mm 1層施工 下層路盤 - 施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 44号 ***					
	SP 下層路盤(歩道部) 下層路盤		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤(歩道部) 下層路盤 50mm,1層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t) 2)施工区分 3)工種区分 4)材料種別 5)計上区分	50mm 1層施工 下層路盤 - 施工費のみ				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 45号 ***					
	SP 上層路盤(車道・路肩部)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 上層路盤(車道・路肩部) 再生アスファルト安定処理(混入率50%),50mm,1.4m以上3.0m以下,ブライムコート (PK-3)			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)材料種別 2)平均幅員 3)平均仕上り厚さ(t) 4)瀝青材料種別 アスファルト安定処理 再生(混入率50%)	再生アスファルト安定処理(混入率50%) 1.4m以上3.0m以下 50mm ブライムコート (PK-3)				
	単 価		ton			材変
	*** S単 - 46号 ***					
	SP 上層路盤(車道・路肩部)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 上層路盤(車道・路肩部) 再生アスファルト安定処理(混入率50%),50mm,3.0m超,ブライムコート (PK-3)			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)材料種別 2)平均幅員 3)平均仕上り厚さ(t) 4)瀝青材料種別 アスファルト安定処理 再生(混入率50%)	再生アスファルト安定処理(混入率50%) 3.0m超 50mm ブライムコート (PK-3)				
	単 価		ton			材変
	*** S単 - 47号 ***					
	SP 基層(車道・路肩部)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基層(車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),タックコート PK-4,40.			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	0mm,再生合材(混入率 50%),粗粒度アスコン			週休:補正なし		
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚	1.4m以上3.0m以下 40.0mm				
	3)材料 4)瀝青材料種類	各種(2.30以上2.40t/m3未満) タックコート PK-4				
	5)材料区分 6)材料種別	再生合材(混入率 50%) 粗粒度アスコン				
	粗粒度アスコン 再生(混入率50%)		ton			材変
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 48号 ***					
	SP 表層(車道・路肩部)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 表層(車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),タックコート PK-4,30.0mm,再生合材(混入率 50%),密粒度アスコン			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚	1.4m以上3.0m以下 30.0mm				
	3)材料 4)瀝青材料種類	各種(2.30以上2.40t/m3未満) タックコート PK-4				
	5)材料区分 6)材料種別	再生合材(混入率 50%) 密粒度アスコン				
	密粒度アスコン 再生(混入率50%)		ton			材変
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 49号 ***					
	SP 表層(車道・路肩部)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 表層(車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾞﾗｲﾄﾞｺｰﾄ PK-3,30.0mm,再生合材(混入率 50%),密粒度アスコン			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚	1.4m以上3.0m以下 30.0mm				
	3)材料 4)瀝青材料種類	各種(2.30以上2.40t/m3未満) ﾌﾞﾗｲﾄﾞｺｰﾄ PK-3				
	5)材料区分 6)材料種別	再生合材(混入率 50%) 密粒度アスコン				
	密粒度アスコン 再生(混入率50%)		ton			材変
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 50号 ***					
	SP 表層(車道・路肩部)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 表層(車道・路肩部) 3.0m超 各種(2.20以上2.30t/m3未満),ﾌﾞﾗｲﾄﾞｺｰﾄ PK-3,30.0mm,再生合材(混入率 50%),細粒度アスコン			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚	3.0m超 30.0mm				
	3)材料 4)瀝青材料種類	各種(2.20以上2.30t/m3未満) ﾌﾞﾗｲﾄﾞｺｰﾄ PK-3				
	5)材料区分 6)材料種別	再生合材(混入率 50%) 細粒度アスコン				
	細粒度アスコン 再生(混入率50%) 車道用		ton			材変
	単 価		m ²			
	*** S 単 - 51号 ***					
	交通誘導警備員B		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	交通誘導警備員B			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)交通誘導警備員区分	交通誘導警備員B				
	交通誘導警備員B		1.000 人			
	上記単価は、冬期補正の対象外					

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価		人			
	*** S 単 - 52号 ***					
	腐植酸種子散布		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	腐植酸種子散布 100m ² 以上250m ² 未満			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分	材料費+施工費		週休:補正なし		
	2)作業区分	腐植酸種子散布工				
	3)施工規模	100m ² 以上250m ² 未満				
	4)時間的制約区分	-				
	腐食酸種子散布工					
		1.450	m ²			
	合 計					算出数量 1.000 m ²
	単 価		m ²			
	腐植酸種子散布					
	*** S 単 - 53号 ***					
	張芝		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	張芝 500m ² 以上			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分	材料費+施工費		週休:補正なし		
	2)工種	張芝工				
	3)施工規模	500m ² 以上				
	4)時間的制約区分	受けない				
	張芝工 野芝・高麗芝(全面張り)		1.000	m ²		
	合 計					算出数量 1.000 m ²
	単 価		m ²			
	張芝					
	*** S 単 - 54号 ***					
	道路標識設置(路側式・単柱式)		基		1.000 基	歩A 当たり算出
	道路標識設置(路側式・単柱式) 地下垂鉛メッキ+静電粉体塗装 φ76.3			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分	材料費+設置費		週休:補正なし		
	2)形式区分	単柱式				
	3)規格区分	地下垂鉛メッキ+静電粉体塗装 φ76.3				
	4)支柱区分	直支柱				
	5)施工規模	2基以下				
	6)時間的制約区分	-				
	7)夜間作業区分	無し				
	8)景観色塗装柱区分	無し				
	道路標識(路側式)建柱・基礎設置工 単柱式 φ76.3mm 地下垂鉛メッキ+静電粉体塗装		1.350	基		
	合 計					算出数量 1.000 基
	単 価		基			
	道路標識設置(路側式・単柱式)					
	*** S 単 - 55号 ***					
	標識板設置(警戒・指示標識等)		基		1.000 基	歩A 当たり算出
	標識板設置(警戒・指示標識等) 警戒標識			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分	設置費のみ		週休:補正なし		
	2)規格区分	警戒標識				
	3)施工規模	2基以下				
	4)時間的制約区分	-				
	5)夜間作業区分	無し				
	道路標識標識板設置工 警戒・規制・指示・路線番号標識		1.250	基		
	合 計					算出数量 1.000 基

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価		基			
	標識板設置(警戒・指示標識等)					
	*** S 単 - 56号 ***					
	区画線設置 [標準単価]		m		1,000.000 m	歩 A 当たり算出
	区画線設置 [標準単価] ペイント式(車載式),15cm,実線,溶剤型			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)作業区分	ペイント式(車載式)				
	2)線区分	実線				
	3)幅区分	15cm				
	5)排水性舗装区分	-				
	6)供用区分	供用区間				
	7)ペイント種別	溶剤型				
	8)常温・加熱区分	常温式				
	9)施工区分	材料費 + 施工費				
	区画線設置工(制約無・昼間) ペイント式(車載式) 実線 15cm	1,000.000	m			
	区画線用塗料 常温型 ペイント式溶剤型 白 JIS-K5665-1種B	50.000	L			
	区画線用塗料 ガラスビーズ JIS-R3301	39.000	kg			
	軽油 一般	33.000	L			
	雑材料 ガソリン等	0.030				
	合 計					算出数量 1,000.000 m
	単 価		m			
	*** S 単 - 57号 ***					
	区画線設置 [標準単価]		m		1,000.000 m	歩 A 当たり算出
	区画線設置 [標準単価] 溶融式(手動),30cm,破線,1.0mm			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)作業区分	溶融式(手動)				
	2)線区分	破線				
	3)幅区分	30cm				
	4)塗布厚区分	1.0mm				
	5)排水性舗装区分	施工しない				
	6)供用区分	供用区間				
	9)施工区分	材料費 + 施工費				
	区画線設置工(制約無・昼間) 溶融式(手動) 破線 30cm	1,000.000	m			
	区画線用塗料 溶融型 ビーズ 15~18% 白 JIS-K5665-3種1号	780.000	kg			
	区画線用塗料 ガラスビーズ JIS-R3301	50.000	kg			
	区画線用塗料 接着用プライマー	50.000	kg			
	軽油 一般	73.000	L			
	雑材料 ガソリン等	0.050				
	合 計					算出数量 1,000.000 m
	単 価		m			
	*** S 単 - 58号 ***					
	視線誘導標設置		本		1.000 本	歩 A 当たり算出
	視線誘導標設置 土中建込み(標準型),支柱径φ34			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工区分	材料費 + 設置費				
	2)作業区分	土中建込み(標準型)				
	3)規格区分	支柱径φ34				
	4)施工規模	10本以上 30本未満				
	5)時間的制約区分	-				
	6)夜間作業区分	なし				
	視線誘導標設置工 土中建込用 反射体(両面)径100以下 支柱径34	1.100	本			
	合 計					算出数量 1.000 本
	単 価		本			

S3120102

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	単位	構 成 比 (%)	東 京 単 価	地 区 単 価	備 考
	*** S 単 - 4号 ***					
	SP 掘削 バックホウ	m3			1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 掘削 バックホウ 土砂、オープンカット、無し、無し、5,000m3未満、-、-、-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土質		土砂			
	2)施工方法		オープンカット			
	3)押土の有無		無し			
	4)障害の有無		無し			
	5)施工数量		5,000m3未満			
	6)火薬使用		-			
	7)破砕片除去の有無		-			
	8)集積押土の有無		-			
	標準単価					
	K)機械構成比		44.26%			
	R)労務構成比		36.73%			
	Z)材料構成比		19.01%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	バックホウ(加-ラ型)					K1
	山積0.8m3(平積0.6m3) 超低・排対型(3)	供用日	44.26%			
	運転手(特殊)	人	36.73%			R1
	軽油					Z1
	一般	L	19.01%			
	単 価	m3				
	*** S 単 - 5号 ***					
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10 t 積級	m3			1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10 t 積級 標準、ハック山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.5km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土砂等発生現場		標準			
	2)積込機種・規格		ハック山積0.8m3(平積0.6m3)			
	3)土質		土砂(岩塊・玉石混り土含む)			
	4)DID区間の有無		無し			
	5)運搬距離		7.5km以下			
	標準単価					
	K)機械構成比		45.59%			
	R)労務構成比		39.52%			
	Z)材料構成比		14.89%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	ダンプトラック ワイド・ディーゼル 10 t 積級	供用日	45.59%			K1
	運転手(一般)	人	39.52%			R1
	軽油					Z1
	一般	L	14.89%			
	単 価	m3				
	*** S 単 - 6号 ***					
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10 t 積級	m3			1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 ダンプトラック10 t 積級 標準、ハック山積1.4m3(平積1.0m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.0km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土砂等発生現場		標準			
	2)積込機種・規格		ハック山積1.4m3(平積1.0m3)			
	3)土質		土砂(岩塊・玉石混り土含む)			
	4)DID区間の有無		無し			
	5)運搬距離		7.0km以下			
	標準単価					
	K)機械構成比		45.59%			
	R)労務構成比		39.52%			
	Z)材料構成比		14.89%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	ダンプトラック ワイド・ディーゼル 10 t 積級	供用日	45.59%			K1
	運転手(一般)	人	39.52%			R1

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	単位	構 成 比 (%)	東 京 単 価	地 区 単 価	備 考
	軽油 一般	L	14.89%			Z1
	単 価	m3				
	*** S 単 - 7号 ***					
	SP 床掘り	m3			1.000 m3	歩 A 当たり算出
	SP 床掘り__ 土砂,平均施工幅1m以上2m未満,無し,無し			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土質 2)施工方法 3)土留方式の種類 4)障害の有無	土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 無し				
	標準単価 K)機械構成比 R)労務構成比 Z)材料構成比 A)市場単価構成比		20.36% 65.67% 13.97% 0.00%			
	バックホウ賃料(加-α型・後方超小旋回型) 山積0.45m3(平積0.35m3) ～超低・～3次	供用日	20.36%			K1
	運転手(特殊)	人	65.67%			R1
	軽油 一般	L	13.97%			Z1
	単 価	m3				
	*** S 単 - 8号 ***					
	SP 床掘り	m3			1.000 m3	歩 A 当たり算出
	SP 床掘り__ 土砂,上記以外(小規模),-, -			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)土質 2)施工方法 3)土留方式の種類 4)障害の有無	土砂 上記以外(小規模) - -				
	標準単価 K)機械構成比 R)労務構成比 Z)材料構成比 A)市場単価構成比		19.87% 72.99% 7.14% 0.00%			
	バックホウ(加-α型)(後方超小旋回型) 山積0.28m3(平積0.2m3) 排対型(2)	供用日	19.87%			K1
	運転手(特殊)	人	39.96%			R1
	普通作業員	人	33.03%			R2
	軽油 一般	L	7.14%			Z1 材変
	単 価	m3				
	*** S 単 - 9号 ***					
	SP 基面整正	m ²			1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 基面整正__			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)整形区分__	基面整正				
	標準単価 K)機械構成比 R)労務構成比 Z)材料構成比 A)市場単価構成比		0.00% 100.00% 0.00% 0.00%			
	普通作業員	人	100.00%			R1
	単 価	m ²				

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	単位	構 成 比 (%)	東 京 単 価	地 区 単 価	備 考
	*** S 単 - 11号 ***					
	SP 法面整形 切土部(機械)	m ²			1.000 m	歩 A 当たり算出
	SP 法面整形 切土部(機械) 切土部、-,無し、け質土、砂及び砂質土、粘性土			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無 3)現場制約の有無 4)土質	切土部 - 無し け質土、砂及び砂質土、粘性土				
	標準単価					
	K)機械構成比		9.71%			
	R)労務構成比		80.61%			
	Z)材料構成比		9.68%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	バックホウ賃料(ｸﾏﾗ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・ ~ 2014	供用日	9.71%			K1
	普通作業員	人	38.29%			R1
	運転手(特殊)	人	22.49%			R2
	土木一般世話役	人	19.83%			R3
	軽油 一般	L	9.68%			Z1
	単 価	m ²				
	*** S 単 - 12号 ***					
	SP 法面整形 盛土部(機械)	m ²			1.000 m	歩 A 当たり算出
	SP 法面整形 盛土部(機械) 盛土部、有り、無し、け質土、砂及び砂質土、粘性土			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無 3)現場制約の有無 4)土質	盛土部 有り 無し け質土、砂及び砂質土、粘性土				
	標準単価					
	K)機械構成比		12.19%			
	R)労務構成比		75.67%			
	Z)材料構成比		12.14%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	バックホウ賃料(ｸﾏﾗ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・ ~ 2014	供用日	12.19%			K1
	普通作業員	人	30.88%			R1
	運転手(特殊)	人	28.21%			R2
	土木一般世話役	人	16.58%			R3
	軽油 一般	L	12.14%			Z1
	単 価	m ²				
	*** S 単 - 14号 ***					
	SP 埋戻し	m3			1.000 m3	歩 A 当たり算出
	SP 埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満、-, -			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工方法 2)土質 3)締固めの有無	最大埋戻幅1m以上4m未満 - -				
	標準単価					
	K)機械構成比		9.76%			
	R)労務構成比		81.50%			
	Z)材料構成比		8.74%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	バックホウ賃料(ｸﾏﾗ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・ ~ 2014	供用日	8.18%			K1
	振動ローラ賃料 ﾊﾞﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式 0.5~0.6ｾ ~ 低音	供用日	1.48%			K2

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	単位	構 成 比 (%)	東 京 単 価	地 区 単 価	備 考
	タンバ(ランマ)賃料 60～80kg	供用日	0.10%			K3
	普通作業員	人	39.69%			R1
	特殊作業員	人	26.02%			R2
	運転手(特殊)	人	15.79%			R3
	軽油 一般	L	8.61%			Z1
	ガソリン レギュラー 無鉛	L	0.13%			Z2
	単 価	m3				
	*** S 単 - 15号 ***					
	SP 埋戻し	m3			1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 埋戻し 上記以外(小規模),土砂,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)施工方法 2)土質 3)締固めの有無		上記以外(小規模) 土砂 -			
	標準単価 K)機械構成比		9.48%			
	R)労務構成比		86.47%			
	Z)材料構成比		4.05%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	バックホウ(加-ラ型)(後方超小旋回型) 山積0.28m3(平積0.2m3) 排対型(2)	供用日	8.90%			K1
	ランマ 60～80kg	供用日	0.58%			K2
	普通作業員	人	49.42%			R1
	特殊作業員	人	19.17%			R2
	運転手(特殊)	人	17.88%			R3
	軽油 一般	L	3.20%			Z1 材変
	ガソリン レギュラー 無鉛	L	0.85%			Z2 材変
	単 価	m3				
	*** S 単 - 17号 ***					
	SP 基礎砕石	m ²			1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基礎砕石 12.5cm超え17.5cm以下,-,施工費のみ			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)砕石の厚さ 2)砕石の種類 3)施工区分		12.5cm超え17.5cm以下 - 施工費のみ			
	標準単価 K)機械構成比		5.27%			
	R)労務構成比		73.08%			
	Z)材料構成比		21.65%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	バックホウ賃料(加-ラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ～超低・～2014	供用日	5.24%			K1
	普通作業員	人	35.03%			R1
	特殊作業員	人	14.83%			R2
	運転手(特殊)	人	13.97%			R3
	土木一般世話役	人	8.75%			R4
	軽油 一般	L	4.73%			Z2
	単 価	m ²				

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	単位	構 成 比 (%)	東 京 単 価	地 区 単 価	備 考
	*** S 単 - 18号 ***					
	SP 基礎砕石	m ²			1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 基礎砕石 27.5cm 超え 30.0cm 以下, -, 施工費のみ			冬期補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 補正なし	基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	
	1) 砕石の厚さ 2) 砕石の種類 3) 施工区分	27.5cm 超え 30.0cm 以下 - 施工費のみ				
	標準単価 K) 機械構成比 R) 労務構成比 Z) 材料構成比 A) 市場単価構成比		4.94% 68.45% 26.61% 0.00%			
	バックホウ賃料(加-型) 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) ~ 超低・ ~ 2014	供用日	4.91%			K1
	普通作業員	人	32.81%			R1
	特殊作業員	人	13.88%			R2
	運転手(特殊)	人	13.10%			R3
	土木一般世話役	人	8.19%			R4
	軽油 一般	L	4.43%			Z2
	単 価	m ²				
	*** S 単 - 19号 ***					
	SP 基礎砕石	m ²			1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 基礎砕石 7.5cm 以下, -, 施工費のみ			冬期補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 補正なし	基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	
	1) 砕石の厚さ 2) 砕石の種類 3) 施工区分	7.5cm 以下 - 施工費のみ				
	標準単価 K) 機械構成比 R) 労務構成比 Z) 材料構成比 A) 市場単価構成比		5.94% 82.36% 11.70% 0.00%			
	バックホウ賃料(加-型) 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) ~ 超低・ ~ 2014	供用日	5.90%			K1
	普通作業員	人	39.47%			R1
	特殊作業員	人	16.71%			R2
	運転手(特殊)	人	15.75%			R3
	土木一般世話役	人	9.86%			R4
	軽油 一般	L	5.33%			Z2
	単 価	m ²				
	*** S 単 - 20号 ***					
	SP 基礎砕石	m ²			1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 基礎砕石 17.5cm 超え 20.0cm 以下, -, 施工費のみ			冬期補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 補正なし	基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	
	1) 砕石の厚さ 2) 砕石の種類 3) 施工区分	17.5cm 超え 20.0cm 以下 - 施工費のみ				
	標準単価 K) 機械構成比 R) 労務構成比 Z) 材料構成比 A) 市場単価構成比		4.99% 69.17% 25.84% 0.00%			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	単位	構 成 比 (%)	東 京 単 価	地 区 単 価	備 考
	バックホウ賃料(加-ラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) ~ 超低・ ~ 2014	供用日	4.96%			K1
	普通作業員	人	33.14%			R1
	特殊作業員	人	14.04%			R2
	運転手(特殊)	人	13.23%			R3
	土木一般世話役	人	8.28%			R4
	軽油 一般	L	4.48%			Z2
	単 価	m ²				
	*** S 単 - 21号 ***					
	SP 現場発生品及び支給品運搬	ton			1.000 ton	歩A 当たり算出
	SP 現場発生品及び支給品運搬 ル-ン装置付4~4.5t級2.9t吊,無し,8.5km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)トラック機種 2)DID区間の有無 3)片道運搬距離(km)		ル-ン装置付4~4.5t級2.9t吊 無し 8.5km以下			
	標準単価					
	K)機械構成比		17.08%			
	R)労務構成比		79.03%			
	Z)材料構成比		3.89%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	トラック ル-ン装置付 4~4.5 t 積 2.9 t 吊	供用日	17.08%			K1
	運転手(特殊)	人	40.25%			R1
	特殊作業員	人	38.78%			R2
	軽油 一般	L	3.89%			Z1
	単 価	回				
	*** S 単 - 22号 ***					
	SP 舗装版破砕	m ²			1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 舗装版破砕 アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)舗装版種別 2)障害等の有無 3)騒音振動対策 4)舗装版厚 5)Co+As(加-)舗装によるアスファルト舗装 6)積込作業の有無		アスファルト舗装版 無し 不要 15cm以下 - 有り			
	標準単価					
	K)機械構成比		13.49%			
	R)労務構成比		80.49%			
	Z)材料構成比		6.02%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	バックホウ賃料(加-ラ型・後方超小旋回型) 山積0.45m3(平積0.35m3) ~ 超低・ ~ 3次	供用日	13.49%			K1
	土木一般世話役	人	28.91%			R1
	運転手(特殊)	人	27.69%			R2
	普通作業員	人	23.89%			R3
	軽油 一般	L	6.02%			Z1
	単 価	m ²				
	*** S 単 - 23号 ***					
	SP 舗装版切断	m			1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 舗装版切断 アスファルト舗装版,15cm以下,-,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	単位	構 成 比 (%)	東 京 単 価	地 区 単 価	備 考
				週休:補正なし		
	1)舗装版種別 2)アスファルト舗装版厚 3)コンクリート舗装版厚 4)コンクリート+アスファルト(加バ-)舗装版の全体		アスファルト舗装版 15cm以下 - -			
	標準単価					
	K)機械構成比		15.42%			
	R)労務構成比		57.13%			
	Z)材料構成比		27.45%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	コンクリートカッター(超低騒音型) バキューム式・湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm	供用日	10.49%			K1
	特殊作業員	人	19.60%			R1
	土木一般世話役	人	10.55%			R2
	普通作業員	人	8.73%			R3
	コンクリートカッターブレード 径45cm(18インチ)	枚	23.29%			Z1
	ガソリン レギュラー 無鉛	L	2.83%			Z2
	単 価	m				
	*** S 単 - 24号 ***					
	SP 殻運搬	m3			1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,3.3km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)DID区間の有無 4)運搬距離(km)		コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 無し 3.3km以下			
	標準単価					
	K)機械構成比		41.69%			
	R)労務構成比		43.88%			
	Z)材料構成比		14.43%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	ダンプトラック ワイド・ディーゼル 10 t 積級	供用日	41.69%			K1
	運転手(一般)	人	43.88%			R1
	軽油 一般	L	14.43%			Z1
	単 価	m3				
	*** S 単 - 25号 ***					
	SP 殻運搬	m3			1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 舗装版破碎,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,3.5km以下			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
				週休:補正なし		
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)DID区間の有無 4)運搬距離(km)		舗装版破碎 機械積込(舗装版厚15cm以下) 無し 3.5km以下			
	標準単価					
	K)機械構成比		44.95%			
	R)労務構成比		38.97%			
	Z)材料構成比		16.08%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	ダンプトラック ワイド・ディーゼル 10 t 積級	供用日	44.95%			K1
	運転手(一般)	人	38.97%			R1
	軽油 一般	L	16.08%			Z1
	単 価	m3				
	*** S 単 - 35号 ***					

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	単位	構 成 比 (%)	東 京 単 価	地 区 単 価	備 考
	SP ヒューム管 (B 形管)	m			1.000 m	歩 A 当たり算出
	SP ヒューム管 (B 形管) 撤去, 300mm, -, -, -			冬期補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 補正なし	基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	
	1) 作業区分 2) 管径 3) 規格 4) 固定基礎 5) 基礎碎石の有無	撤去 300mm - - -				
	標準単価					
	K) 機械構成比		7.52%			
	R) 労務構成比		87.66%			
	Z) 材料構成比		4.82%			
	A) 市場単価構成比		0.00%			
	バックホウ賃料 (加-ラ型・クルン機能付・後方超小旋回型) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) 2.9 t 吊 ~ 超低・ ~ 2014	供用日	6.72%			K1
	普通作業員	人	36.17%			R1
	運転手 (特殊)	人	18.60%			R2
	土木一般世話役	人	14.55%			R3
	特殊作業員	人	8.96%			R4
	軽油 一般	L	4.31%			Z1
	単 価	m				
	*** S 単 - 37号 ***					
	SP 不陸整正	m ²			1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 不陸整正 無し, -			冬期補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 補正なし	基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	
	1) 補足材料の有無 2) 補足材料平均厚さ 標準単価	無し - -				
	K) 機械構成比		23.12%			
	R) 労務構成比		68.86%			
	Z) 材料構成比		8.02%			
	A) 市場単価構成比		0.00%			
	モータグレーダ 土工用 ブレード 幅 3.1m 排対型 (2)	供用日	11.29%			K1
	ロードローラ マダ ム 10 t 締固め幅 2.1m 排対型 (2)	供用日	8.94%			K2
	タイヤローラ賃料 8 ~ 20 t ~ 超低・ ~ 2011	供用日	2.89%			K3
	運転手 (特殊)	人	44.09%			R1
	特殊作業員	人	12.86%			R2
	普通作業員	人	9.59%			R3
	土木一般世話役	人	2.32%			R4
	軽油 一般	L	8.02%			Z1
	単 価	m ²				
	*** S 単 - 38号 ***					
	SP 下層路盤 (車道・路肩部) 凍上抑制層	m ²			1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 下層路盤 (車道・路肩部) 凍上抑制層 770mm, 4層施工, -			冬期補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 補正なし	基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	
	1) 全仕上り厚 (t) 2) 施工区分 3) 工種区分 4) 材料種別 5) 計上区分	770mm 4層施工 凍上抑制層 - 施工費のみ				
	標準単価					
	K) 機械構成比		4.41%			

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	単位	構 成 比 (%)	東 京 単 価	地 区 単 価	備 考
	R)労務構成比		14.75%			
	Z)材料構成比		80.84%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	モータグレーダ 土工用 ブレード幅3.1m 排対型(2)	供用日	1.77%			K1
	ロードローラ 7t 10 t 締固め幅2.1m 排対型(2)	供用日	1.40%			K2
	タイヤローラ賃料 8～20 t ～超低・～2011	供用日	0.45%			K3
	運転手(特殊)	人	6.90%			R1
	特殊作業員	人	2.29%			R2
	普通作業員	人	2.23%			R3
	土木一般世話役	人	0.67%			R4
	軽油 一般	L	1.25%			Z2
	単 価	m ²				
	*** S 単 - 39号 ***					
	SP 下層路盤(車道・路肩部) 凍上抑制層	m ²			1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤(車道・路肩部) 凍上抑制層 730mm,4層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t)	730mm				
	2)施工区分	4層施工				
	3)工種区分	凍上抑制層				
	4)材料種別	-				
	5)計上区分	施工費のみ				
	標準単価					
	K)機械構成比		4.41%			
	R)労務構成比		14.75%			
	Z)材料構成比		80.84%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	モータグレーダ 土工用 ブレード幅3.1m 排対型(2)	供用日	1.77%			K1
	ロードローラ 7t 10 t 締固め幅2.1m 排対型(2)	供用日	1.40%			K2
	タイヤローラ賃料 8～20 t ～超低・～2011	供用日	0.45%			K3
	運転手(特殊)	人	6.90%			R1
	特殊作業員	人	2.29%			R2
	普通作業員	人	2.23%			R3
	土木一般世話役	人	0.67%			R4
	軽油 一般	L	1.25%			Z2
	単 価	m ²				
	*** S 単 - 40号 ***					
	SP 下層路盤(車道・路肩部) 下層路盤	m ²			1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤(車道・路肩部) 下層路盤 150mm,1層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t)	150mm				
	2)施工区分	1層施工				
	3)工種区分	下層路盤				
	4)材料種別	-				
	5)計上区分	施工費のみ				
	標準単価					
	K)機械構成比		4.67%			
	R)労務構成比		15.69%			
	Z)材料構成比		79.64%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	モータグレーダ 土工用 ブレード幅3.1m 排対型(2)	供用日	1.87%			K1

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	単位	構 成 比 (%)	東 京 単 価	地 区 単 価	備 考
	ロードローラ マダ 10 t 締固め幅2.1m 排対型(2)	供用日	1.48%			K2
	タイヤローラ賃料 8～20 t ～超低・～2011	供用日	0.48%			K3
	運転手(特殊)	人	7.32%			R1
	特殊作業員	人	2.44%			R2
	普通作業員	人	2.38%			R3
	土木一般世話役	人	0.72%			R4
	軽油 一般	L	1.33%			Z2
	単 価	m ²				
	*** S 単 - 41号 ***					
	SP 下層路盤(車道・路肩部) 凍上抑制層	m ²			1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤(車道・路肩部) 凍上抑制層 270mm,2層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t)	270mm				
	2)施工区分	2層施工				
	3)工種区分	凍上抑制層				
	4)材料種別	-				
	5)計上区分	施工費のみ				
	標準単価					
	K)機械構成比		5.39%			
	R)労務構成比		18.06%			
	Z)材料構成比		76.55%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	モータグレーダ 土工用 ブレード幅3.1m 排対型(2)	供用日	2.16%			K1
	ロードローラ マダ 10 t 締固め幅2.1m 排対型(2)	供用日	1.71%			K2
	タイヤローラ賃料 8～20 t ～超低・～2011	供用日	0.55%			K3
	運転手(特殊)	人	8.45%			R1
	特殊作業員	人	2.80%			R2
	普通作業員	人	2.73%			R3
	土木一般世話役	人	0.82%			R4
	軽油 一般	L	1.54%			Z2
	単 価	m ²				
	*** S 単 - 42号 ***					
	SP 下層路盤(車道・路肩部) 下層路盤	m ²			1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤(車道・路肩部) 下層路盤 200mm,1層施工,切込砂利40mm級			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t)	200mm				
	2)施工区分	1層施工				
	3)工種区分	下層路盤				
	4)材料種別	切込砂利40mm級				
	5)計上区分	材料費+施工費				
	標準単価					
	K)機械構成比		4.67%			
	R)労務構成比		15.69%			
	Z)材料構成比		79.64%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	モータグレーダ 土工用 ブレード幅3.1m 排対型(2)	供用日	1.87%			K1
	ロードローラ マダ 10 t 締固め幅2.1m 排対型(2)	供用日	1.48%			K2
	タイヤローラ賃料 8～20 t ～超低・～2011	供用日	0.48%			K3
	運転手(特殊)	人	7.32%			R1

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	単位	構 成 比 (%)	東 京 単 価	地 区 単 価	備 考
	特殊作業員	人	2.44%			R2
	普通作業員	人	2.38%			R3
	土木一般世話役	人	0.72%			R4
	切込砂利 φ40mm級	m3	78.02%			Z1 材変
	軽油 一般	L	1.33%			Z2
	単 価	m ²				
	*** S 単 - 43号 ***					
	SP 下層路盤（歩道部）下層路盤	m ²			1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（歩道部）下層路盤 90mm,1層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t)	90mm				
	2)施工区分	1層施工				
	3)工種区分	下層路盤				
	4)材料種別	-				
	5)計上区分	施工費のみ				
	標準単価					
	K)機械構成比		5.62%			
	R)労務構成比		72.88%			
	Z)材料構成比		21.50%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	小型バックホウ賃料(ｸﾏﾗ型) 山積0.11m3(平積0.08m3) ～超低・～3次	供用日	2.91%			K1
	振動ローラ賃料 搭乗・ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ式 3～4ｾﾝﾄ 超低・～3次	供用日	2.55%			K2
	普通作業員	人	30.50%			R1
	運転手(特殊)	人	26.32%			R2
	特殊作業員	人	13.94%			R3
	軽油 一般	L	2.03%			Z2
	単 価	m ²				
	*** S 単 - 44号 ***					
	SP 下層路盤（歩道部）下層路盤	m ²			1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 下層路盤（歩道部）下層路盤 50mm,1層施工,-			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)全仕上り厚(t)	50mm				
	2)施工区分	1層施工				
	3)工種区分	下層路盤				
	4)材料種別	-				
	5)計上区分	施工費のみ				
	標準単価					
	K)機械構成比		5.62%			
	R)労務構成比		72.88%			
	Z)材料構成比		21.50%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	小型バックホウ賃料(ｸﾏﾗ型) 山積0.11m3(平積0.08m3) ～超低・～3次	供用日	2.91%			K1
	振動ローラ賃料 搭乗・ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ式 3～4ｾﾝﾄ 超低・～3次	供用日	2.55%			K2
	普通作業員	人	30.50%			R1
	運転手(特殊)	人	26.32%			R2
	特殊作業員	人	13.94%			R3
	軽油 一般	L	2.03%			Z2
	単 価	m ²				

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	単位	構 成 比 (%)	東 京 単 価	地 区 単 価	備 考
	*** S 単 - 45号 ***					
	SP 上層路盤 (車道・路肩部)	m ²			1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 上層路盤 (車道・路肩部) 再生アスファルト安定処理(混入率50%),50mm,1.4m以上3.0m以下,プライムコート (PK-3)			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)材料種別 2)平均幅員 3)平均仕上り厚さ(t) 4)瀝青材料種別 標準単価		再生アスファルト安定処理(混入率50%) 1.4m以上3.0m以下 50mm プライムコート (PK-3)			
	K)機械構成比		1.13%			
	R)労務構成比		9.90%			
	Z)材料構成比		88.97%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	アスファルトフィニッシュ賃料 1L型 舗装幅1.4~3.0m ~低音・~2014	供用日	0.73%			K1
	振動ローラ賃料 搭乗・コバインド式 3~4t ~超低・~3次	供用日	0.14%			K2
	タイヤローラ賃料 3~4t ~超低・~3次	供用日	0.13%			K3
	普通作業員	人	3.36%			R1
	運転手(特殊)	人	2.34%			R2
	特殊作業員	人	2.25%			R3
	土木一般世話役	人	0.81%			R4
	アスファルト安定処理 再生(混入率50%)	ton	84.01%			Z1 材変
	アスファルト乳剤 散布用 PK-3 プライムコート用 JIS-K2208	L	4.75%			Z2
	軽油 一般	L	0.19%			Z3
	単 価	m ²				
	*** S 単 - 46号 ***					
	SP 上層路盤 (車道・路肩部)	m ²			1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 上層路盤 (車道・路肩部) 再生アスファルト安定処理(混入率50%),50mm,3.0m超,プライムコート (PK-3)			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)材料種別 2)平均幅員 3)平均仕上り厚さ(t) 4)瀝青材料種別 標準単価		再生アスファルト安定処理(混入率50%) 3.0m超 50mm プライムコート (PK-3)			
	K)機械構成比		0.93%			
	R)労務構成比		6.59%			
	Z)材料構成比		92.48%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	アスファルトフィニッシュ賃料 1L型 舗装幅2.3~6.0m ~超低・~2014	供用日	0.60%			K1
	タイヤローラ賃料 8~20t ~超低・~2011	供用日	0.09%			K2
	ロードローラ賃料 マダ 10~12t ~超低・~2次	供用日	0.09%			K3
	普通作業員	人	2.36%			R1
	運転手(特殊)	人	1.35%			R2
	特殊作業員	人	1.31%			R3
	土木一般世話役	人	0.47%			R4
	アスファルト安定処理 再生(混入率50%)	ton	87.17%			Z1 材変
	アスファルト乳剤 散布用 PK-3 プライムコート用 JIS-K2208	L	4.92%			Z2
	軽油 一般	L	0.33%			Z3
	単 価	m ²				
	*** S 単 - 47号 ***					

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	単位	構 成 比 (%)	東 京 単 価	地 区 単 価	備 考
	SP 基層 (車道・路肩部)	m ²			1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基層 (車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),タックコート PK-4,40.0mm,再生合材(混入率 50%),粗粒度アスコン			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚		1.4m以上3.0m以下 40.0mm			
	3)材料 4)瀝青材料種類		各種(2.30以上2.40t/m3未満) タックコート PK-4			
	5)材料区分 6)材料種別		再生合材(混入率 50%) 粗粒度アスコン			
	標準単価					
	K)機械構成比		1.99%			
	R)労務構成比		17.29%			
	Z)材料構成比		80.72%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	アスファルトフィニッシュ賃料 柵-Ⅱ型 舗装幅1.4～3.0m ～低音・～2014	供用日	1.27%			K1
	振動ローラ賃料 搭乗・コバ イド 式 3～4 t ～超低・～3次	供用日	0.26%			K2
	タイヤローラ賃料 3～4 t ～超低・～3次	供用日	0.23%			K3
	普通作業員	人	5.87%			R1
	運転手(特殊)	人	4.08%			R2
	特殊作業員	人	3.93%			R3
	土木一般世話役	人	1.42%			R4
	粗粒度アスコン 再生(混入率50%)	ton	77.52%			Z1 材変
	アスファルト乳剤 散布用 PK-4 タックコート用 JIS-K2208	L	2.82%			Z2
	軽油 一般	L	0.34%			Z3
	単 価	m ²				
	*** S 単 - 48号 ***					
	SP 表層 (車道・路肩部)	m ²			1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 表層 (車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),タックコート PK-4,30.0mm,再生合材(混入率 50%),密粒度アスコン			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚		1.4m以上3.0m以下 30.0mm			
	3)材料 4)瀝青材料種類		各種(2.30以上2.40t/m3未満) タックコート PK-4			
	5)材料区分 6)材料種別		再生合材(混入率 50%) 密粒度アスコン			
	標準単価					
	K)機械構成比		1.68%			
	R)労務構成比		14.64%			
	Z)材料構成比		83.68%			
	A)市場単価構成比		0.00%			
	アスファルトフィニッシュ賃料 柵-Ⅱ型 舗装幅1.4～3.0m ～低音・～2014	供用日	1.07%			K1
	振動ローラ賃料 搭乗・コバ イド 式 3～4 t ～超低・～3次	供用日	0.22%			K2
	タイヤローラ賃料 3～4 t ～超低・～3次	供用日	0.20%			K3
	普通作業員	人	4.97%			R1
	運転手(特殊)	人	3.46%			R2
	特殊作業員	人	3.33%			R3
	土木一般世話役	人	1.20%			R4
	密粒度アスコン 再生(混入率50%)	ton	80.97%			Z1 材変
	アスファルト乳剤 散布用 PK-4 タックコート用 JIS-K2208	L	2.39%			Z2
	軽油 一般	L	0.29%			Z3
	単 価	m ²				

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称	単位	構 成 比 (%)	東 京 単 価	地 区 単 価	備 考
	*** S単 - 49号 ***					
	SP 表層(車道・路肩部)	m ²			1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 表層(車道・路肩部) 1.4m以上3.0m以下,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾞﾗｲﾄﾞｰﾄ PK-3,30.0mm,再生合材(混入率 50%),密粒度ｱｽｺﾝ			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚 3)材料 4)瀝青材料種類 5)材料区分 6)材料種別 標準単価 K)機械構成比 R)労務構成比 Z)材料構成比 A)市場単価構成比		1.4m以上3.0m以下 30.0mm 各種(2.30以上2.40t/m3未満) ﾌﾞﾗｲﾄﾞｰﾄ PK-3 再生合材(混入率 50%) 密粒度ｱｽｺﾝ 1.61% 13.99% 84.40% 0.00%			
	アスファルトフィニッシュ賃料 ｽﾚｰﾙ型 舗装幅1.4～3.0m ～低～ ～2014	供用日	1.03%			K1
	振動ローラ賃料 搭乗ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ式 3～4ｾﾝﾄﾈｰﾙ ～超低～ ～3次	供用日	0.21%			K2
	タイヤローラ賃料 3～4ｾﾝﾄﾈｰﾙ ～超低～ ～3次	供用日	0.19%			K3
	普通作業員	人	4.75%			R1
	運転手(特殊)	人	3.30%			R2
	特殊作業員	人	3.18%			R3
	土木一般世話役	人	1.15%			R4
	密粒度アスコン 再生(混入率50%)	ton	77.40%			Z1 材変
	アスファルト乳剤 散布用 PK-3 ﾌﾞﾗｲﾄﾞｰﾄ用 JIS-K2208	L	6.70%			Z2
	軽油 一般	L	0.27%			Z3
	単 価	m ²				
	*** S単 - 50号 ***					
	SP 表層(車道・路肩部)	m ²			1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 表層(車道・路肩部) 3.0m超,各種(2.20以上2.30t/m3未満),ﾌﾞﾗｲﾄﾞｰﾄ PK-3,30.0mm,再生合材(混入率 50%),細粒度ｱｽｺﾝ			冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚 3)材料 4)瀝青材料種類 5)材料区分 6)材料種別 標準単価 K)機械構成比 R)労務構成比 Z)材料構成比 A)市場単価構成比		3.0m超 30.0mm 各種(2.20以上2.30t/m3未満) ﾌﾞﾗｲﾄﾞｰﾄ PK-3 再生合材(混入率 50%) 細粒度ｱｽｺﾝ 1.41% 9.80% 88.79% 0.00%			
	アスファルトフィニッシュ賃料 ｽﾚｰﾙ型 舗装幅2.3～6.0m ～超低～ ～2014	供用日	0.90%			K1
	タイヤローラ賃料 8～20ｾﾝﾄﾈｰﾙ ～超低～ ～2011	供用日	0.14%			K2
	ロードローラ賃料 ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ 10～12ｾﾝﾄﾈｰﾙ ～超低～ ～2次	供用日	0.14%			K3
	普通作業員	人	3.51%			R1
	運転手(特殊)	人	2.01%			R2
	特殊作業員	人	1.95%			R3
	土木一般世話役	人	0.70%			R4
	細粒度アスコン 再生(混入率50%) 車道用	ton	80.89%			Z1 材変
	アスファルト乳剤 散布用 PK-3 ﾌﾞﾗｲﾄﾞｰﾄ用 JIS-K2208	L	7.32%			Z2
	軽油 一般	L	0.49%			Z3
	単 価	m ²				

S3120102

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** T単 - 1号 ***					
	RC管1種φ450 砂利基礎		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	鉄筋コンクリート管(1種) 設置 450mm	10.000	m			S単 33号
	基礎材 再生骨材40mm t=15cm	6.500	m ²			C単 2号 算出数量 10.000 m
	合 計					
	単 価		m			
	*** T単 - 2号 ***					
	RC管2種φ450 砂利基礎		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	鉄筋コンクリート管(2種) 設置 450mm	10.000	m			S単 34号
	基礎材 再生骨材40mm t=33cm	8.000	m ²			C単 1号 算出数量 10.000 m
	合 計					
	単 価		m			
	*** T単 - 3号 ***					
	塩化ビニル管(φ200)		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	排水用薄肉直管(有孔・無孔) 径200mm 厚4.5mm 長4000mm 井戸形管製 受口付	10.000	m			算出数量 10.000 m
	合 計					
	単 価		m			
	*** T単 - 4号 ***					
	-A下部樹 グレーチング 樹		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	雨水樹 型A下部 840×840×1000mm,0%	1.000	個			S単 27号
	雨水樹蓋 型A下部用 グレーチング T-25 710×710×71mm,0%	1.000	枚			S単 28号
	基礎材 再生骨材80mm t=20cm	0.980	m ²			C単 3号 算出数量 1.000 箇所
	合 計					
	単 価		箇所			
	*** T単 - 5号 ***					
	-A下部樹 コンクリート蓋		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	雨水樹 型A下部 840×840×1000mm,0%	1.000	個			S単 27号
	雨水樹蓋 型A用 コンクリート製 2枚/組,0%	1.000	組			S単 29号
	基礎材 再生骨材80mm t=20cm	1.080	m ²			C単 3号 算出数量 1.000 箇所
	合 計					
	単 価		箇所			
	*** T単 - 6号 ***					
	汚泥処分		m ³		1.000 m ³	歩A 当たり算出

事業名	手入力事業
工事名	農道改良工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	D=30.5km					
	産業廃棄物中間処理料金 汚泥 含水率85%以上 無機性汚泥【共通仮設費率対象外】	1.100	ton			
	産業廃棄物中間処理料金 循環税相当額 汚泥 含水率85%以上 無機性汚泥【共通仮設費率対象外】	1.100	ton			
	合 計					算出数量 1.000 m3
	単 価		m3			
	*** T単 - 7号 ***					
	凍上抑制層（車道部）		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	再生骨材80mm t=77cm					
	SP 下層路盤（車道・路肩部） 凍上抑制層 770mm,4層施工,-	1.000	m ²			S単 38号
	コンクリート再生骨材 80mm級	0.978	m3			
	SP 土砂等運搬 _ダンプトラック10t 積級 標準,ﾊﾞｯｸﾙ山積1.4m3(平積1.0m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.0km以 下	0.978	m3			S単 6号
	合 計					算出数量 1.000 m ²
	単 価		m ²			
	*** T単 - 8号 ***					
	凍上抑制層（車道部）		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	再生骨材80mm t=73cm					
	SP 下層路盤（車道・路肩部） 凍上抑制層 730mm,4層施工,-	1.000	m ²			S単 39号
	コンクリート再生骨材 80mm級	0.927	m3			
	SP 土砂等運搬 _ダンプトラック10t 積級 標準,ﾊﾞｯｸﾙ山積1.4m3(平積1.0m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.0km以 下	0.927	m3			S単 6号
	合 計					算出数量 1.000 m ²
	単 価		m ²			
	*** T単 - 9号 ***					
	下層路盤（車道・路肩部）		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	再生骨材40mm t=15cm					
	SP 下層路盤（車道・路肩部） 下層路盤 150mm,1層施工,-	1.000	m ²			S単 40号
	コンクリート再生骨材 40mm級	0.191	m3			
	SP 土砂等運搬 _ダンプトラック10t 積級 標準,ﾊﾞｯｸﾙ山積1.4m3(平積1.0m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.0km以 下	0.191	m3			S単 6号
	合 計					算出数量 1.000 m ²
	単 価		m ²			
	*** T単 - 10号 ***					
	装甲路肩路盤		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	再生骨材40mm t=9cm					
	SP 下層路盤（歩道部） 下層路盤 90mm,1層施工,-	1.000	m ²			S単 43号
	コンクリート再生骨材 40mm級	0.114	m3			
	SP 土砂等運搬 _ダンプトラック10t 積級 標準,ﾊﾞｯｸﾙ山積1.4m3(平積1.0m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,7.0km以 下	0.114	m3			S単 6号

S3120102

S3120102

S3120102

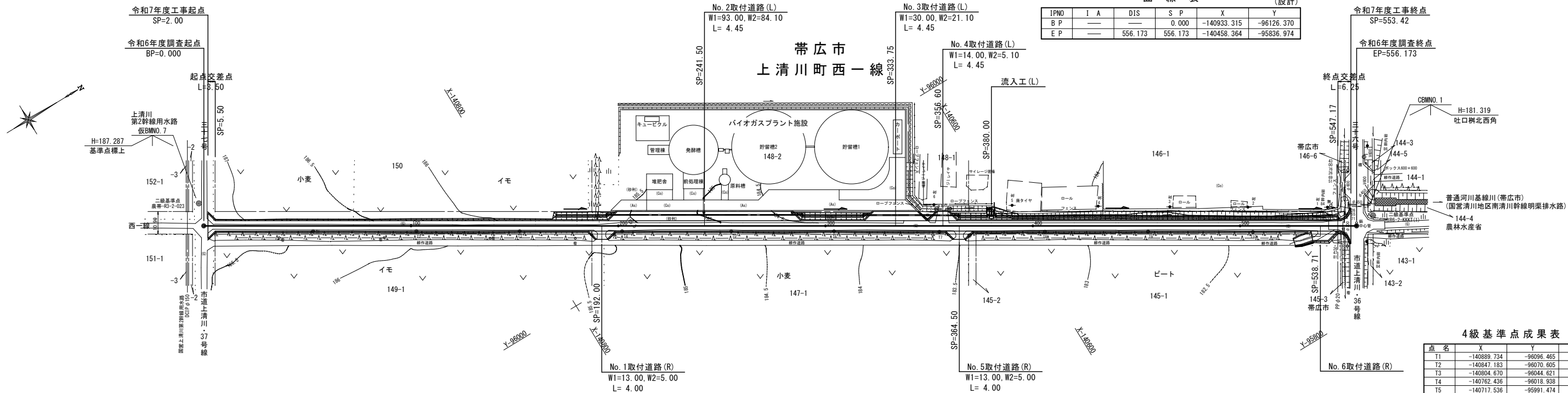
S3120102

S3120102

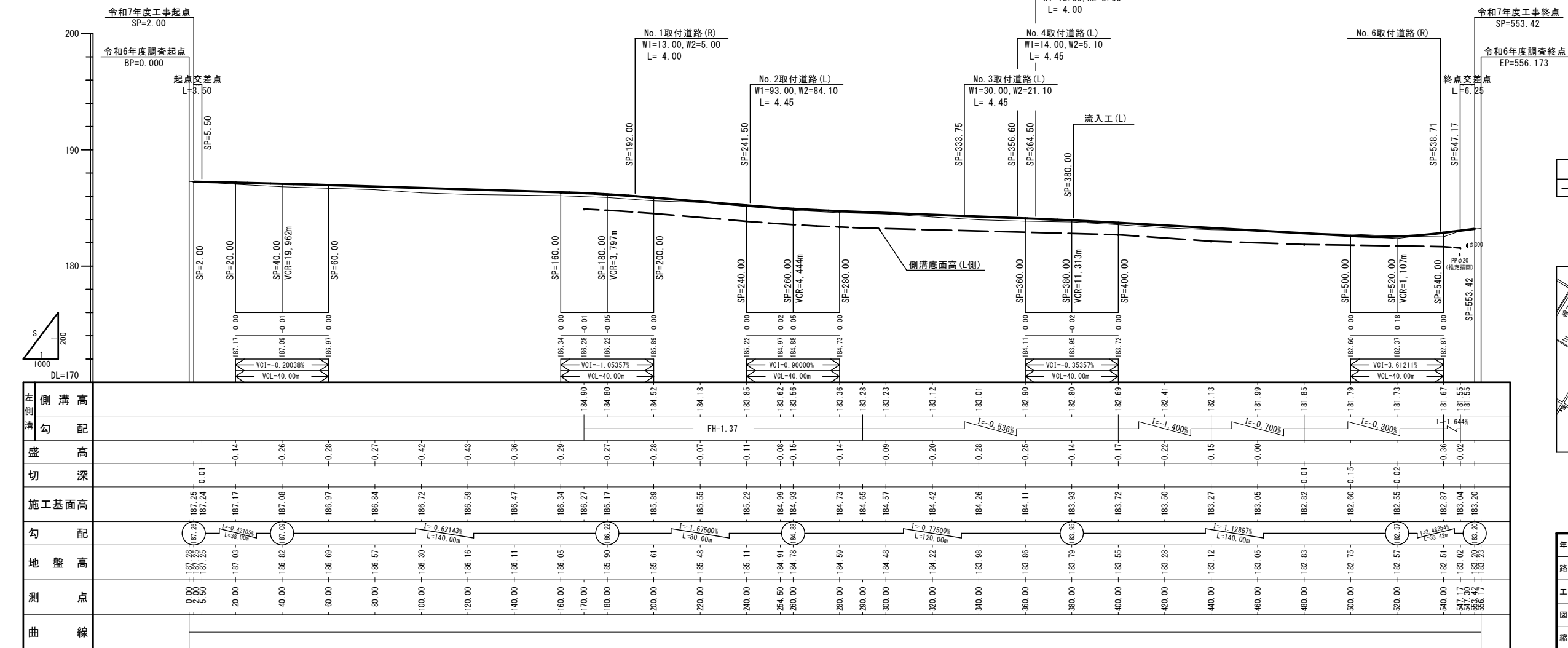
事業名	手入力事業	補正(ハ)条件一覧表 (1 / 1)
工事名	農道改良工事	

[illegible]

平面図
S=1:1,000



縦断面図



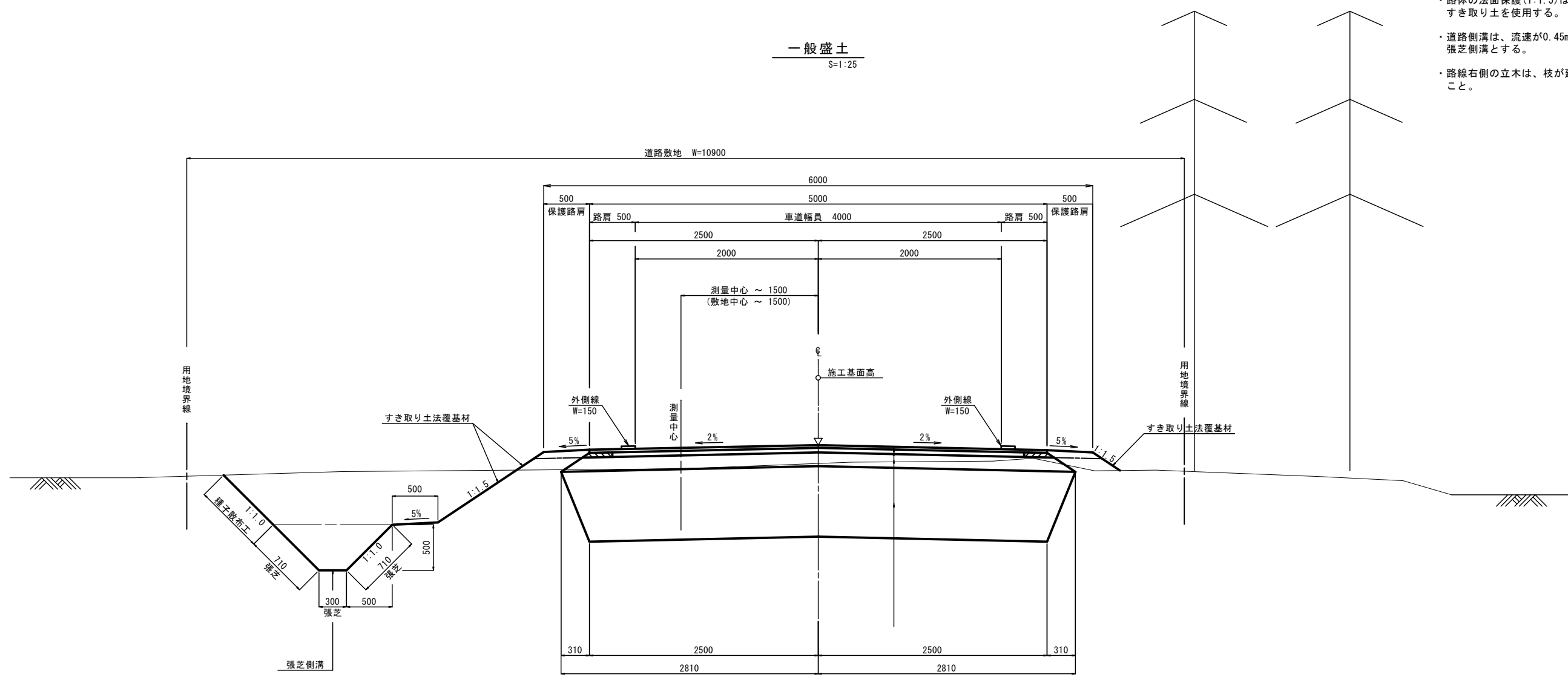
凡例	
—	左側側溝



年度	令和7年度
路線名	上清川町西1線36～37号
工事名	農道改良工事
図面名	縦断面図
縮尺	図示
図面番号	1 / 20
北海道 帯広市	

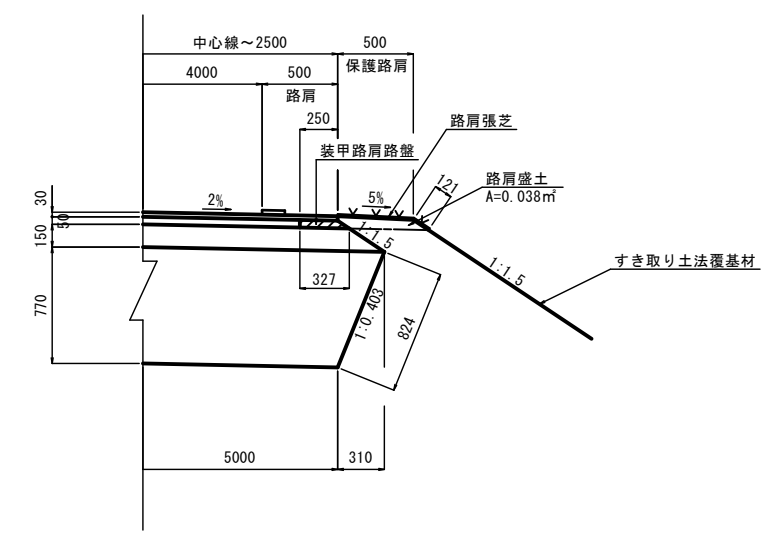
土工定規図

一般盛土
S=1:25



- 注意事項
- ・路体の法面保護(1:1.5)は、現場内により発生するすき取り土を使用する。
 - ・道路側溝は、流速が0.45m/S以上となるため、全区間張芝側溝とする。
 - ・路線右側の立木は、枝が建築限界に入るため留意すること。

路肩詳細図
S=1:25

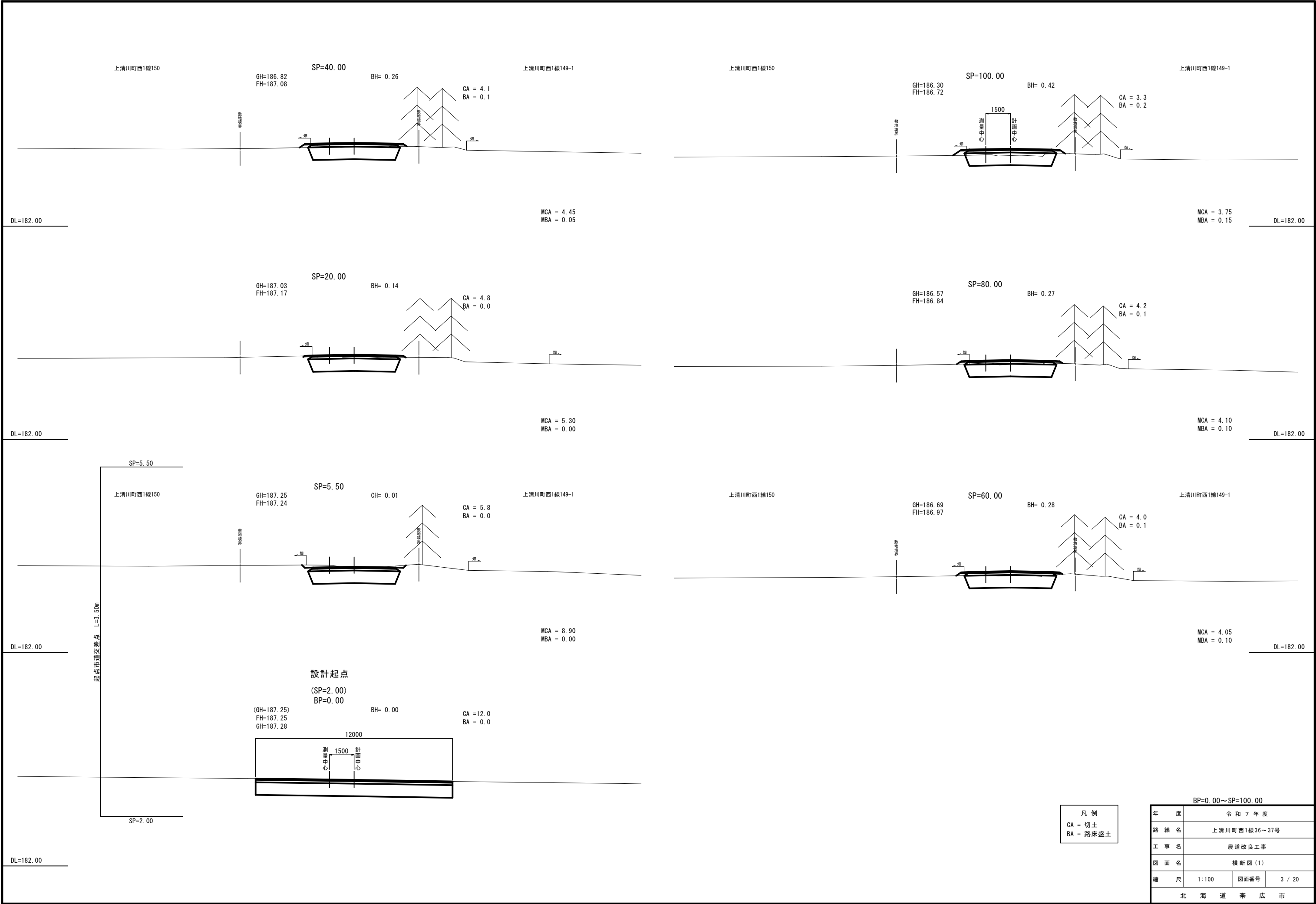


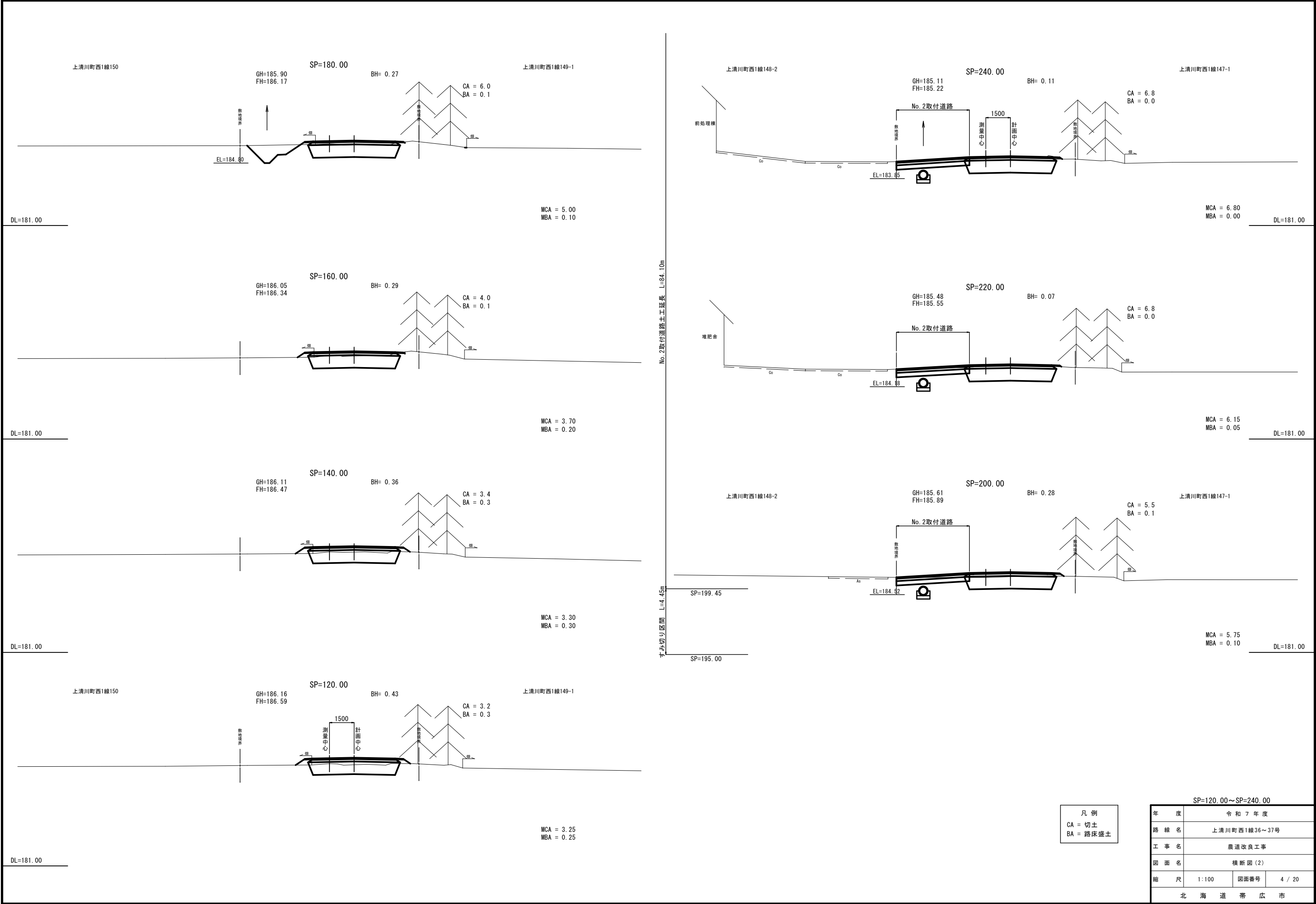
密粒度アスコン（再生合材50%）	t= 3cm
アスファルト安定処理（再生合材50%）	t= 5cm
下層路盤（再生骨材0~40mm級）	t= 15cm
凍上抑制層（再生骨材0~80mm級）	t= 77cm
Σ t=100cm	

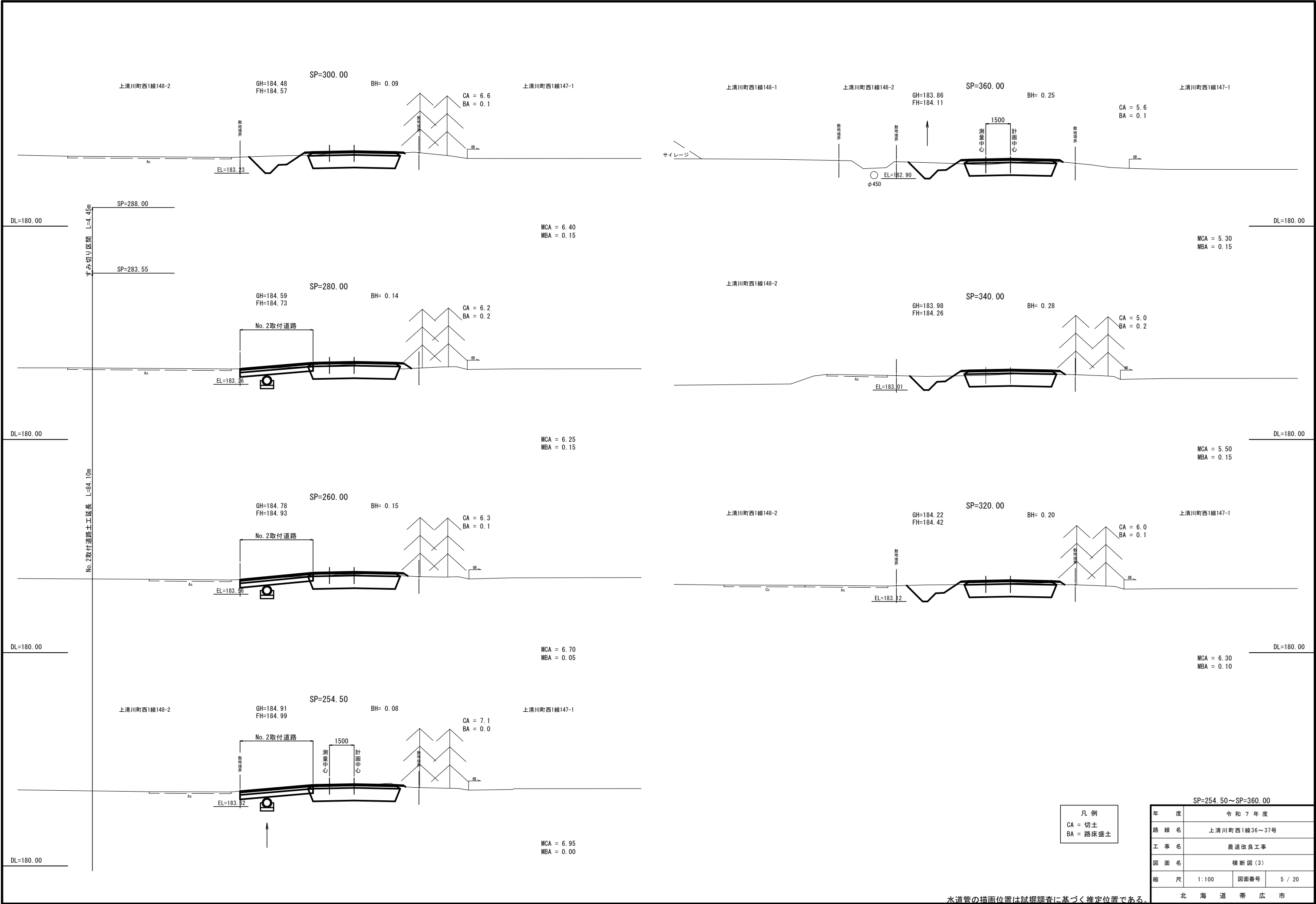
設計条件

道路区分	第3種第5級
設計速度	40km/h
設計幅員	0.50+4.00+0.50 = 5.00m
交通量の区分	I-2 (N2) 交通

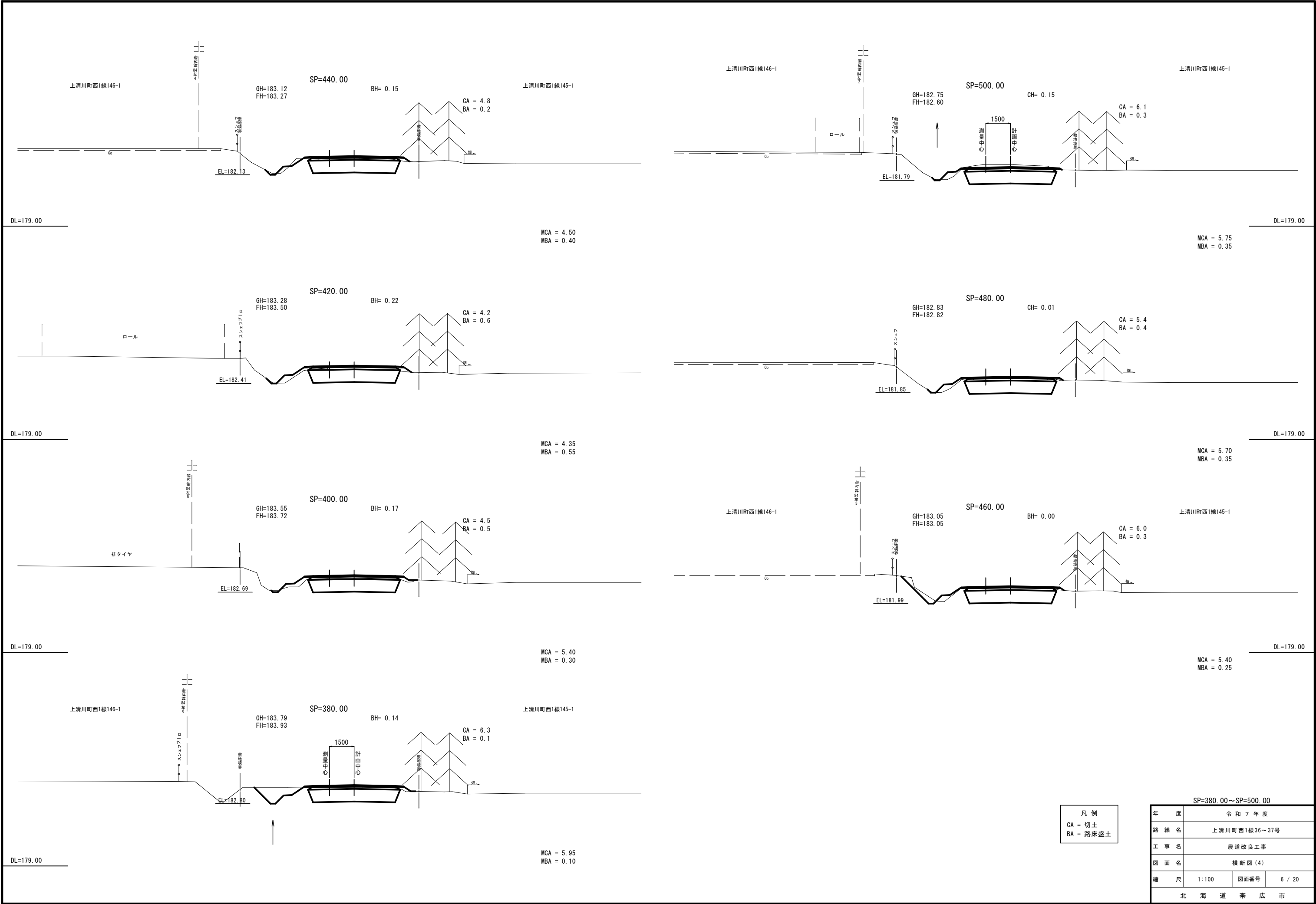
年 度	令和 7 年 度		
路 線 名	上清川町西1線36~37号		
工 事 名	農道改良工事		
図 面 名	土工定規図		
縮 尺	図 示	図面番号	2 / 20
北 海 道 帯 広 市			





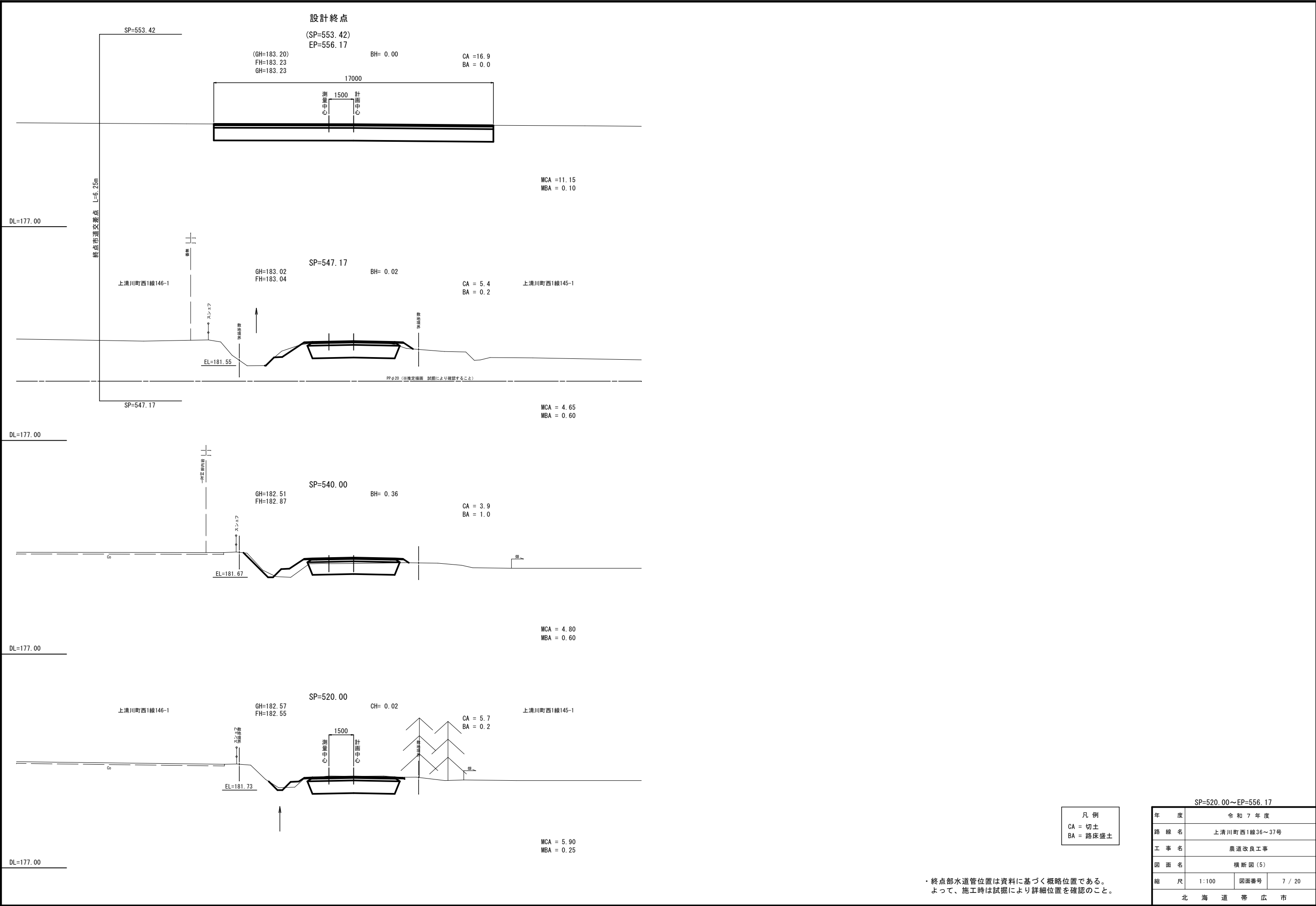


水道管の描画位置は試掘調査に基づく推定位置である。



凡例
CA = 切土
BA = 路床盛土

SP=380.00～SP=500.00			
年 度	令和 7 年 度		
路 線 名	上清川町西1線36～37号		
工 事 名	農道改良工事		
図 面 名	横断面図(4)		
縮 尺	1:100	図面番号	6 / 20
北 海 道 帯 広 市			

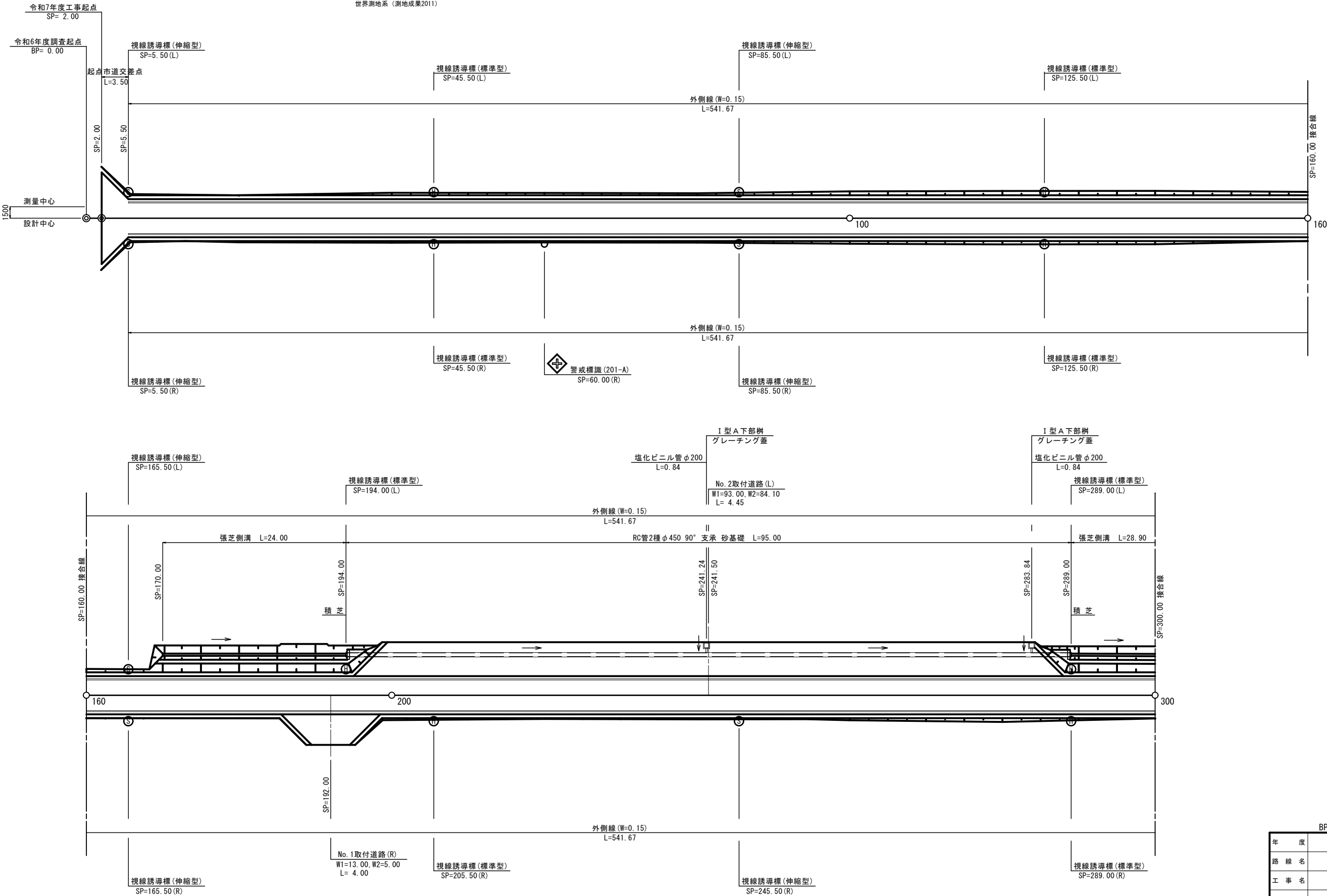


作工模式図(1)

S=1:250

曲線表 (設計)					
IPNO	I A	DIS	S P	X	Y
B P	—		0.000	-140933.315	-96126.370
E P	—	556.173	556.173	-140458.364	-95836.974

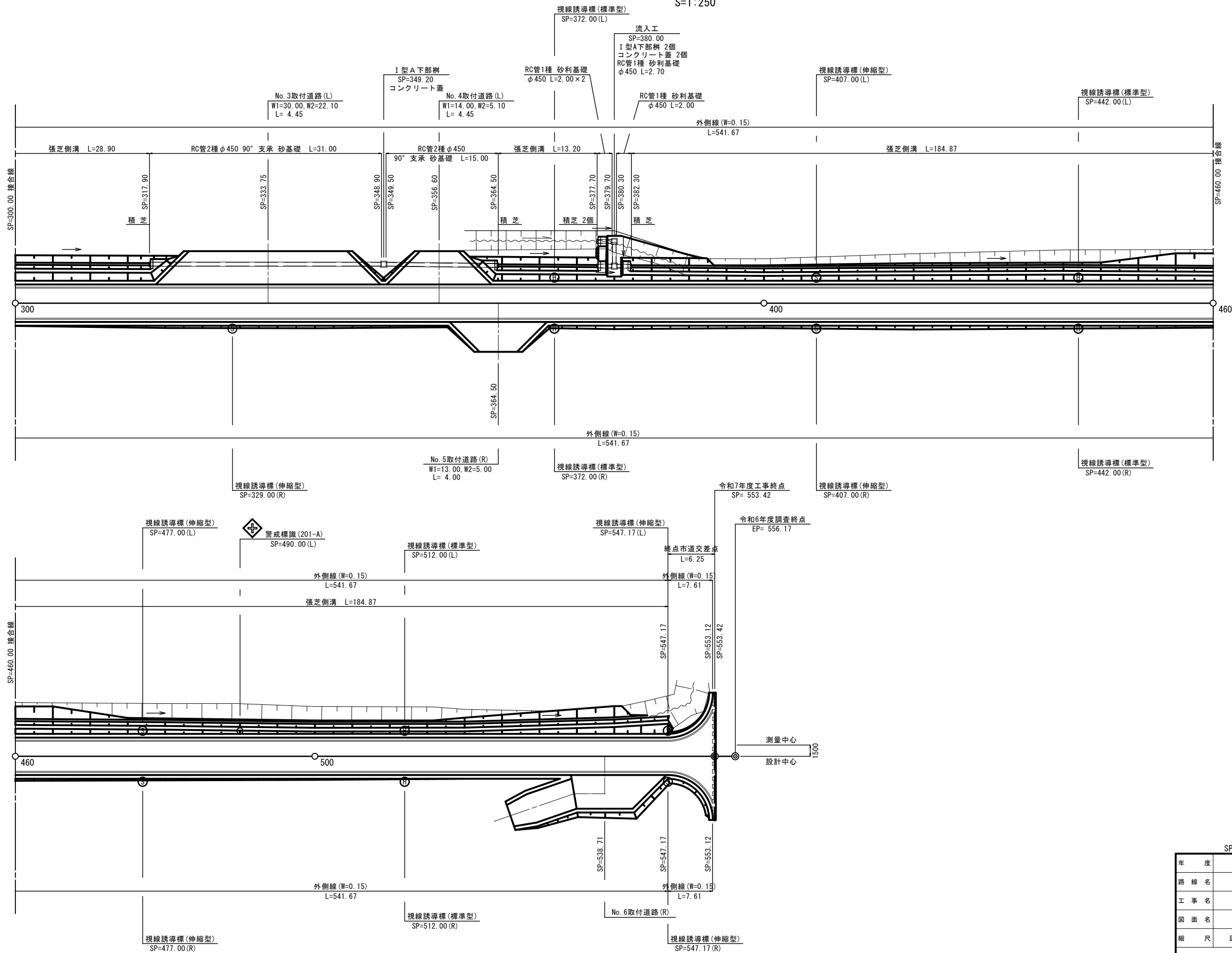
世界測地系 (測地成果2011)



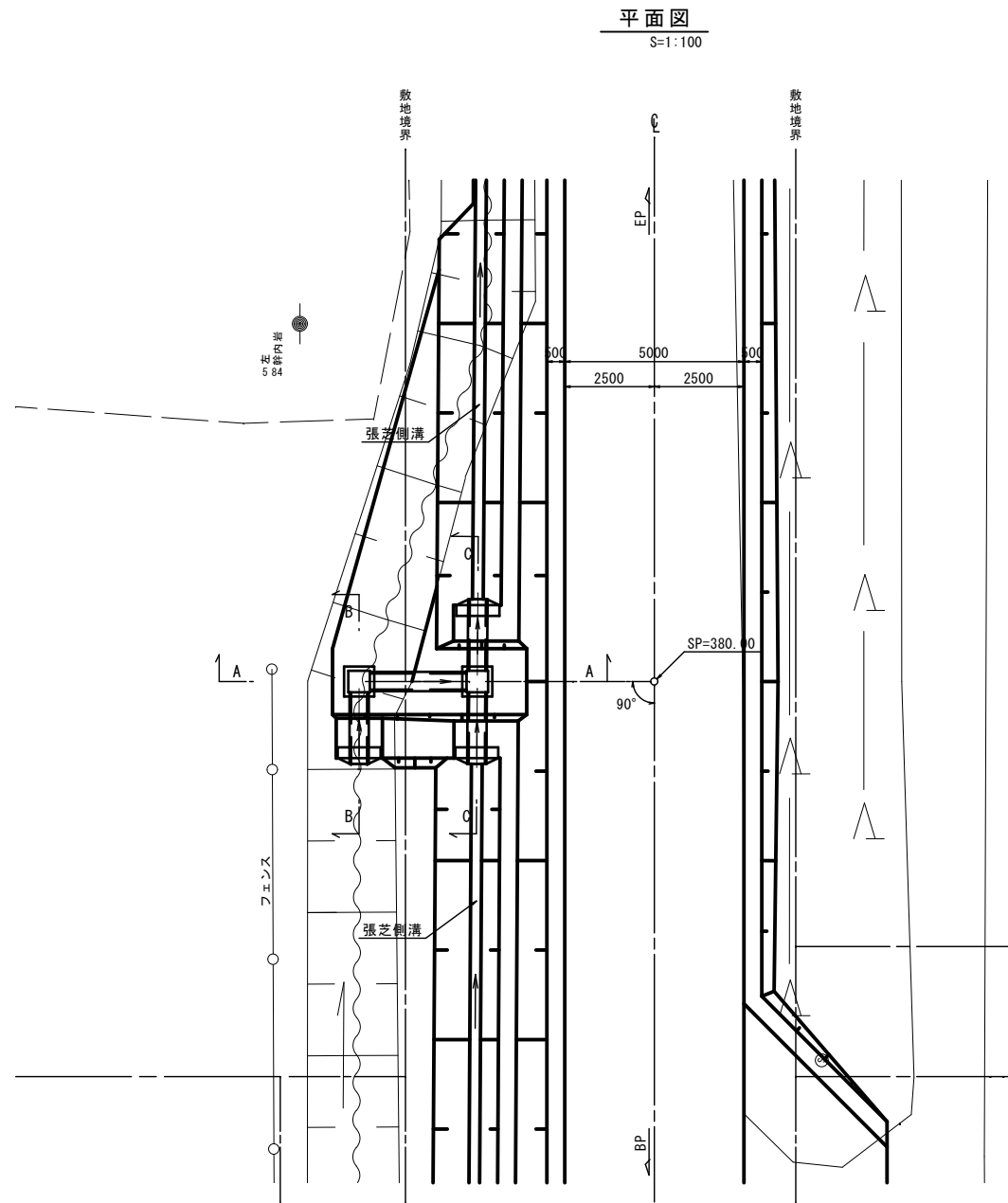
BP=0.00～SP=300.00			
年 度	令和 7 年 度		
路 線 名	上 清 川 町 西 1 線 36～37 号		
工 事 名	農 道 改 良 工 事		
図 面 名	作 工 模 式 図 (1)		
縮 尺	図 示	図面番号	8 / 20
北 海 道 帯 広 市			

作工模式図(2)

S=1:250

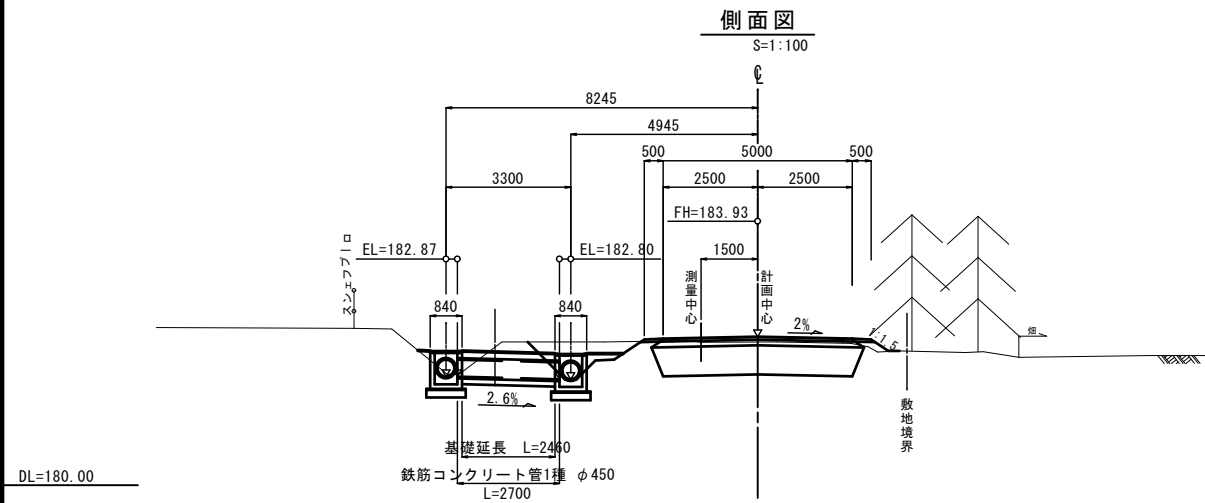
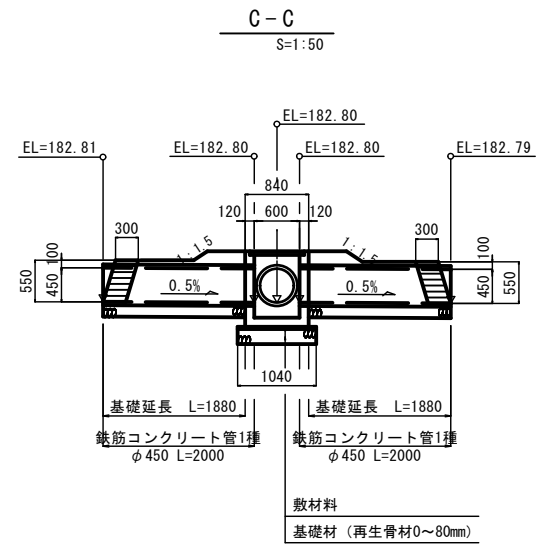
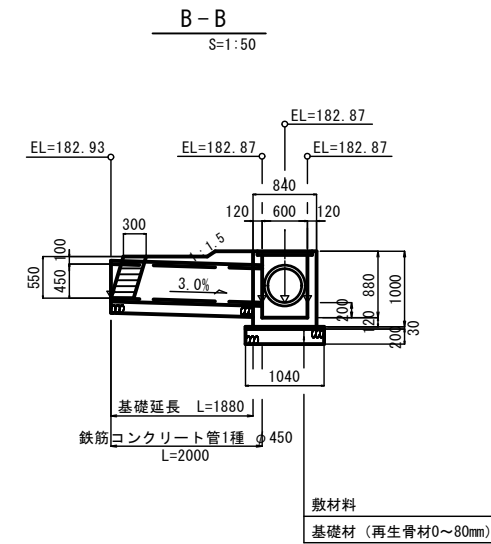
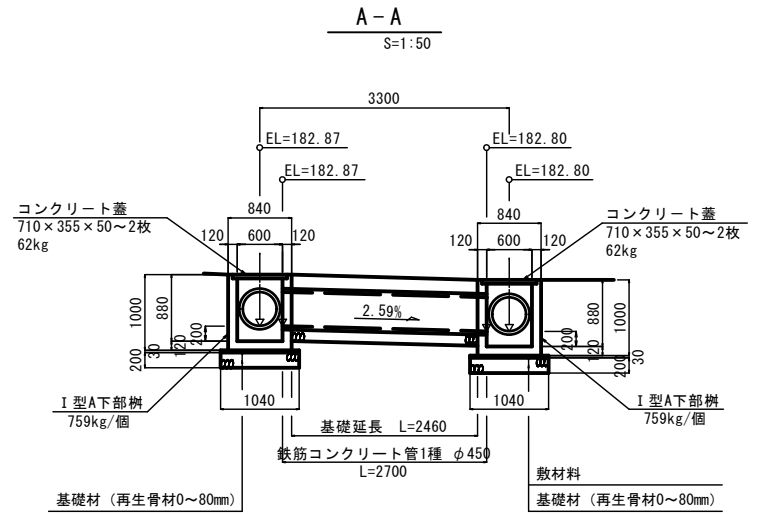
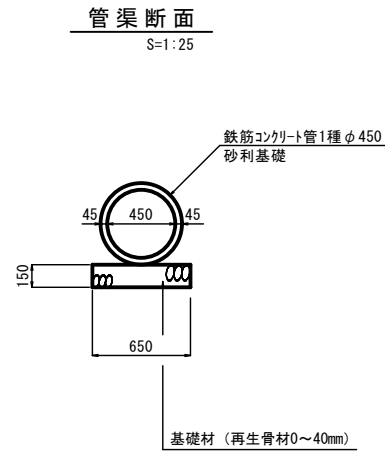


SP=300.00～EP=556.17			
年 度	令和 7 年 度		
路 線 名	上清川町西1線36～37号		
工 事 名	農道改良工事		
図 面 名	作工模式図(2)		
縮 尺	図 示	図面番号	9 / 20
北 海 道 帯 広 市			



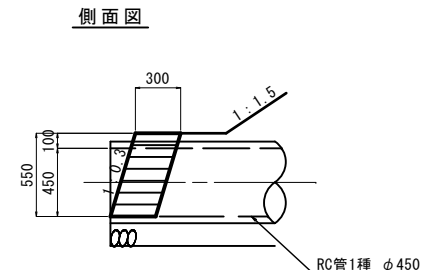
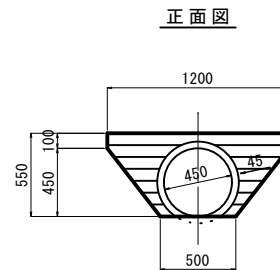
流入工設計図

SP=380.00



積芝詳細図

S=1:25

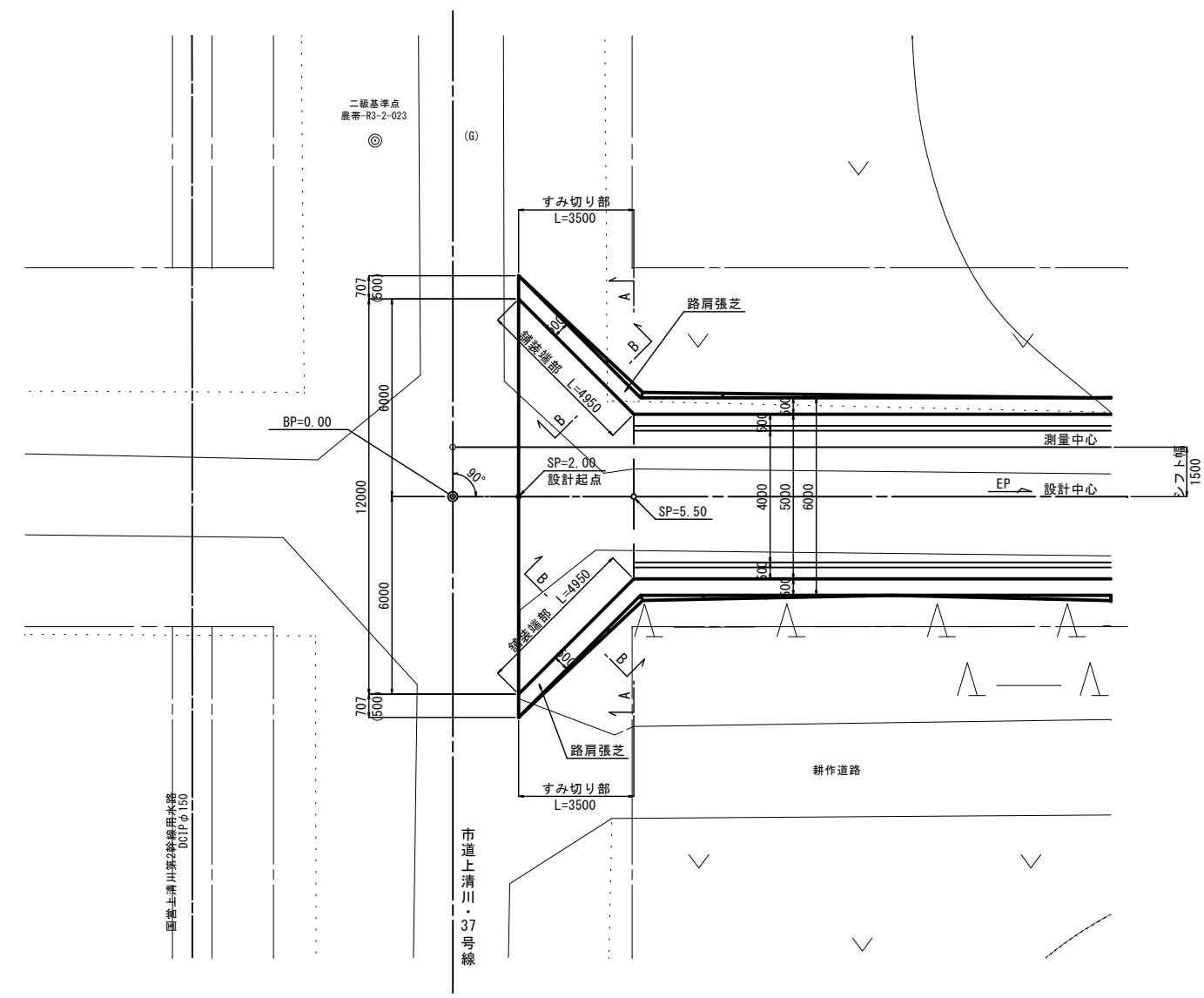


積芝面積
1箇所当たり= 0.28㎡

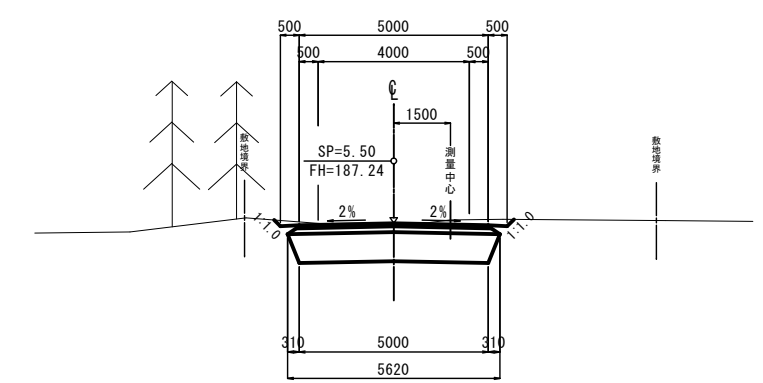
年 度	令和 7 年 度		
路 線 名	上清川町西1線36～37号		
工 事 名	農道改良工事		
図 面 名	流入工設計図		
縮 尺	図 示	図面番号	10 / 20
北 海 道 帯 広 市			

起点市道交差点設計図
(市道上清川37号交差点) BP=0.00

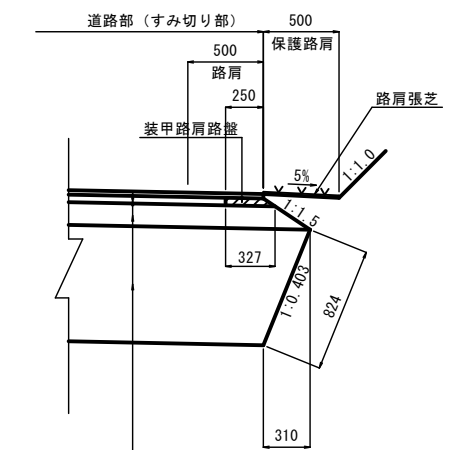
平面図
S=1:100



A-A
S=1:100

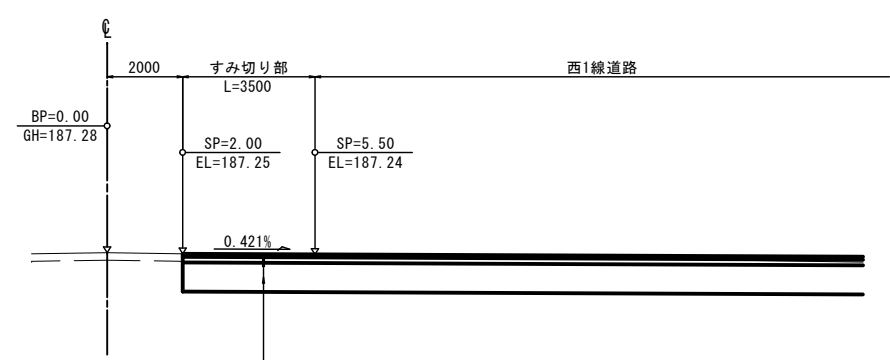


B-B
S=1:25



密粒度アスコン (再生合材50%)	t= 3cm
アスファルト安定処理 (再生合材50%)	t= 5cm
下層路盤 (再生骨材40mm級)	t= 15cm
凍上抑制層 (再生骨材80mm級)	t= 77cm
Σ t=100cm	

側面図
S=1:100



密粒度アスコン (再生合材50%)	t= 3cm
アスファルト安定処理 (再生合材50%)	t= 5cm
下層路盤 (再生骨材40mm級)	t= 15cm
凍上抑制層 (再生骨材80mm級)	t= 77cm
Σ t=100cm	

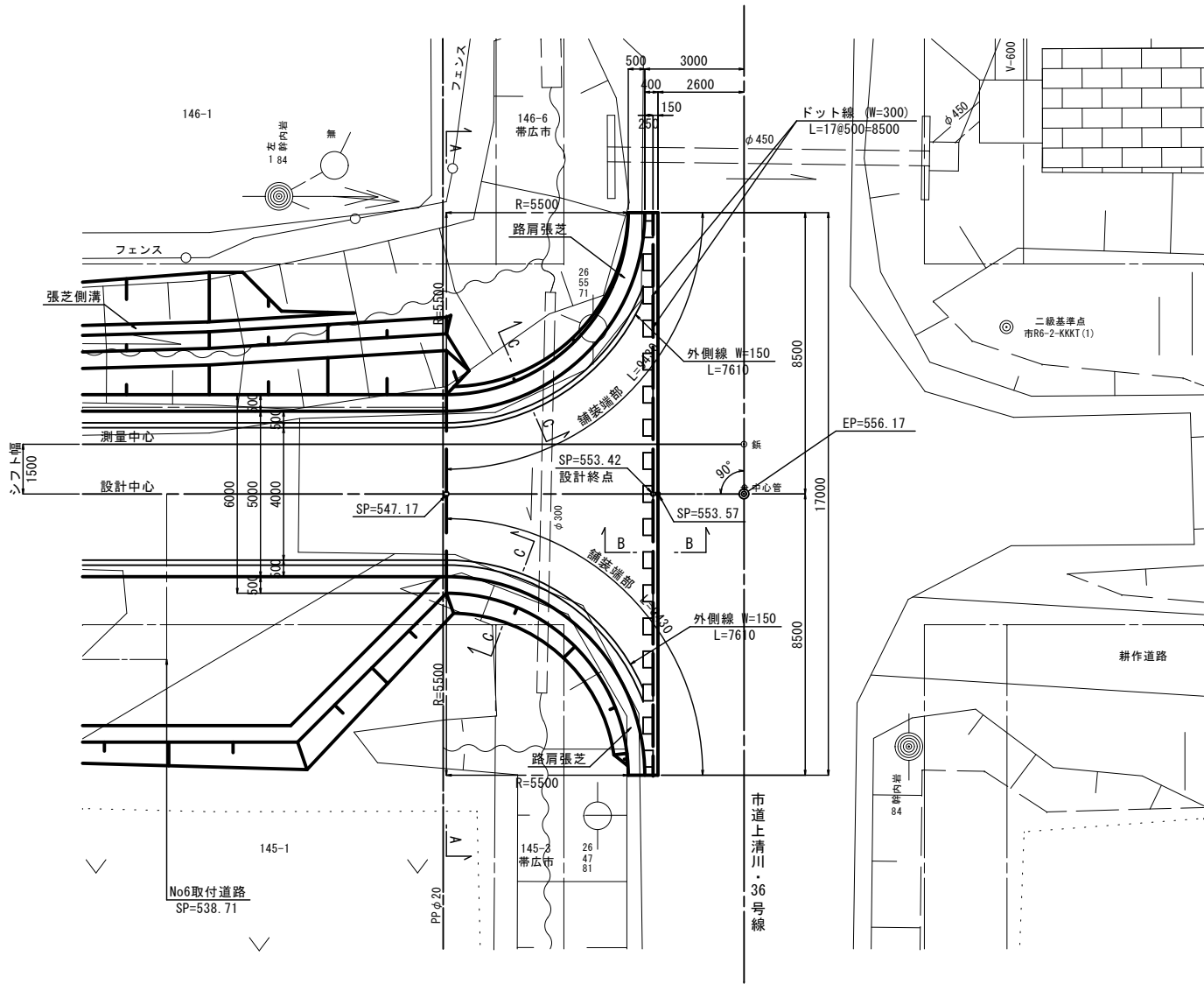
年 度	令和 7 年 度		
路 線 名	上清川町西1線36～37号		
工 事 名	農道改良工事		
図 面 名	起点市道交差点設計図		
縮 尺	図 示	図面番号	11 / 20
北 海 道 帯 広 市			

終点市道交差点設計図

(市道上清川36号交差点) EP=556.17

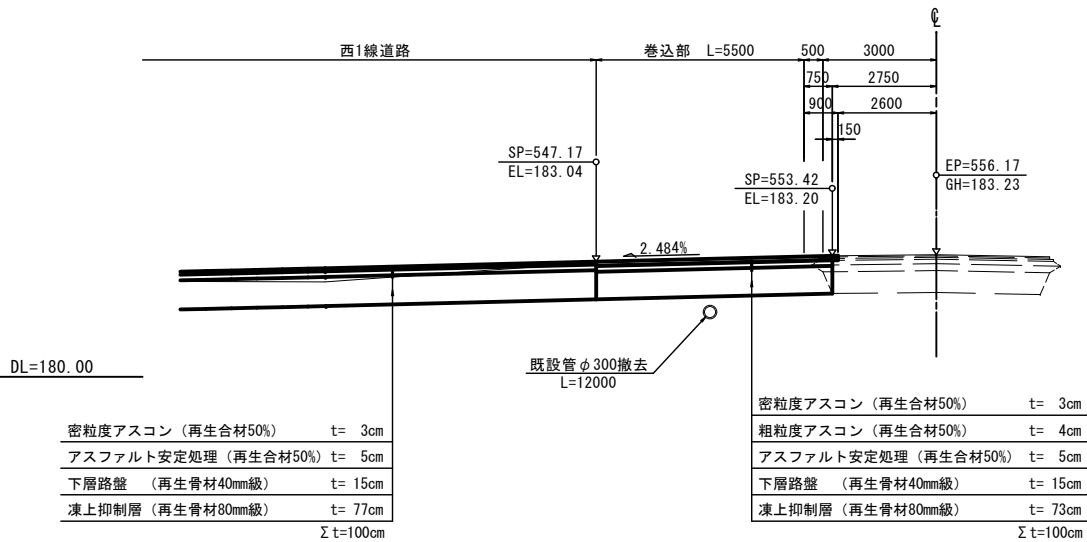
平面図

S=1:100



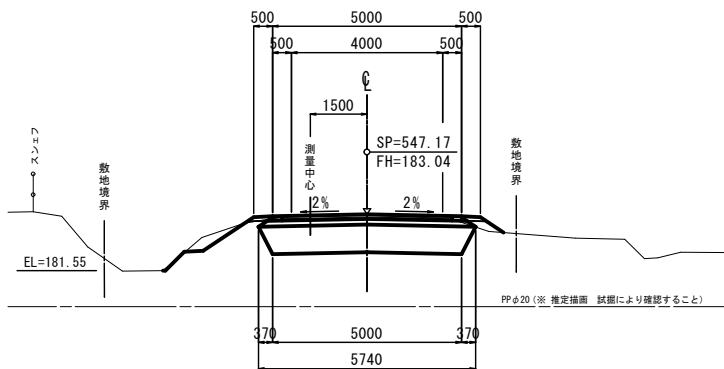
側面図

S=1:100



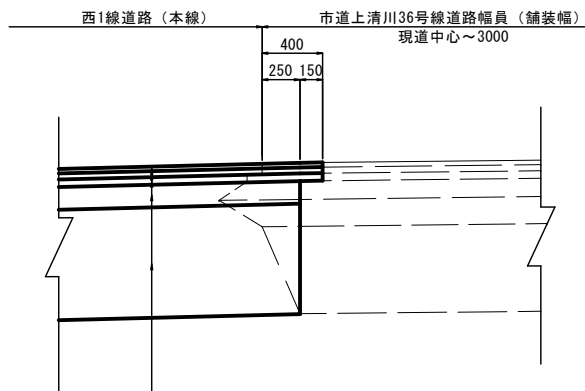
A-A

S=1:100



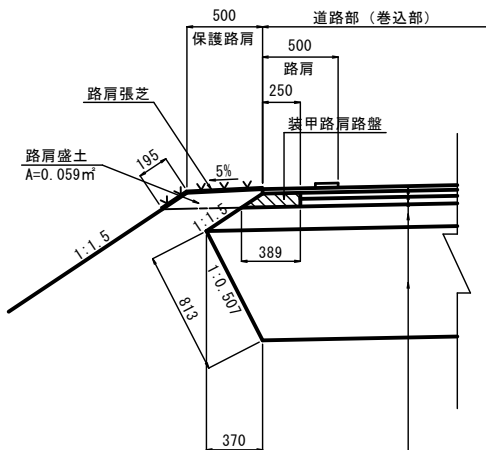
B-B

S=1:25



C-C

S=1:25

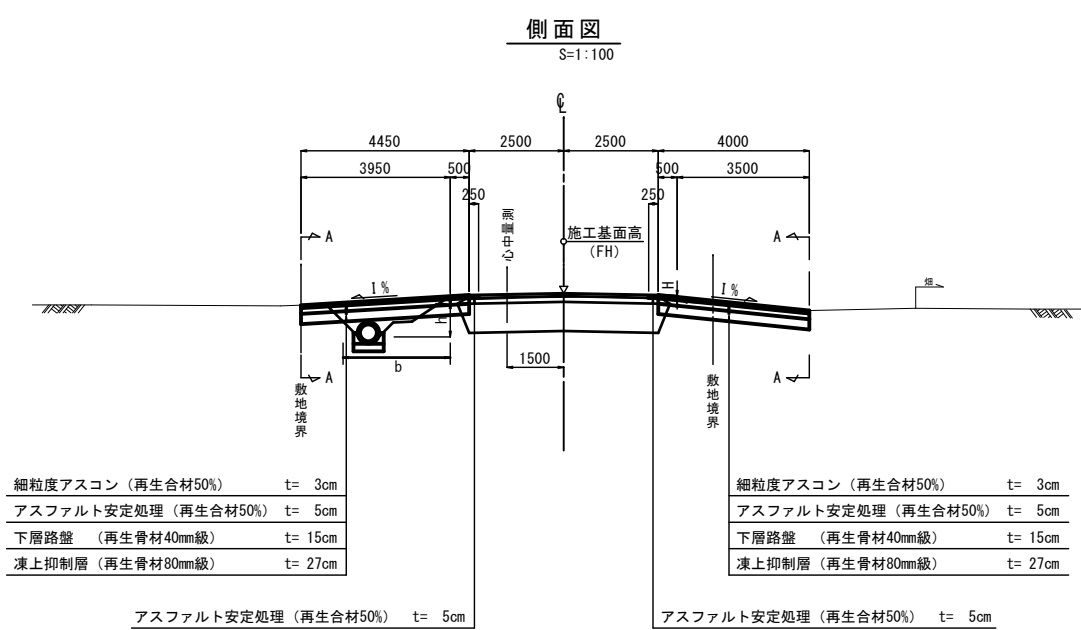
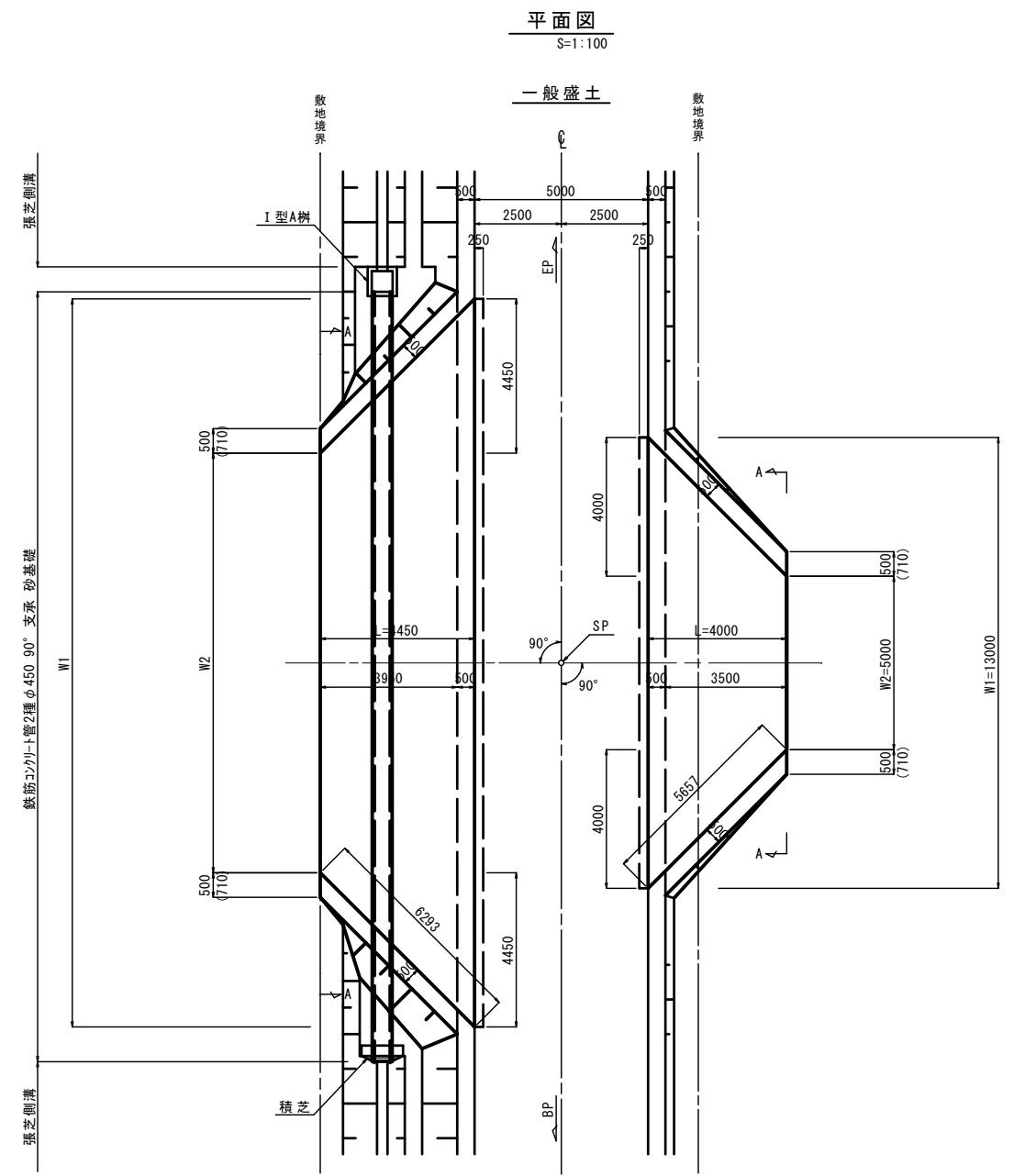


密粒度アスコン (再生合材50%)	t= 3cm
粗粒度アスコン (再生合材50%)	t= 4cm
アスファルト安定処理 (再生合材50%)	t= 5cm
下層路盤 (再生骨材40mm級)	t= 15cm
凍上抑制層 (再生骨材80mm級)	t= 73cm

密粒度アスコン (再生合材50%)	t= 3cm
粗粒度アスコン (再生合材50%)	t= 4cm
アスファルト安定処理 (再生合材50%)	t= 5cm
下層路盤 (再生骨材40mm級)	t= 15cm
凍上抑制層 (再生骨材80mm級)	t= 73cm

年 度	令和 7 年 度
路 線 名	上清川町西1線36～37号
工 事 名	農道改良工事
図 面 名	終点市道交差点設計図
縮 尺	図 示
図面番号	12 / 20
北 海 道 帯 広 市	

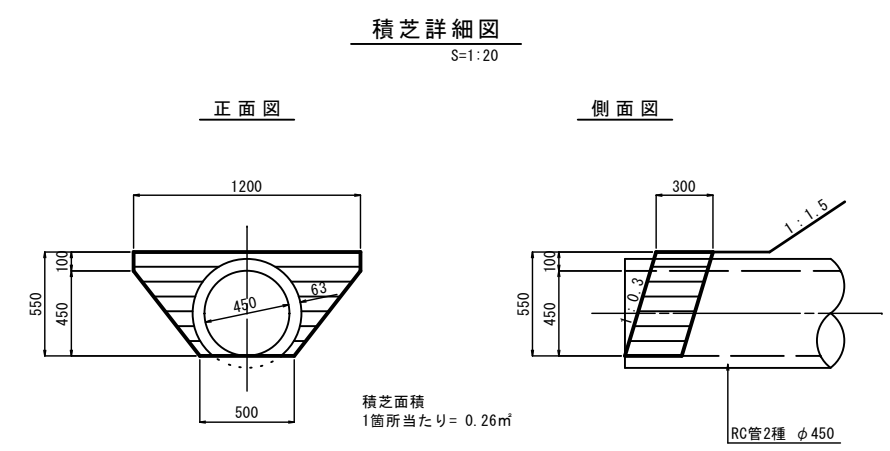
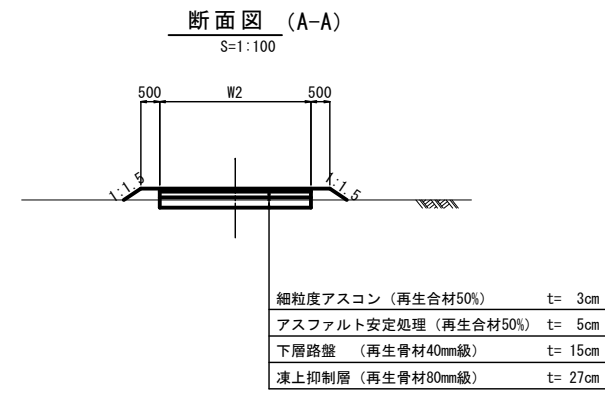
取付道路一般図



寸法表

No	測点	L/R	角度	計画高	W1 (m)	W2 (m)	L (m)	H (m)	h (m)	b (m)	N1 (m)	N1' (m)	N2 (m)
1	192.00	R	90°	186.01	13.00	5.00	4.00	+0.10	—	—	1.5		1.5
2	241.50	L	"	185.19	93.00	84.10	4.45	+0.11	—	—			
3	333.75	"	"	184.31	30.00	21.10	"	+0.24	0.41	1.83	1.5	1.0	1.5
4	356.60	"	"	184.13	14.00	5.10	"	+0.10	0.51	1.83	1.5	1.0	1.5
5	364.50	R	"	184.07	13.00	5.00	4.00	+0.09	—	—	1.5		1.5
6	538.71	"	"	182.83				+0.19	—	—	1.5		1.5

No	測点	L/R	勾配 (%)	管延長 (m)	積込	I型A 下部料	I型A コンクリート 蓋	I型A グレーチング 蓋	塩ビ管 φ200 (L)	自動車 荷重	備考
1	192.00	R	10.3	—	—	—	—	—	—	T-25	
2	241.50	L	6.1	95.00	2箇所	2箇所	—	2箇所	1.68	T-27	別図参照
3	333.75	"	6.5	31.00	1箇所	1箇所	1箇所	—	—	"	鉄筋コンクリート管φ450 90° 支承 砂基礎
4	356.60	"	2.5	15.00	1箇所	—	—	—	—	T-25	鉄筋コンクリート管φ450 90° 支承 砂基礎
5	364.50	R	11.8	—	—	—	—	—	—	"	
6	538.71	"	4.0	—	—	—	—	—	—	"	別図参照

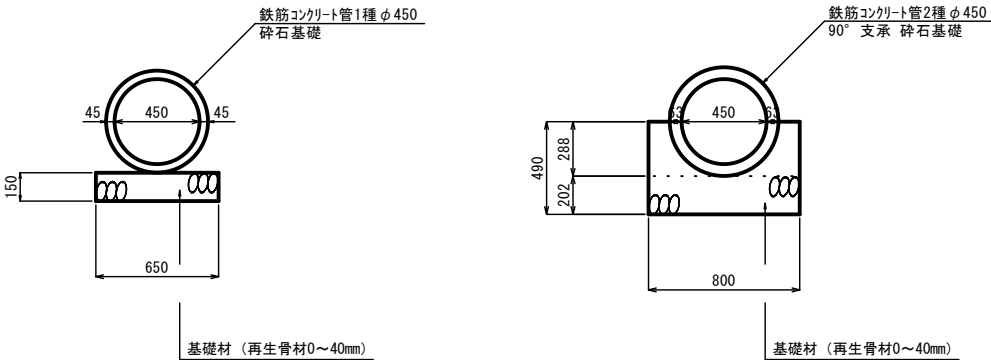


年 度	令和 7 年 度		
路 線 名	上清川町西1線36～37号		
工 事 名	農道改良工事		
図 面 名	取付道路一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	13 / 20
北 海 道 帯 広 市			

作 工 図

管渠断面

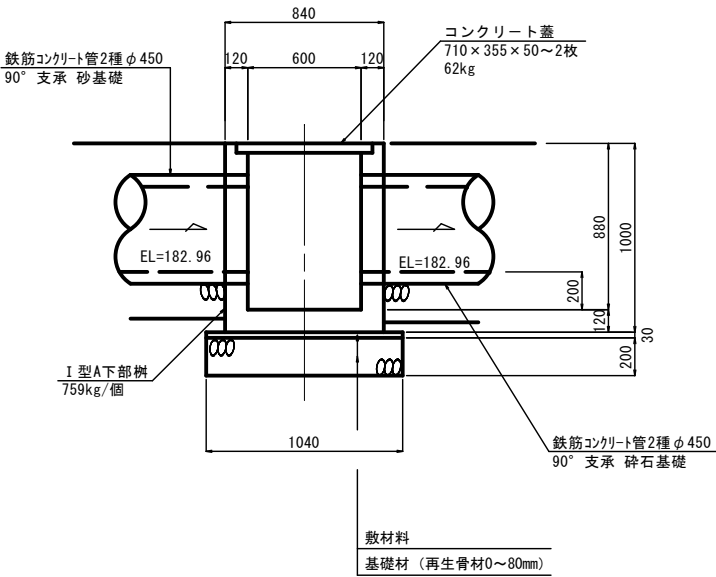
S=1:20



I 型A樹断面

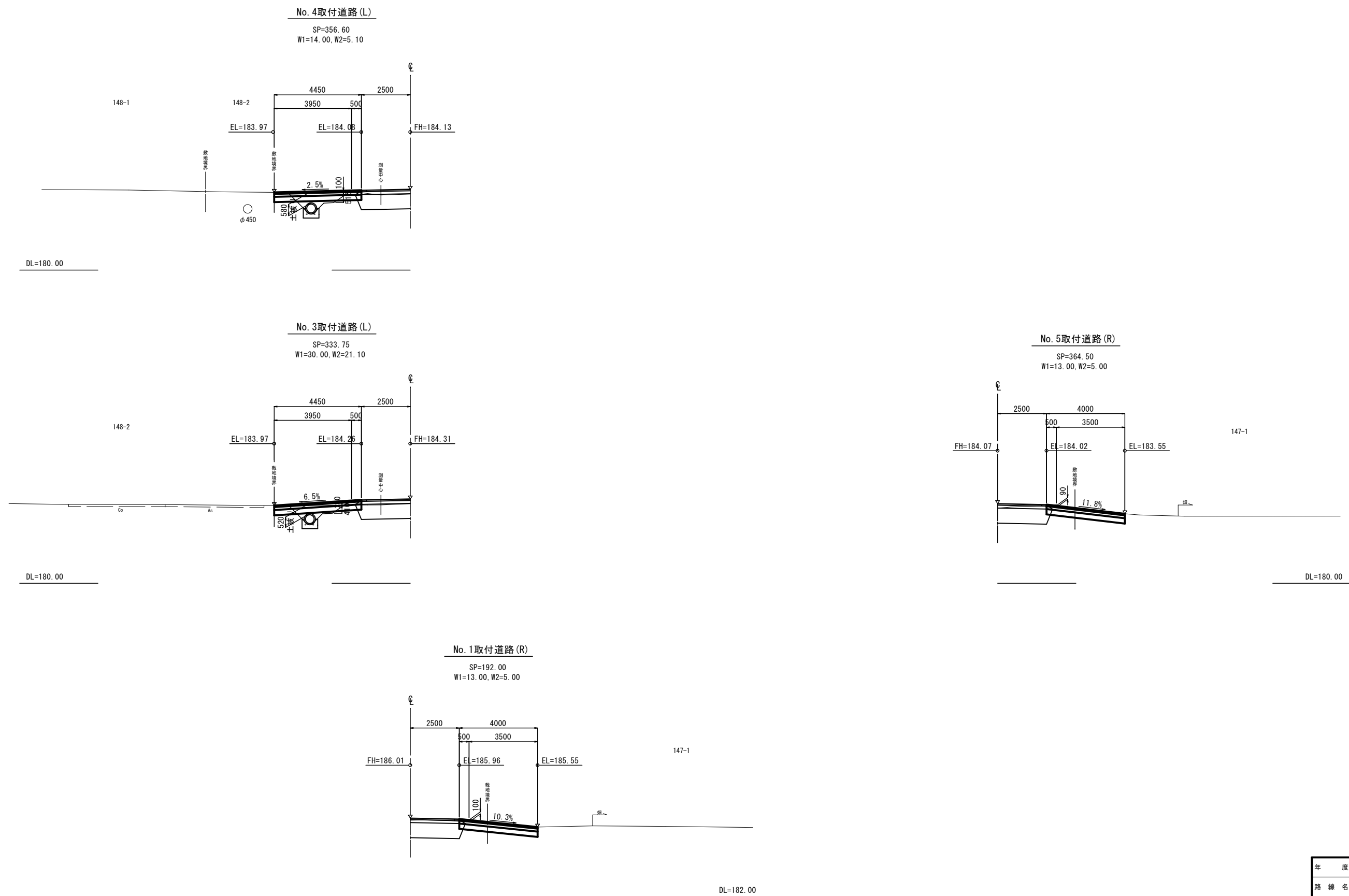
S=1:20

SP=349.20 (L)



年 度	令和 7 年 度		
路 線 名	上清川町西1線36~37号		
工 事 名	農道改良工事		
図 面 名	作 工 図		
縮 尺	1:20	図面番号	14 / 20
北 海 道 帯 広 市			

取付道路側面図



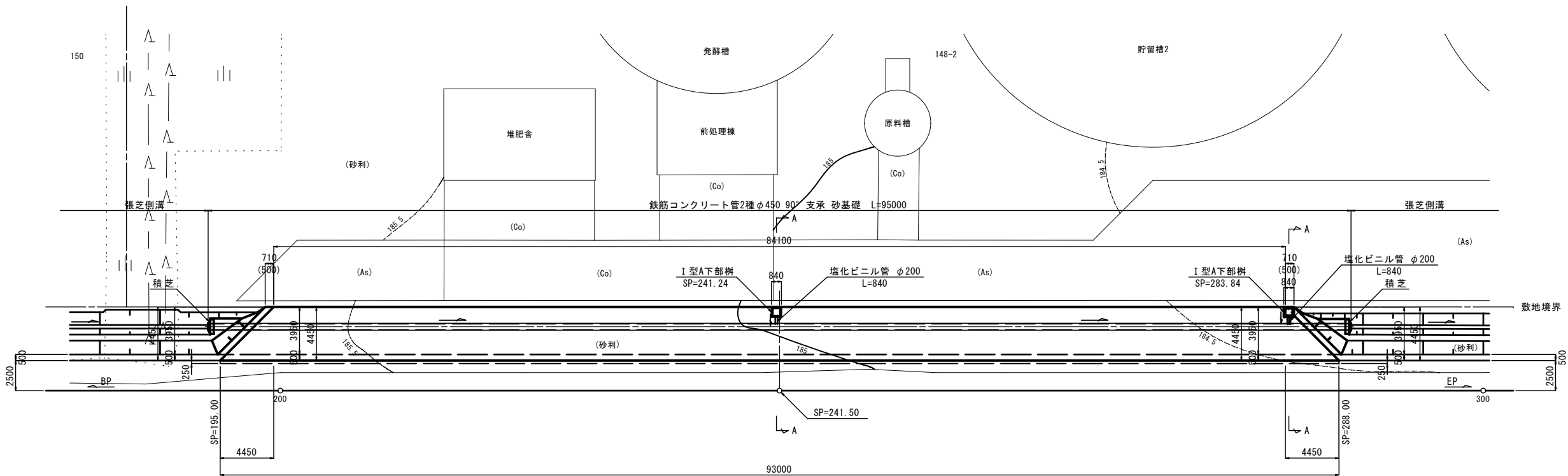
年 度	令和 7 年 度		
路 線 名	上清川町西1線36～37号		
工 事 名	農道改良工事		
図 面 名	取付道路側面図		
縮 尺	1:100	図面番号	15 / 19
北 海 道 帯 広 市			

No. 2取付道路設計図

SP=241.50

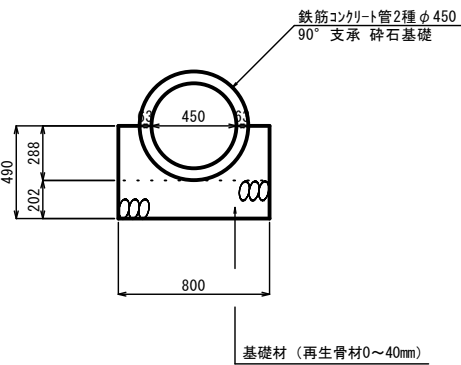
平面図

S=1:200



管渠断面

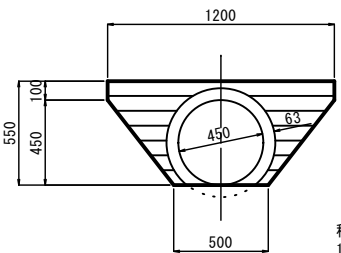
S=1:20



積芝詳細図

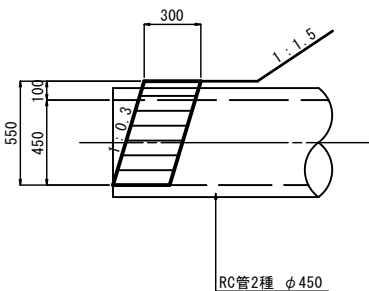
S=1:20

正面図



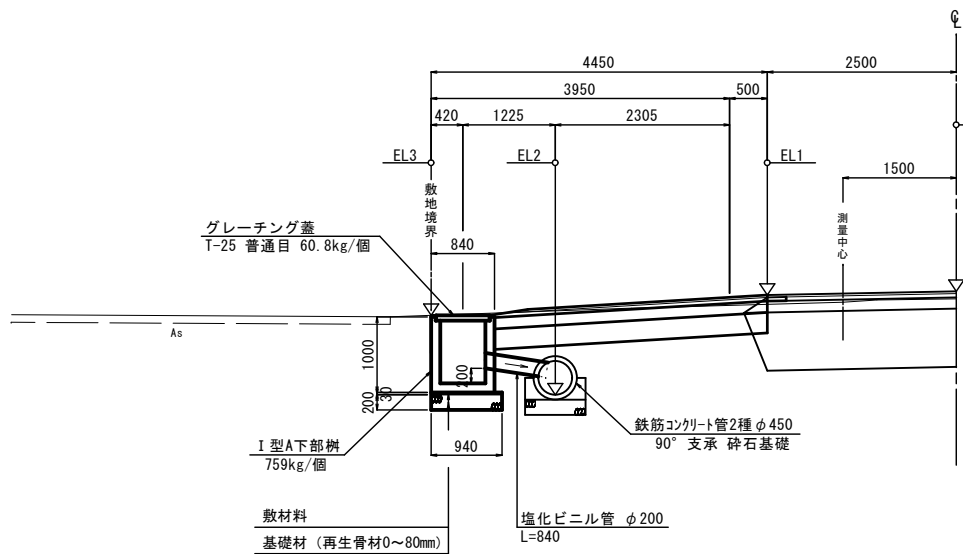
積芝面積
1箇所当たり= 0.26㎡

側面図



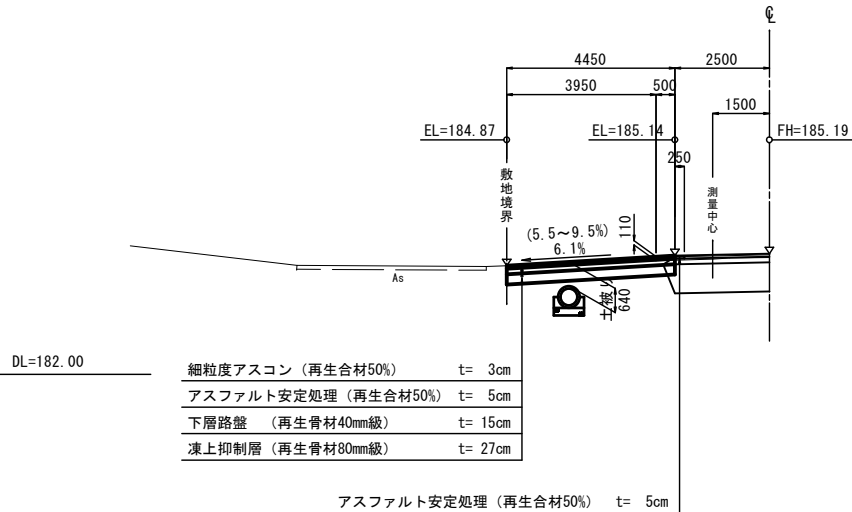
A-A

S=1:50



側面図

S=1:100



細粒度アスコン（再生合材50%）	t= 3cm
アスファルト安定処理（再生合材50%）	t= 5cm
下層路盤（再生骨材40mm級）	t= 15cm
凍上抑制層（再生骨材80mm級）	t= 27cm

アスファルト安定処理（再生合材50%） t= 5cm

寸法表

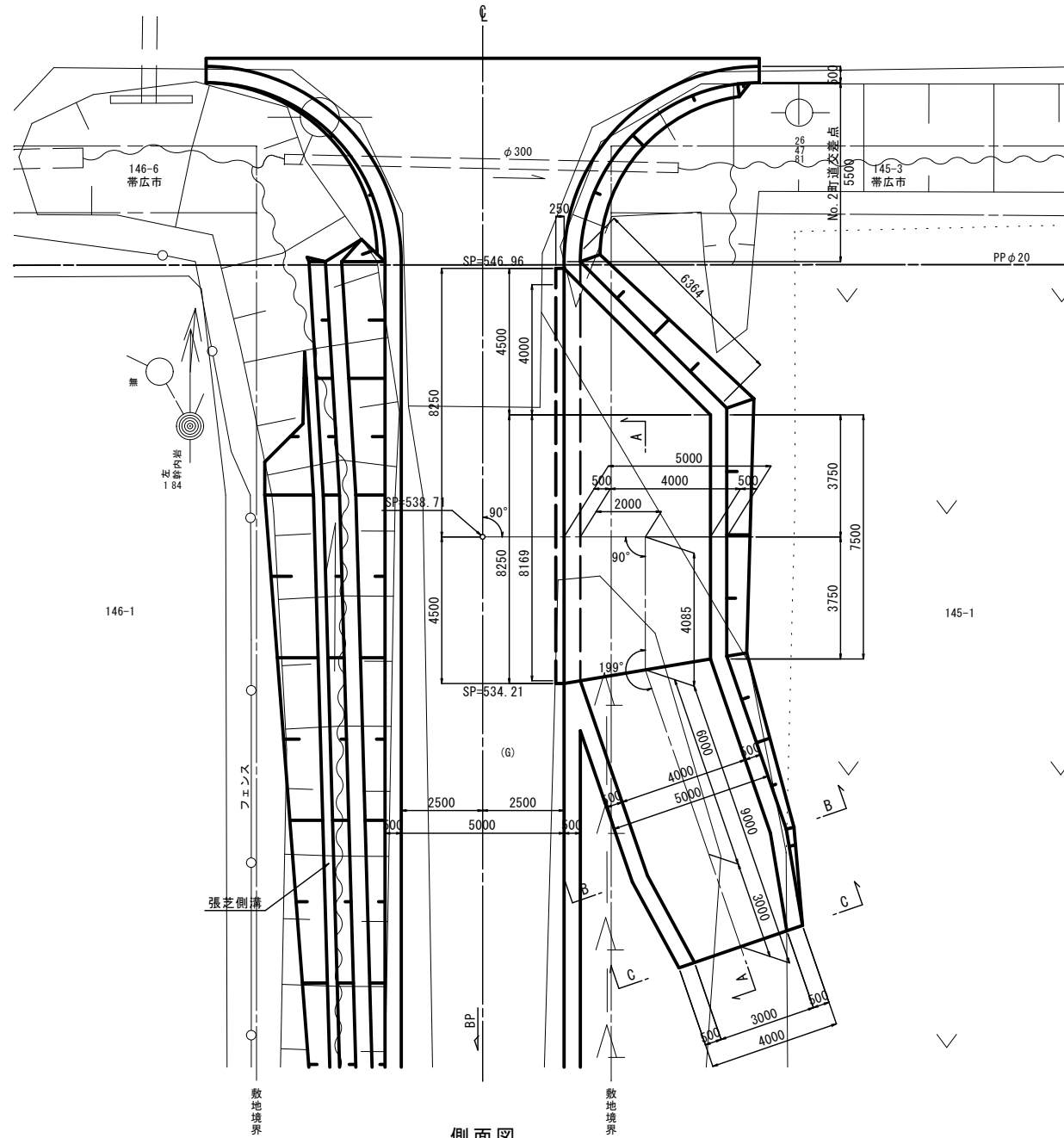
No	測点	L/R	計画高	EL1	EL2	EL3	I-A下部樹	グレーティング蓋(個)	塩化ビニル管φ200(mm)	備考
1	241.24	L	185.19	185.14	183.82	184.87	1	1	840	
2	283.84	"	184.70	184.65	183.33	184.31	1	1	840	

年度	令和7年度		
路線名	上清川町西1線36～37号		
工事名	農道改良工事		
図面名	No. 2取付道路設計図		
縮尺	図示	図面番号	16 / 20
北海道帯広市			

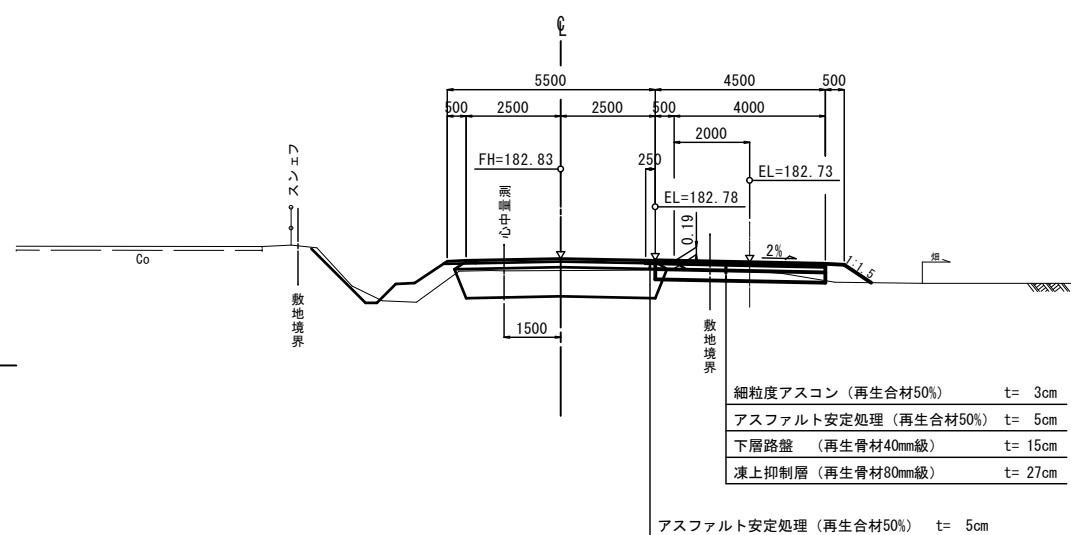
平面図
S=1:100

No. 6取付道路設計図

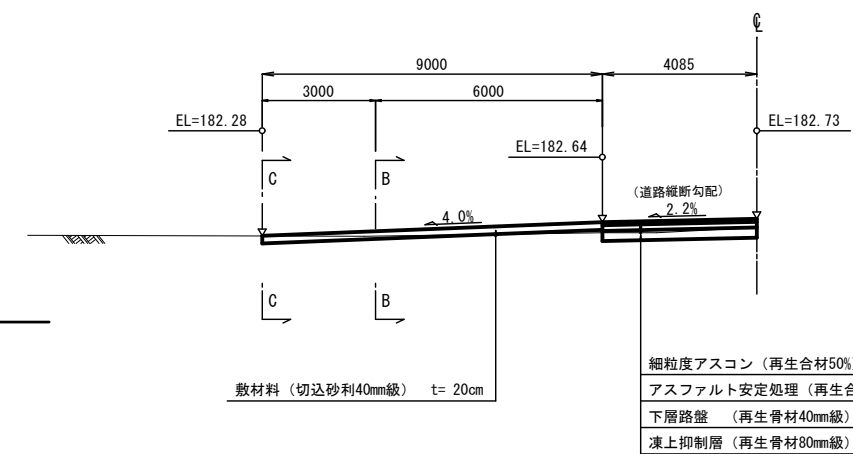
SP=538.71



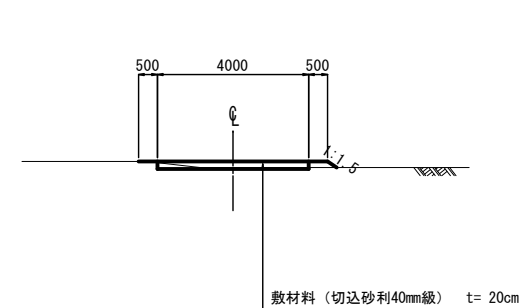
側面図
S=1:100



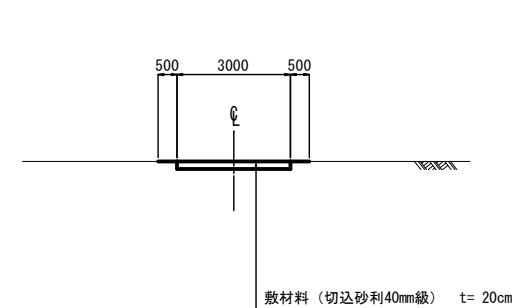
A-A
S=1:100



B-B
S=1:100



C-C
S=1:100



細粒度アスコン (再生合材50%)	t= 3cm
アスファルト安定処理 (再生合材50%)	t= 5cm
下層路盤 (再生骨材40mm級)	t= 15cm
凍上抑制層 (再生骨材80mm級)	t= 27cm

アスファルト安定処理 (再生合材50%) t= 5cm

年 度	令和 7 年 度		
路 線 名	上清川町西1線36～37号		
工 事 名	農道改良工事		
図 面 名	No. 6取付道路設計図		
縮 尺	図 示	図面番号	17 / 20
北 海 道 帯 広 市			

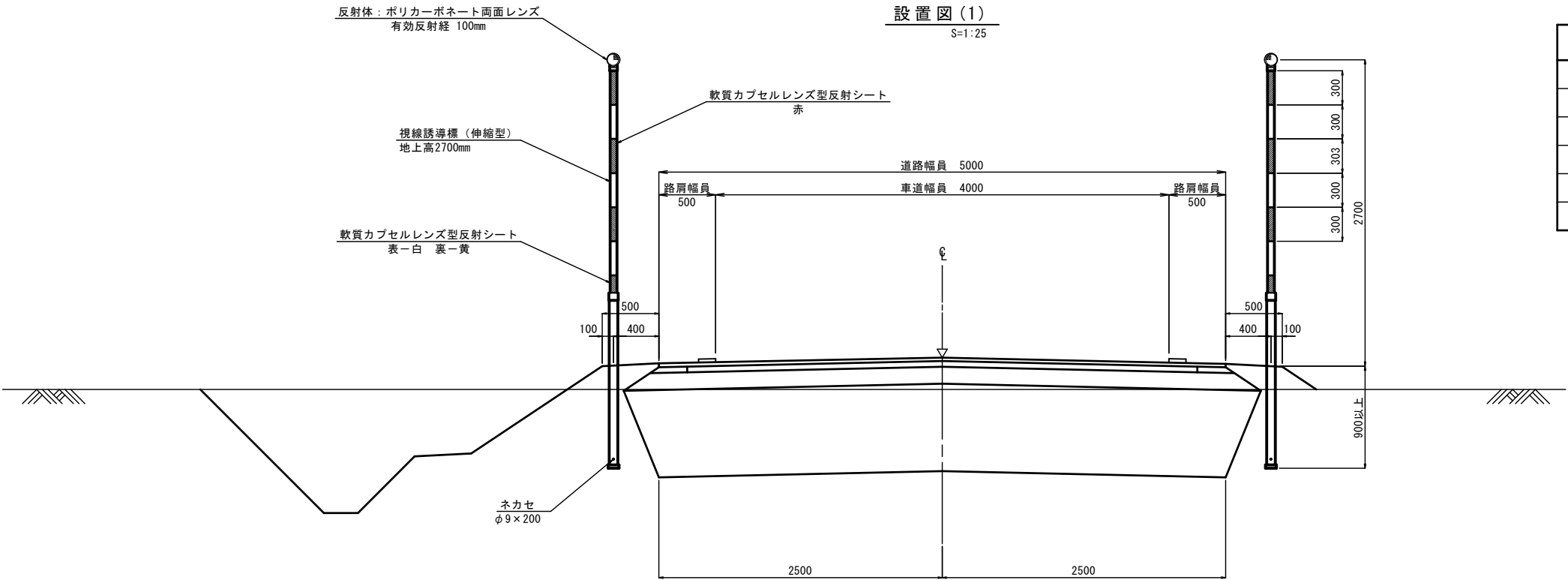
視線誘導標標準図

※ 地上高は夏期900～1250mm、冬期2700mmの寸法である。
設置間隔は標準80m、対面配置とする。

視線誘導標（伸縮型）配置表

測点（L側）	箇所
5.50	1
85.50	1
165.50	1
407.00	1
477.00	1
547.17	1

測点（R側）	箇所
5.50	1
85.50	1
165.50	1
245.50	1
329.00	1
407.00	1
477.00	1
547.17	1

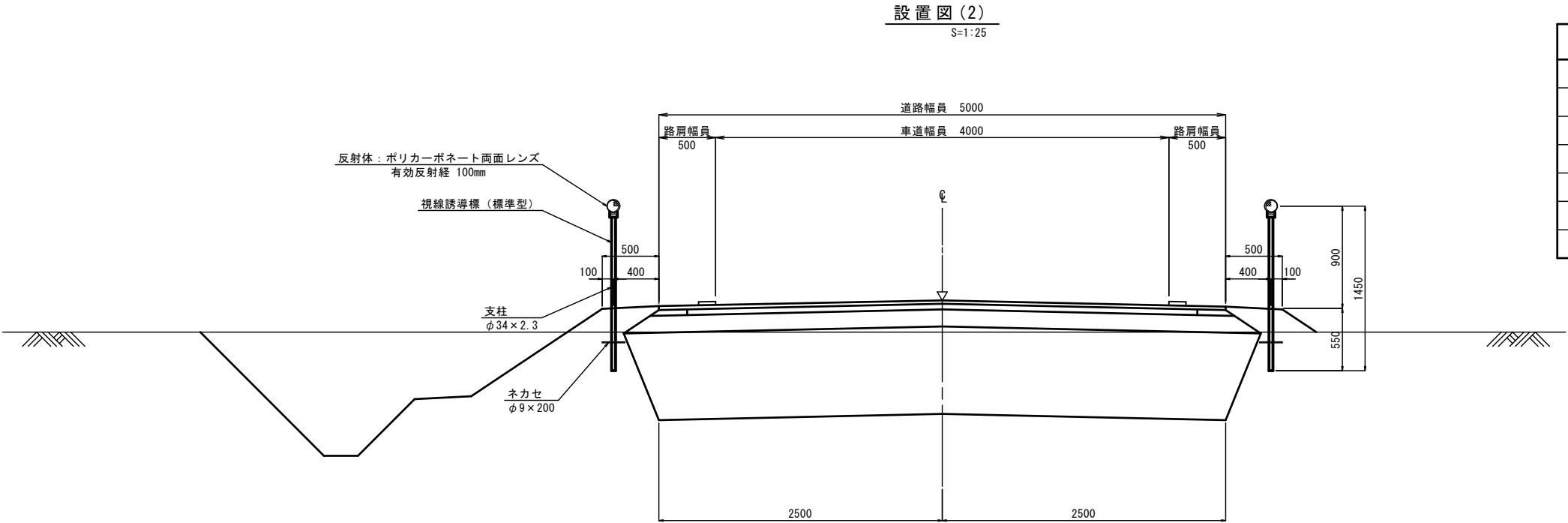


※ 視線誘導標（標準型）は、伸縮型のスノーボールの中間に設置する。

視線誘導標（標準型）配置表

測点（L側）	箇所
45.50	1
125.50	1
194.00	1
289.00	1
372.00	1
442.00	1
512.00	1

測点（R側）	箇所
45.50	1
125.50	1
205.50	1
289.00	1
372.00	1
442.00	1
512.00	1

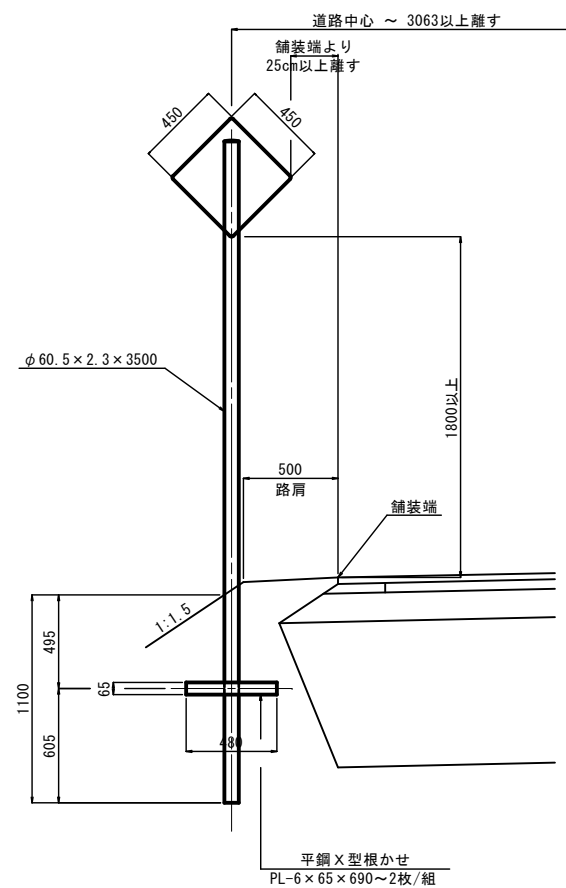


年 度	令和 7 年 度		
路 線 名	上清川町西1線36～37号		
工 事 名	農道改良工事		
図 面 名	視線誘導標標準図		
縮 尺	1:25	図面番号	18 / 20
北 海 道 帯 広 市			

警戒標識標準図

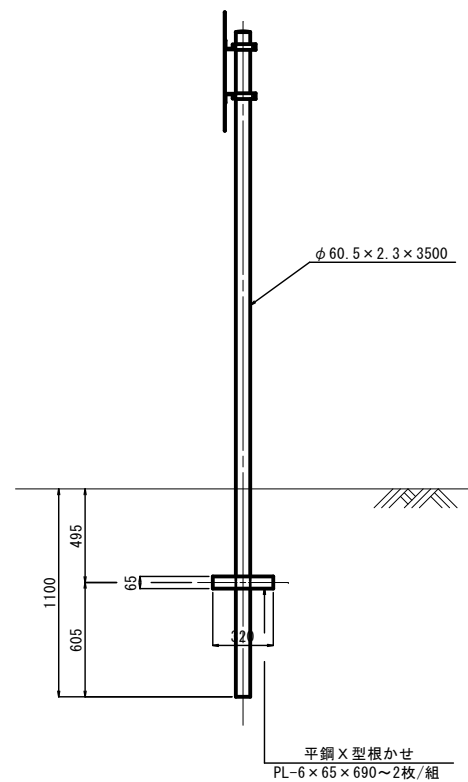
正面図

S=1:20



側面図

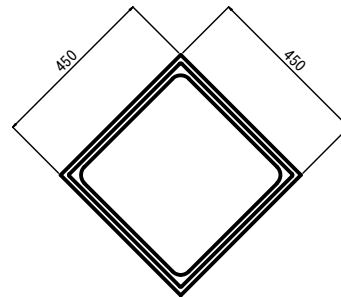
S=1:20



警戒標識板詳細図

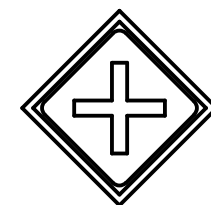
S=1:10

(1.0倍)



十形道路交差点あり
(201-A)

設置箇所
SP= 60.00 (R側)
SP=490.00 (L側)



設計条件
※設計風速—40m/sec（路側式、単柱型）とする。

材 料 名	寸 法 (mm)	材 質
基 板	450×450×2	アルミ JIS H4000 A5052P
補 強 材	スライドチャンネル	アルミ JIS H4100 A6063S
反 射 材		カプセルレンズ型
支 柱	φ 60.5×2.3×3500	一般構造用炭素鋼鋼管 JIS G3444 STK-400 下地 垂鉛メッキ (160g/㎡以上) 表面処理 静電粉体法 (50μ以上) 又はアクリルウレタン塗装仕上
根 か せ	PL-6×65×690 2枚/組	鋼板

年 度	令 和 7 年 度		
路 線 名	上清川町西1線36～37号		
工 事 名	農道改良工事		
図 面 名	警戒標識標準図		
縮 尺	図 示	図面番号	19 / 20
北 海 道 帯 広 市			

撤去平面図

2級基準点成果表

点名	X	Y	備考
農帯-R3-2-023	-140929.701	-96136.827	金属標

帯広開発建設部 設置基準点

2級基準点成果表

点名	X	Y	備考
市R6-2-KKKT(1)	-140448.964	-95837.151	金属標

帯広市農村振興課 設置基準点

曲線表

(測量)

IPNO	I A	DIS	S P	X	Y
B P	—	—	0.000	-140932.534	-96127.651
E P	—	556.173	556.173	-140457.583	-95838.255

曲線表

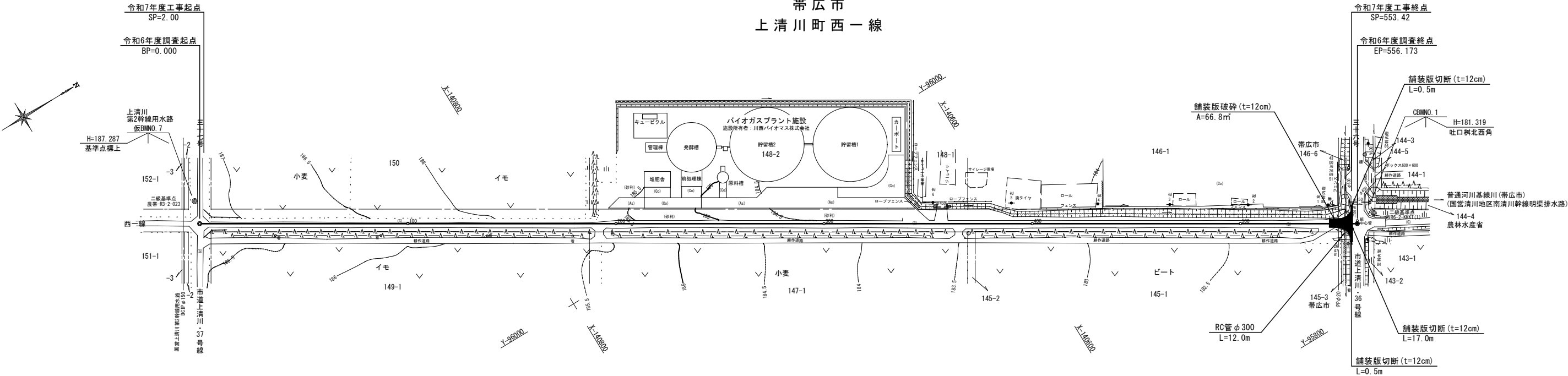
(設計)

IPNO	I A	DIS	S P	X	Y
B P	—	—	0.000	-140933.315	-96126.370
E P	—	556.173	556.173	-140458.364	-95836.974

平面図

S=1:1,000

帯広市
上清川町西一線



年 度	令和 7 年度		
路 線 名	上清川町西1線36～37号		
工 事 名	農道改良工事		
図 面 名	撤去平面図		
縮 尺	1:1000	図面番号	20 / 20
北 海 道 帯 広 市			